

上智大学大学院

履修要覧

〔大学院科目編〕

2020年度

目 次

1. 開講科目一覧表の見方	3
2. 神学研究科	5
神学専攻	8
組織神学専攻	17
3. 哲学研究科	23
哲学専攻	25
4. 文学研究科	31
哲学専攻	41
史学専攻	48
国文学専攻	56
英米文学専攻	62
ドイツ文学専攻	69
フランス文学専攻	76
新聞学専攻	81
文化交渉学専攻	88
5. 実践宗教学研究科	93
死生学専攻	96
6. 総合人間科学研究科	103
教育学専攻	111
心理学専攻	119
社会学専攻	139
社会福祉学専攻	147
看護学専攻	156
7. 法学研究科	161
法律学専攻	163
8. 経済学研究科	177
経済学専攻	181
経営学専攻	189
9. 言語科学研究科	199
言語学専攻	202
〔言語聴覚研究コース〕	208
〔英語教授法コース (TESOL) 〕	213
〔日本語教育学コース〕	217
10. グローバル・スタディーズ研究科	225
国際関係論専攻	230
地域研究専攻	245
11. 理工学研究科	257
理工学専攻	270
12. 地球環境学研究科	315
地球環境学専攻	318

開講科目一覧表の見方

開講科目一覧表

*は非常勤教員を示す

○：外国語による

授業科目

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	外国語	備考
MMMM1000	春	哲学総合研究A	AAA501	2	上智太郎	○	後期課程「哲学総合講義A」と合併
MMMM2000	春	古代哲学文献特論 I	BBB710	2	紀尾井花子		夏期集中
MMMM1100	秋	美学芸術学特講 I	CCC753	2	*市谷良子		17年次生以降対象科目
MMMM2100	秋	宗教思想特論	CCC757	2	(他)目白肇		
MMMM3000	休講	美学芸術学特論 II	DDD754	2			隔年開講
MMMM3100	休講	日本思想特論	EEE755	2			隔年開講

今年度休講の科目

他専攻教員

備考欄には重要な注意が書かれているので見落とさないこと

神 学 研 究 科

神学専攻

組織神学専攻

1. 神学研究科の教育研究上の目的及び人材養成の目的

前期課程には、修士に加えてカトリック教会の教授資格（STL）を与える組織神学コース、聖書研究の方法論を身につける聖書神学コース（M. Bib を授与）、宣教や司牧の実践について学ぶキリスト教教育コース（M. Div を授与）及び教会での奉仕の現場にたずさわる人々を養成する宣教実務者コースを設けるが、いずれも神学全般についての知識と理解を重視する。また研究者養成を主目的とする後期課程（条件を満たせばカトリック教会の学位 STD を授与）においては、研究のみでなく教育訓練を課程に組み込む。

カトリック司祭・修道者とカトリック学校での宗教科教員の養成、及び自己のキリスト教信仰を客観的・批判的に省察することにより教会に貢献できる人材養成を主目的とする。

2. 各専攻のディプロマ・ポリシー

神学専攻

【博士前期課程】

本課程では、学生が修了時に身につけているべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば、これらを身につけた者と認め、学位を授与します。

1. 神学を基礎的・中心的研究対象とし、世界的視野の下で、他の思想・文化・宗教との対話の重要性にも注意することができる力

各コースごとには次の力を身につけた者とする

- a. 組織神学コースでは、カトリック教会における司祭の養成をはじめ、体系的なカトリック神学を研究する能力
- b. 聖書神学コースでは、聖書研究の方法論を研究する能力
- c. キリスト教教育コースでは、基礎的な神学理論を踏まえながら、実践的な司牧のあり方について研究する能力
- d. 宣教実務者コースでは、教会における奉仕の現場に携わる人材としての能力

組織神学専攻

【博士後期課程】

本課程では、学生が修了時に身につけているべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば、これらを身につけた者と認め、学位を授与します。なお、必要要件を満たしている場合には、教皇庁立学位 STD (Sacrae Theologiae Doctor) の学位も授与することができます。

1. カトリック神学の基礎を踏まえながら、自らの研究テーマを独創的な観点から取り上げ、それを論理的・発展的に提示することができる力
2. 西洋において発展したカトリック神学の研究とともに、日本の思想・文化との対話を通して、独自の神学の樹立を目指すことができる力

3. 各専攻のカリキュラム・ポリシー

神学専攻

【博士前期課程】

本課程では、ディプロマ・ポリシーに沿って、以下のようにカリキュラムを編成しています。

1. カトリック神学の伝統に基づいて、キリスト教に関する専門科目を、包括的・展開的に開設する。
2. 教義神学、教会史、キリスト教教育、キリスト教文学、聖書神学、聖書釈義、倫理神学、教会法、典礼神学、霊性神学、ギリシア語・ヒブル語などの古典文献学の科目を開設する。
3. 基礎的学習の専門性を深めるために、組織神学コース、聖書神学コース、キリスト教教育コース、宣教実務者コースの4コースを設置する。

組織神学専攻

【博士後期課程】

本課程では、ディプロマ・ポリシーに沿って、以下のようにカリキュラムを編成しています。

1. 研究指導と教育訓練からなる。研究指導では、指導教員の下で博士論文の作成、および学会等での研究発表を指導する。教育訓練は、指導教員、あるいは研究科委員長が適切だと認めた研究科教員の講義・演習科目における、講義実習や演習指導実習によって行う。
2. 組織神学、聖書学、実践神学、キリスト教文化の各分野の科目を開設する。

神学専攻 博士前期課程

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

【17年次生以降】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考 (上限, その他)
総単位数	30		
↳ 選択科目	30		
↳ 自専攻科目			
研究指導 (必修)		4	単位なし, 在学中毎学期登録される 4科目以上合格すること ただし, 早期修了者については, 在学しない学期分は免除される
修士論文			必要な研究指導を受け, 修士論文の審査および最終試験に合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に, 必ず「修士論文」を登録すること)

【研究指導スケジュール】

事 項	提出期限	対象	備 考
指導教員登録票提出期限	4月20日(月)	M1	指導教員承認印受領後, 研究科事務室へ提出。
コース登録票提出期限	4月20日(月)	M1	研究科委員長承認印受領後, 研究科事務室へ提出。
宣教実務者コース(早期修了希望者) 「早期修了申請書」提出期限	9月18日(金)	M1	指導教員および研究科委員長署名・捺印後, 研究科事務室へ提出。
研究計画書提出期限	5月29日(金)	M1	指導教員承認印受領後, 原本を研究科事務室へ, コピーを指導教員へ提出。
ローマ教皇庁学位 STB・STL 取得希望者申請書一式提出期限	原則年度初め	M1, M2	神学部長(教皇庁神学部長)と相談後, 研究科事務室へ提出。
修士論文中間発表会	9月24日(木)	M2	
修士論文履修登録	9月下旬	M2	修了する年度の履修登録期間中に Loyola から登録する。
最終筆記試験(STL 資格試験) 試験問題配付	10月1日(木)	M2	
最終筆記試験日(STL 資格試験)	11月5日(木)	M2	
最終口述試験問題配付	11月5日(木)	M2	
修士論文提出期限	1月14日(木)	M2	
最終口述試験日	2月中旬	M2	
製本用修士論文提出	3月上旬	M2	最終口述試験日から3週間以内に2部を研究科事務室へ提出する。 (図書館保管用・研究科事務室保管用)

※年度初めの新生・在校生ガイダンスで配付する「2020年度神学部・神学研究科年次予定表」を参照すること。

※9月修了希望者は, 上記に係る期日を別途指定するため, 履修登録前に必ず研究科事務室でスケジュール等詳細について確認すること。

【修士論文審査基準】

当該分野・領域における研究課題に自立的に取り組むことによって、カトリック教会と世界の課題解決のために相応しい方法論と論述を遂行する能力が認められること。

- 1) 問題設定：問題意識が明確で、課題設定が適切であること。
- 2) 先行研究の理解：先行研究を適切に理解・検討・吟味していること。
- 3) 研究方法：研究目的に対して、研究計画・研究方法・分析・展開・統合が適切であること。
- 4) 論文構成：論文構成が的確で、論理展開に整合性・一貫性があること。
- 5) 研究の位置づけ：当該分野・領域において、学術的・教会的・社会的な意義が適切に認められること。
- 6) 形式面：以下の形式面が整っていること。
 - ①序論、本論（章・節）、結論にわたって、構成が適切であり、目次によって全体の論旨・展開が概観できること。
 - ②文章が明快で、論旨が明晰判明に理解可能であること。
 - ③引用の方法・内容が適切で、引用文献表が簡潔に整えられていること。

【課題研究報告書審査基準】

- 1) 問題設定：問題意識が明確で、課題設定が適切であること。
- 2) 先行研究の理解：先行研究を適切に理解・検討していること。
- 3) 研究方法：研究目的に対して、適切な研究計画・研究方法を採っていること。
- 4) 論文構成：論文構成が的確で、論理展開に整合性・一貫性があること。
- 5) 形式面：以下の形式面が整っていること。
 - ①序論、本論（章・節）、結論にわたって、構成が適切であり、目次によって全体の論旨・展開が概観できること。
 - ②文章が明快で、論旨が明晰判明に理解可能であること。
 - ③引用の方法・内容が適切で、引用文献表が簡潔に整えられていること。

2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
<教義学>			
キリスト論特講(キリスト論と三位一体論)			2
教会論特講			2
入信の秘跡			2
聖餐の秘跡			2
ゆるしと叙階の秘跡			2
結婚の秘跡			2
基礎神学Ⅰ			2
基礎神学Ⅱ			2
恩恵論			2
マリア論			2
エキュメニズムⅠ			2
エキュメニズムⅡ			2
<教会史>			
日本キリスト教史			2
教父学(旧:教父たちの思想特講)			2
東方キリスト教学			2
教理史Ⅰ			2
教理史Ⅱ			2
<組織神学:演習>			
現代カトリック教義学Ⅰ			2
現代カトリック教義学Ⅱ			2
キリスト教ラテン語原典研究			2
<キリスト教教育:演習>			
キリスト教教育ゼミナールⅠ			2
キリスト教教育ゼミナールⅡ			2
キリスト教教育ゼミナールⅢ			2
キリスト教教育ゼミナールⅣ			2
<人間学>			
キリスト教教育Ⅰ			2
キリスト教教育Ⅱ			2
キリスト教文学特講Ⅰ			2
キリスト教文学特講Ⅱ			2
宗教倫理思想Ⅰ			2
宗教倫理思想Ⅱ			2
社会正義論(2017年度まで開講)			2
平和学特講			2
キリスト教音楽美学研究Ⅰ			2
キリスト教音楽美学研究Ⅱ			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
<聖書神学:演習>			
聖書神学研究ゼミナールⅠ(古代イスラエル史)			2
聖書神学研究ゼミナールⅡ(旧約聖書原典批判)			2
聖書神学研究ゼミナールⅢ			2
聖書神学研究ゼミナールⅣ			2
<聖書釈義>			
モーセ五書特講			2
詩編と知恵特講			2
預言者特講			2
パウロ特講			2
新約文献特講			2
<倫理神学>			
倫理神学特講Ⅰ(良心と自然法)			2
倫理神学特講Ⅱ(いのちと性)			2
倫理神学特講Ⅲ(聖書と霊性)			2
倫理神学特講Ⅳ(徳と人格)			2
社会倫理特講 ※2019年度まで開講			2
Conscience, Catholicism and Politics ※2016年度のみ開講			2
<教会法>			
教会法Ⅰ(秘跡法の入門と実践)			2
教会法Ⅱ(教会生活における法規と運用)			2
婚姻法・婚姻訴訟法			2
ゆるしの秘跡の司牧			2
<典礼>			
宣教学特講Ⅰ			2
宣教学特講Ⅱ			2
典礼神学Ⅰ			2
典礼神学Ⅱ			2
典礼神学特講Ⅰ(実践基礎論)			2
典礼神学特講Ⅱ(原典研究)			2
典礼と霊性Ⅰ			2
典礼と霊性Ⅱ			2
<霊性>			
現代の霊性Ⅰ(祈りの現代的意義)			2
現代の霊性Ⅱ (キリスト教的霊性の現代的展開)			2
現代司牧の諸問題Ⅰ(現代的カテキズム)			2
現代司牧の諸問題Ⅱ (日本におけるカトリック教会司牧とその使命)			2
パストラル・ケア特講			2

3. 履修上の注意

- 1) 「研究計画書」, 「修士論文作成スケジュール(テーマの設定, 中間発表, 提出時の注意事項等)」, および研究指導を受けるにあたっての注意事項については, 初年度初めの新入生・在校生ガイダンスで配付する資料を参照すること。
- 2) 入学後指定の期日までに, 「指導教員登録票」, 「コース登録票」および「研究計画書」を研究科事務室に提出すること。
- 3) 基本的には, 選択科目を30単位以上履修し, 必要な「研究指導」を受け, 修士論文の審査および最終試験に合格すれば, 修士(神学)の学位を取得することができる。
 上記以外に, 組織神学コース, キリスト教教育コース(旧「キリスト教倫理・文化コース」「実践神学コース」), 聖書神学コース, 宣教実務者コースのいずれかに属し, それぞれの要件を満たせば, 上記の修士(神学)の学位に加えて, 各コースの修了証を受領することができる。
 コースに所属するか否かに関わらず, 履修すべき基礎的科目はそれぞれの学歴によって異なるため, あらかじめ研究科委員長の指導を受け, 所属を志望するコースと指導教員を決めておくこと。
 なお, 「研究指導」を在学中每学期受けること。2017年次生以降の学生については, 必要な合格科目数も定められている。1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件を参照すること。また, 「修士論文」は修了予定年次に履修登録すること。
- 4) ローマ数字(I, II, …)が付与された科目: 括弧()による副題の記載のあるものは, それぞれ単独で履修することができる。副題が記載されていないIおよびIIの科目は, 両方の履修が前提として授業が組み立てられている。
 科目名に「特講」とある科目は, それに対応する学部ないし大学院開講科目の履修を前提として授業が進められる。
- 5) 担当教員の許可を得れば, 神学研究科博士前期課程の学生も後期課程の開講科目を履修し, これを前期課程修了要件の単位として加算することができる。また, 指導教員と相談の上, 論文指導の便宜のために重複履修した科目を修了単位として数えることができる。博士後期課程開講科目については, p. 21以降の博士後期課程の頁を参照のこと。

【組織神学コース】

組織神学コースに所属するためには, 神学部の組織神学副専攻または神学系の修了, もしくはそれと同等の要件を満たしていなければならない。そのうえで, 規定の教義神学科目(16単位以上)と選択科目(14単位以上〔聖書神学4単位と実践神学(倫理神学・教会法・典礼・霊性)6単位を含む]), および「研究指導」を履修し, 最終試験と論文審査に合格すれば, 修士(神学)の学位が取得できる。

全世界のカトリック教会において共通な, 教会法上の学位 STB (*Sacrae Theologiae Baccalaureatus*), および STL (*Sacrae Theologiae Licentiatius*) の学位取得を目指す者は, 教皇庁神学部長に相談すること。教皇庁からの通達により, 「婚姻法・婚姻訴訟法」(2単位)の取得が必修となったので, 2019年度以降入学者で STB および STL の学位取得希望者は, 必ず履修すること。

教義神学選択必修(16)	キリスト論特講(キリスト論と三位一体論)(2)	聖餐の秘跡(2)
	教会論特講(2)	ゆるしと叙階の秘跡(2)
	入信の秘跡(2)	結婚の秘跡(2)
	基礎神学 I / II (4)	現代カトリック教義学 I / II (4)
	恩恵論(2)	
選択(14) 【但し, 聖書神学(4), 倫理神学・教会法・典礼・霊性より(6)を含む】	マリア論(2)	
	教父学(2)	日本キリスト教史(2)
	エキュメニズム I / II (4)	東方キリスト教学(2)
	キリスト教ラテン語原典研究(2)	教理史 I / II (4)

【キリスト教教育コース】

キリスト教教育コース（旧「キリスト教倫理・文化コース」・「実践神学コース」）に所属する者は、必修科目「キリスト教教育ゼミナールⅠ～Ⅳ」を8単位、選択必修科目を10単位以上、自由選択科目を12単位以上履修し、論文審査と最終試験に合格すれば、修士（神学）の学位に加えて、M. Div（Master of Divinity）の学位が取得できる。自由選択科目は、神学研究科の他のコースのものを履修してもよい。

演習 必修(8)	キリスト教教育ゼミナールⅠ～Ⅳ(8)	
人間学 選択必修(10)	キリスト教教育Ⅰ(2) キリスト教教育Ⅱ(2) キリスト教文学特講Ⅰ(2) キリスト教文学特講Ⅱ(2) 宗教倫理思想Ⅰ(2) 宗教倫理思想Ⅱ(2)	社会正義論(2) (2017年度まで開講) 平和学特講(2) キリスト教音楽美学研究Ⅰ(2) キリスト教音楽美学研究Ⅱ(2)
自由選択(12)		

【聖書神学コース】

聖書神学コースに所属する者は、必修科目「聖書神学研究ゼミナールⅠ～Ⅳ」（重複履修不可）を8単位、聖書釈義選択必修科目を10単位（2回まで同一科目の重複履修を認める）、自由選択科目を12単位以上履修し、論文審査と最終試験に合格すれば、修士（神学）の学位に加えて、M. Bib（Master of Biblical Studies）の学位が取得できる。自由選択科目は、神学研究科の他のコースのものを履修してもよい。

演習 必修(8) ※重複履修は認めない	聖書神学研究ゼミナールⅠ（古代イスラエル史）(2) 聖書神学研究ゼミナールⅡ（旧約聖書原典批判）(2) 聖書神学研究ゼミナールⅢ(2) 聖書神学研究ゼミナールⅣ(2)
聖書釈義 選択必修(10) ※2回まで同一科目の重複履修を認める	モーセ五書特講(2) 詩編と知恵特講(2) 預言者特講(2) パウロ特講(2) 新約文献特講(2)
自由選択(12)	

【宣教実務者コース】

宣教実務者コースの出願資格および修了要件は、以下のとおりである。

【出願資格】以下の条項のいずれかに該当すること。

- ① カトリック教会における教会法上の学位（STB, STL, STD）を有する者。
- ② キリスト教会において、司祭・牧師として正式に選任された聖職者。
- ③ 上智大学神学部「宣教実務系」を修了した者。

【修了要件】

- ① 本コースに属する学生は、指導教員のもとで各人のニーズに応じた履修計画を立て、博士前期課程の開講科目から30単位以上を履修する。
- ② 在学期間は、通常2年以上であるが、優れた業績を上げた者は、1年間の在学で足りるものとする（早期修了）。
- ③ その場合は指導教員のもとで、修士論文の代わりに「課題研究報告書」を作成し提出する。
- ④ 本コースに属する学生が、上智大学神学研究科後期課程に進学を希望する場合は、修了要件②は適用されず、在学期間は2年以上とし、さらに修士論文を完成させなければならない。

【早期修了の要件】

早期修了の認定を受けることができる者は、本専攻会議が成績優秀（GPA3.0以上）と判定する者で、かつ次に掲げる要件をすべて満たしていなければならない。

- ① 本人が早期修了を希望していること。
- ② 30単位以上を修得済みであること。
- ③ 修士論文に代える「課題研究報告書」についての審査に合格していること。

【早期修了の申請】

早期修了を希望する者は、指導教員の合意を得た上で、本専攻が別に定める早期修了申請書を、修了年度の春学期終了日（9月18日）までに、専攻主任に提出しなければならない。

【早期修了申請の取消】

早期修了の申請が許可された者が、特別な理由により申請を取り消したい場合には、指導教員の合意を得た上で、本専攻が別に定める早期修了申請取消願を専攻主任に提出し、専攻主任の承認を受けなければならない。

4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	外国語	備考
MTTH7031	春	入信の秘跡	THE503-91j00	2	具 正 謨		隔年開講
MTTH7051	春	ゆるしと叙階の秘跡	THE505-91j00	2	具 正 謨		隔年開講
MTTH7071	春	基礎神学Ⅰ	THE507-91j00	2	川 中 仁		隔年開講
MTTH7091	春	恩恵論	THE509-91j00	2	光 延 一 郎		隔年開講
MTTH7161	春	東方キリスト教学	THE514-91j00	2	*中 西 裕 一		
MTTH7482	春	キリスト教教育ゼミナールⅠ	THE541-91j00	2	瀬 本 正 之		隔年開講
MTTH7452	春	キリスト教教育Ⅰ	THE538-91j00	2	(他)武 田 なほみ		隔年開講 前期課程死生学専攻「生涯発達論研究Ⅰ」 後期課程死生学専攻「生涯発達論特殊研究Ⅱ」と合併科目
MTTH7472	春	宗教倫理想Ⅱ	THE540-91j00	2	HAIDAR Juan		隔年開講
MTTH7291	春	平和学特講	THE524-91j00	2	小 山 英 之		隔年開講
MTTH7751	春	キリスト教音楽美学研究Ⅰ	THE557-91j00	2	森 裕 子		
MTTH7722	春	聖書神学研究ゼミナールⅢ	THE554-91j00	2	*廣 石 望		隔年開講
MTTH7582	春	詩編と知恵特講	THE547-91j00	2	佐久間 勤		隔年開講
MTTH7622	春	パウロ特講	THE549-91j00	2	*廣 石 望		隔年開講
MTTH7301	春	教会法Ⅰ（秘跡法の入門と実践）	THE525-91j00	2	*菅 原 裕 二		隔年開講，集中講義
MTTH7311	春	教会法Ⅱ （教会生活における法規と運用）	THE526-91j00	2	*菅 原 裕 二		隔年開講，集中講義
MTTH7755	春	宣教学特講Ⅰ	THE561-91j00	2	原 敬 子		
MTTH7361	春	典礼神学特講Ⅰ（実践基礎論）	THE530-91j00	2	*石 井 祥 裕		隔年開講
MTTH7741	春	現代司牧の諸問題Ⅰ （現代的カテキズム）	THE556-91j00	2	*阿 部 仲麻呂		隔年開講
MTTH7011	秋	キリスト論特講 （キリスト論と三位一体論）	THE501-91j00	2	川 中 仁		隔年開講
MTTH7121	秋	エキュメニズムⅡ	THE512-91j00	2	角 田 佑 一		隔年開講 前期課程死生学専攻「実践宗教学研究Ⅱ」 と合併科目
MTTH7181	秋	教理史Ⅱ	THE516-91j00	2	角 田 佑 一		隔年開講
MTTH7221	秋	現代カトリック教義学Ⅱ	THE518-91j00	2	光 延 一 郎		隔年開講
MTTH7231	秋	キリスト教ラテン語原典研究	THE519-91o00	2	*平 林 冬 樹		
MTTH7522	秋	キリスト教文学特講Ⅱ	THE543-91j00	2	片 山 はるひ		隔年開講
MTTH7752	秋	キリスト教音楽美学研究Ⅱ	THE558-91j00	2	森 裕 子		
MTTH7702	秋	聖書神学研究ゼミナールⅠ （古代イスラエル史）	THE552-91j00	2	月 本 昭 男		隔年開講
MTTH7271	秋	倫理神学特講Ⅳ（徳と人格）	THE523-91j00	2	竹 内 修 一		隔年開講
MTTH7771	秋	婚姻法・婚姻訴訟法	THE534-91j00	2	*田 中 昇		
MTTH7756	秋	宣教学特講Ⅱ	THE562-91j00	2	原 敬 子		
MTTH7351	秋	典礼神学Ⅱ	THE529-91j00	2	具 正 謨		隔年開講
MTTH7754	秋	典礼と靈性Ⅱ	THE560-91j00	2	FIRMANSYAH Antonius		隔年開講
MTTH7381	秋	現代の靈性Ⅰ（祈りの現代的意義）	THE532-91j00	2	*小 暮 康 久		隔年開講，集中講義
MTTH7532	秋	キリスト教教育ゼミナールⅡ	THE544-91j00	2	(他)武 田 なほみ		隔年開講
MTTH9010	秋	修士論文	THE699-91j00	0	神学専攻各指導教員		M2対象
MTTH9000	秋	課題研究報告書	THE689-91j00	0	神学専攻各指導教員		宣教実務者コース早期修了者対象

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	外国語	備考
MTTH7021	休講	教会論特講	THE502-91j00	2			隔年開講
MTTH7041	休講	聖餐の秘跡	THE504-91j00	2			隔年開講
MTTH7061	休講	結婚の秘跡	THE506-91j00	2			隔年開講, 集中講義
MTTH7081	休講	基礎神学Ⅱ	THE508-91j00	2			隔年開講
MTTH7101	休講	マリア論	THE510-91j00	2			隔年開講
MTTH7111	休講	エキュメニズムⅠ	THE511-91j00	2			隔年開講 前期課程死生学専攻「実践宗教学研究Ⅰ」と合併科目
MTTH7131	休講	日本キリスト教史	THE513-91j00	2			隔年開講
MTTH7757	休講	教父学	THE563-91j00	2			隔年開講
MTTH7171	休講	教理史Ⅰ	THE515-91j00	2			隔年開講
MTTH7211	休講	現代カトリック教義学Ⅰ	THE517-91j00	2			隔年開講
MTTH7542	休講	キリスト教教育ゼミナールⅢ	THE545-91j00	2			隔年開講
MTTH7502	休講	キリスト教教育ゼミナールⅣ	THE542-91j00	2			隔年開講
MTTH7453	休講	キリスト教教育Ⅱ	THE539-91j00	2			隔年開講
MTTH7432	休講	キリスト教文学特講Ⅰ	THE536-91j00	2			隔年開講
MTTH7642	休講	宗教倫理思想Ⅰ	THE551-91j00	2			隔年開講
MTTH7712	休講	聖書神学研究ゼミナールⅡ (旧約聖書原典批判)	THE553-91j00	2			隔年開講
MTTH7733	休講	聖書神学研究ゼミナールⅣ	THE555-91j00	2			隔年開講
MTTH7562	休講	モーセ五書特講	THE546-91j00	2			隔年開講
MTTH7602	休講	預言者特講	THE548-91j00	2			隔年開講
MTTH7633	休講	新約文献特講	THE550-91j00	2			隔年開講
MTTH7241	休講	倫理神学特講Ⅰ(良心と自然法)	THE520-91j00	2			隔年開講
MTTH7251	休講	倫理神学特講Ⅱ(いのちと性)	THE521-91j00	2			隔年開講
MTTH7261	休講	倫理神学特講Ⅲ(聖書と霊性)	THE522-91j00	2			隔年開講
MTTH7321	休講	ゆるしの秘跡の司牧	THE527-91j00	2			隔年開講, 集中講義
MTTH7341	休講	典礼神学Ⅰ	THE528-91j00	2			隔年開講
MTTH7371	休講	典礼神学特講Ⅱ(原典研究)	THE531-91j00	2			隔年開講
MTTH7753	休講	典礼と霊性Ⅰ	THE559-91j00	2			隔年開講
MTTH7391	休講	現代の霊性Ⅱ (キリスト教的霊性の現代的展開)	THE533-91j00	2			隔年開講, 集中講義
MTTH7421	休講	現代司牧の諸問題Ⅱ (日本におけるカトリック教会司牧とその使命)	THE535-91j00	2			隔年開講
MTTH7441	休講	パストラル・ケア特講	THE537-91j00	2			隔年開講, 前期課程死生学専攻「生涯発達論研究Ⅱ」 後期課程死生学専攻「生涯発達論特殊研究Ⅲ」 と合併科目

5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
THE599-91j00	佐久間 勤	
	光 延 一 郎	
	瀬 本 正 之	
	片 山 はるひ	
	竹 内 修 一	
	具 正 謨	
	Haidar Juan	
	川 中 仁	
	小 山 英 之	
	森 裕 子	
	原 敬 子	

組織神学専攻 博士後期課程

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

【18年次生以降】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	6		
授業科目			
▶選択必修科目	6		
自専攻科目			
研究指導（必修）		6	単位なし, 在学中毎学期登録される 6科目以上合格すること
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に合格すること

【17年次生】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数			
▶選択科目			
研究指導（必修）		6	単位なし, 在学中毎学期登録される 6科目以上合格すること
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に合格すること

【11～16年次生】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数			
▶選択科目			
研究指導（必修）			単位なし, 在学中毎学期登録される
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に合格すること

【10年次生以前】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数			
▶選択科目			
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に合格すること

【研究指導スケジュール】

事 項	提出期限	対 象	備 考
指導教員登録票提出期限	4月20日(月)	D1	指導教員承認印受領後、研究科事務室へ提出。
研究計画書提出提出期限	5月29日(金)	D1	指導教員承認印受領後、原本を研究科事務室へ、コピーを指導教員へ提出。
博士論文執筆資格試験必要書類の配付	4月2日(木)	D1	新入生ガイダンスで以下の書類を配布 ①「博士論文執筆資格試験規程」 ② コンプリヘンシヴ試験用書籍候補リスト
博士論文執筆資格試験受験申込み	入学後、1年を経過した時点	D2	入学後1年経過した時点から受験を申し込むことが可能。 申込みの際、プロポーザル3部を研究科委員長に提出する。
博士論文執筆資格試験日程の通知・公表		D2	プロポーザル提出後、1ヶ月前後の適当な時期に試験日程を決定し、日程のみ学生に通知し、同日程を掲示する。
博士論文執筆資格試験担当教員の通知・公表		D2	試験1週間前に、研究科委員長は試験担当教員を学生へ通知し、掲示する。
博士論文執筆資格試験実施		D2	プロポーザル提出後、1ヶ月前後に実施。2度目試験が不合格の場合、退学となる。
博士論文執筆資格試験最終合否判定・通知		D2	3名の試験担当教員により合否判定結果を研究科委員会に諮り、最終の合否判定を審議し、研究科委員長は直ちに欽定結果を学生へ通知する。
学位論文テーマの登録保存と公示		D2	研究科委員長は、合格した学生の学位論文テーマが登録保存されたことを公示する。
自己申告書(学会研究発表・論文掲載・教育訓練実施報告)提出期限	在籍最終年度 12月20日	D2	所定用紙に記載のうえ、研究科事務室へ提出。
博士論文の申請・公開試験の実施		D2	学事センターへ論文審査願を提出。 学位授与審議は、9月または3月の大学院委員会で行うため、論文提出時期、公開試験日程等については、指導教員および研究科委員長の指示に従って進めて行くこと。

※年度初めの新入生・在校生ガイダンスで配付する「2020年度神学部・神学研究科年次予定表」を参照すること。

※博士論文執筆資格試験については、新入生ガイダンスで配付する「博士論文執筆資格試験規程」を参照すること。

【博士論文審査基準】

自立した研究者として、当該分野・領域における独創的研究をとおして、カトリックの教会と世界に貢献できる能力が認められること。

- 1) 問題設定：問題意識が明確で、課題設定が適切であること。
- 2) 先行研究の理解：先行研究を適切に理解・検討・吟味していること。
- 3) 研究方法：研究目的に対して、研究計画・研究方法・分析・展開・統合が適切であること。
- 4) 論文構成：論文構成が的確で、論理展開に整合性・一貫性があること。
- 5) 研究の位置づけ：当該分野・領域において、学術的・教会的・社会的な意義が適切に認められること。
- 6) 独創性：全体を通して、学術的独創性が認められること。
- 7) 形式面：以下の形式面が整っていること。
 - ①序論、本論（章・節）、結論にわたって、構成が適切であり、目次によって全体の論旨・展開が概観できること。
 - ②文章が明快で、論旨が明晰判明に理解可能であること。
 - ③引用の方法・内容が適切で、引用文献表が簡潔に整えられていること。

2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
<組織神学研究>			
組織神学研究 I		2	
組織神学研究 II		2	
組織神学研究 III		2	
組織神学研究 IV		2	
<聖書学研究>			
旧約聖書研究 I		2	
旧約聖書研究 II		2	
新約聖書研究 I		2	
新約聖書研究 II		2	
<実践神学研究>			
倫理神学研究 I		2	

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
倫理神学研究 II		2	
実践神学研究 I		2	
実践神学研究 II		2	
霊性神学研究 I		2	
霊性神学研究 II		2	
<キリスト教文化研究>			
教会史研究 I		2	
教会史研究 II		2	
キリスト教思想研究 I		2	
キリスト教思想研究 II		2	
キリスト教人間学研究 I		2	
キリスト教人間学研究 II		2	

3. 履修上の注意

1. 「研究計画書」、「博士論文作成スケジュール(テーマの設定、提出時の注意事項等)」、および研究指導を受けるにあたっての注意事項については、初年度初めの新入生ガイダンスで配付する資料を参照すること。
2. 入学後指定の期日までに、「指導教員登録票」および「研究計画書」を研究科事務室に提出すること。
3. 修了要件は、(a)研究指導および(b)教育訓練からなる。また、博士論文の執筆条件として、(c)博士論文執筆資格試験(コンプリヘンシヴ)の合格が前提となる。
 - (a) 研究指導は、上記開講科目および前期課程開講科目の受講、博士論文作成の指導を受けることによって行われる。さらに、学会での研究発表(学会誌等論文掲載を含む)が義務づけられる。なお、2017年次生以降の学生については、必要な合格科目数も定められている。1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件を参照すること。
 - (b) 教育訓練は、研究科教員の講義・演習科目において授業指導を行うことによって充当される。その際、同訓練は、研究指導者ないし研究科委員長が適当と認める方法によって行われる。

(c) 博士論文執筆資格試験は、適当な時期に公開口述試験の形で行われる。同試験は、①組織神学全般に関する総合的な試問、および②博士論文のテーマに関わる研究分野の専門的知識を問う試問からなる。そのために、①には「選択書籍表」、②には「論文の計画素案 (proposal)」の事前提出が求められる。本試験に合格した時点で、学位（博士）論文のテーマがリザーブされ、博士論文の執筆が承認される。

なお、上記の①もしくは②の公開口述試験に二度不合格となった場合は、上智大学大学院学則第29条(3)によって中途退学となる。

(d) 2018年度入学者から、上記(a)～(c)の修了要件に加え、博士後期課程開講科目の中から、6単位以上の単位修得が必須となる。

4. 博士課程修了、満期退学等には、上記の修了要件を満たす必要がある。

4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	外国語	備考
DTTH7210	春	組織神学研究Ⅰ	THE801-92j00	2	光延一郎		
DTTH7250	春	旧約聖書研究Ⅰ	THE805-92j00	2	月本昭男		
DTTH7270	春	新約聖書研究Ⅰ	THE807-92j00	2	川中仁		
DTTH7310	春	実践神学研究Ⅰ	THE811-92j00	2	具正謨		
DTTH7330	春	霊性神学研究Ⅰ	THE813-92j00	2	具正謨		
DTTH7350	春	教会史研究Ⅰ	THE815-92j00	2	(他)川村信三		
DTTH7370	春	キリスト教思想研究Ⅰ	THE817-92j00	2	HAIDAR Juan		
DTTH7390	春	キリスト教人間学研究Ⅰ	THE819-92j00	2	片山はるひ		
DTTH7220	秋	組織神学研究Ⅱ	THE802-92j00	2	光延一郎		
DTTH7260	秋	旧約聖書研究Ⅱ	THE806-92j00	2	佐久間勤		
DTTH7280	秋	新約聖書研究Ⅱ	THE808-92j00	2	川中仁		
DTTH7300	秋	倫理神学研究Ⅱ	THE810-92j00	2	竹内修一		
DTTH7320	秋	実践神学研究Ⅱ	THE812-92j00	2	具正謨		
DTTH7340	秋	霊性神学研究Ⅱ	THE814-92j00	2	具正謨		
DTTH7360	秋	教会史研究Ⅱ	THE816-92j00	2	(他)川村信三		
DTTH7400	秋	キリスト教人間学研究Ⅱ	THE820-92j00	2	片山はるひ		
DTTH7230	休講	組織神学研究Ⅲ	THE803-92j00	2			
DTTH7240	休講	組織神学研究Ⅳ	THE804-92j00	2			
DTTH7290	休講	倫理神学研究Ⅰ	THE809-92j00	2			
DTTH7380	休講	キリスト教思想研究Ⅱ	THE818-92j00	2			

5. 研究指導一覧表

2011年次生以降対象科目であることに注意すること。

ナンバリング	担当教員名	備考
THE899-92j00	佐久間 勤	
	光延一郎	
	瀬本正之	
	片山はるひ	
	竹内修一	
	具正謨	
	HAIDAR Juan	
	川中仁	
	小山英之	
	森裕子	
	原敬子	

哲学研究科

1. 哲学研究科の教育研究上の目的及び人材養成の目的

古代から中世を経て現代へ至る西洋哲学の伝統を研究する。また芸術・文化・宗教のあり方を根本から考え、現代社会が直面する多様な倫理的問題に対して、原理的な仕方掘り下げる。

前期課程では、原典テキストの読解を中心に思想史研究の基本を学ぶ。後期課程は主として専門研究者の育成を目標とする。

2. 各専攻のディプロマ・ポリシー

哲学専攻

【博士前期課程】

本課程では、所定の科目を履修し、指導教員のもとで、修士論文のテーマを決め、研究指導により個別の指導を受け、論文の審査に合格した学生に修士（哲学）の学位を授与します。

【博士後期課程】

本課程では、以下の要件を満たしたうえで、博士論文が正式に受理され、審査に合格した学生に博士（哲学）の学位を授与します。

1. 本課程において、研究指導教員に1年間以上にわたり研究指導を受けたのちに研究企画書を研究科委員会に提出し、博士論文提出に関してあらかじめ研究科委員会の承認を得ていること。
2. 研究発表：上智大学哲学会での研究発表・全国規模の専門学会での複数の研究発表。
3. 刊行論文：3点以上の刊行論文。

3. 各専攻のカリキュラム・ポリシー

哲学専攻

【博士前期課程】

本課程は、哲学専修コースおよび現代思想コースの2つのコースを設置しています。哲学専修コースでは、古代から中世を経て近代へ至る西洋哲学の長い歴史をふまえて、科学、芸術、文化、宗教のあり方を根本から考えるとともに、哲学の文献研究の基礎を学びます。現代思想コースでは、現代的な視座から哲学の根本問題を考察し、環境、生命、医療など現代社会が直面する多様な倫理的問題をとりあげます。

【博士後期課程】

本課程では、高度な専門的研究者の養成、すなわち、大学や短大などでの哲学教育の担当者のみならず、国際的な場においても活躍できるような哲学研究者の養成をめざします。

哲学専攻 博士前期課程

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

【14～15年次生 哲学専修コース（Aコース）】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	30		
授業科目			
▶必修科目	4		
└哲学総合演習A	2		
└哲学総合演習B	2		
▶選択必修科目	10		文献研究科目群のなかから10単位を選ぶ
▶選択科目	16		
└自専攻科目			
└委託聴講科目			8単位まで修了に必要な単位として認められる
研究指導（必修）			単位なし, 在学中毎学期登録される
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および口述試験に合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること)

【14～15年次生 現代思想コース（Bコース）】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	30		
授業科目			
▶必修科目	4		
└哲学総合演習A	2		
└哲学総合演習B	2		
▶選択必修科目	10		文献研究科目群のなかから4単位 研究科目群のなかから6単位を選ぶ
▶選択科目	16		
└自専攻科目			
└委託聴講科目			8単位まで修了に必要な単位として認められる
研究指導（必修）			単位なし, 在学中毎学期登録される
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および口述試験に合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること)

【研究指導スケジュール】

指導教員の決定：4月末まで（M1・M2）新入生ガイダンス後なるべく早期が望ましい。

年次研究計画書の提出：4月末まで（M1・M2）毎年度提出

研究報告書の提出：2月末まで（M1）

修士論文計画書の提出：11月中旬（M1）指導教員別にガイダンスを実施する。

修士論文中間発表会：10月下旬～12月上旬（M2）「哲学総合演習」で順次発表する。

修士論文の履修登録：9月下旬～10月上旬（M2）秋学期履修登録期間中

修士論文の提出：1月中旬（M2）

論文審査・口述試験：2月中旬（M2）

【修士論文審査基準】

- 1) 問題設定：哲学の体系的・歴史的研究のいずれかの点で、妥当な問題を設定していること。
- 2) 研究方法：文献研究の場合、原典の参照や二次文献の検討が適切になされていること。
- 3) 論文構成：論文全体の構成、論旨の展開が明確で、説得力がある文章で書かれていること。
- 4) 研究の位置づけ：研究史に鑑み、自分の研究がどういった位置にあるか明確であること。
- 5) 独創性：哲学研究への何らかの積極的な貢献を果たす意義を持っていること。
- 6) 論文の形式：論文としての十分な紙幅、註や参考文献の適切な指示がなされていること。
- 7) 研究の倫理：資料の改竄、剽窃、盗作などが一切ないこと。
- 8) 指導：指導教員との十分な個人指導を経た成果であること。

2. 授業科目の編成・単位

哲学専修コース（Aコース）・現代思想コース（Bコース）

科目名	単位数				
	必修	Aコース		Bコース	
		選必	選択	選必	選択
＜文献研究科目群＞					
古代哲学文献研究ⅠA		2		2	
古代哲学文献研究Ⅱ		2		2	
中世哲学文献研究ⅠA		2		2	
中世哲学文献研究ⅠB		2		2	
中世哲学文献研究Ⅲ		2		2	
近代哲学文献研究ⅠA		2		2	
近代哲学文献研究ⅠB		2		2	
近代哲学文献研究ⅡA		2		2	
近代哲学文献研究Ⅲ		2		2	
近代哲学文献研究ⅣB		2		2	

科目名	単位数				
	必修	Aコース		Bコース	
		選必	選択	選必	選択
＜研究科目群＞					
現代哲学研究ⅠA			2	2	
現代哲学研究ⅠB			2	2	
現代倫理学研究ⅡA			2	2	
現代倫理学研究ⅡB			2	2	
美学芸術学研究Ⅰ			2	2	
美学芸術学研究Ⅱ			2	2	
日本思想研究			2	2	
東洋思想研究			2	2	
宗教思想研究			2		2
哲学総合演習A ※注1	2				
哲学総合演習B ※注1	2				

哲学専修コース（Aコース）の選択必修は

＜文献研究科目群＞より10単位

現代思想コース（Bコース）の選択必修は

＜文献研究科目群＞より4単位

＜研究科目群＞より6単位

それ以上の単位は選択科目として扱う

※注1：哲学総合演習（4単位）は2015年度よりA（春学期2単位）、B（秋学期2単位）に分割された。

3. 履修上の注意

- 1) 前期課程において必要な履修単位は30単位とする。
- 2) 「研究指導(必修)」を、在学中毎学期受けること。
- 3) 前期課程の学生は入学後一年以内に、修士論文のテーマと希望する指導教員名を専攻主任に申告しなければならない。委員会はそれを考慮して指導教員を指定する。
- 4) 前期課程において学生の研究上必要と認められるときは、協定他大学および本学の他の研究科の開講科目を履修させ、これを委員会が計8単位まで必要単位として認定する。
- 5) 哲学総合演習AB（合計4単位）は前期課程1年次生用の必修である。それ以外に2年次以降、継続して履修を希望する場合は、選択科目として扱う。

4. 開講科目一覧表

文学研究科哲学専攻（p. 44）の開講科目一覧を参照すること。

なお、文学研究科哲学専攻の設置に伴い、科目名が変更となっているものの対応については、以下の表による。対応する科目は同一科目とみなす。

2015年度以前の開講科目	2016年度以降の開講科目
古代哲学文献研究ⅠA	古代哲学文献研究Ⅰ
中世哲学文献研究ⅠA	中世哲学文献研究Ⅰ
中世哲学文献研究ⅠB	中世哲学文献研究Ⅱ
近代哲学文献研究ⅠA	近代哲学文献研究Ⅰ
近代哲学文献研究ⅠB	近代哲学文献研究Ⅱ
近代哲学文献研究ⅡA	近代哲学文献研究Ⅲ
近代哲学文献研究Ⅲ	近代哲学文献研究Ⅳ
近代哲学文献研究ⅣB	近代哲学文献研究Ⅴ
現代哲学研究ⅠA	現代哲学研究Ⅰ
現代哲学研究ⅠB	現代哲学研究Ⅱ
現代倫理学研究ⅡA	現代倫理学研究Ⅰ
現代倫理学研究ⅡB	現代倫理学研究Ⅱ

5. 研究指導一覧表

文学研究科哲学専攻（p. 44）の研究指導一覧を参照すること。

哲学専攻 博士後期課程

1. 修了に要する科目，単位数，科目数などの要件

【15年次生】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限，その他）
総単位数	20		
授業科目			
▶必修科目	4		
└哲学特殊研究A	2		
└哲学特殊研究B	2		
▶選択科目	16		
研究指導（必修）			単位なし，在学中毎学期登録される
博士論文			必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査および試験に合格すること

【13年次生】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限，その他）
総単位数	20		
授業科目			
▶必修科目	4		
└哲学特殊研究	4		
▶選択科目	16		
研究指導（必修）			単位なし，在学中毎学期登録される
博士論文			必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査および試験に合格すること

【研究指導スケジュール】

指導教員の決定：4月末まで（D1）新入生ガイダンス後なるべく早期が望ましい。

年次研究計画書の提出：4月末まで（D1-3）毎年度提出

研究報告書の提出：2月末まで（D1-2）

博士論文中間発表会：10月下旬～12月上旬（D1-3）「哲学特殊研究」で順次発表する。

博士論文計画書の提出：指導教員，専攻主任と相談する。専攻会議での承認が必要。

博士論文の提出：（随時）提出要領は『履修要綱』参照

博士論文審査・口述試験：（随時）

【博士論文審査基準】

- 1) 問題設定：哲学の体系的・歴史的研究のいずれかの点で，妥当な問題を設定していること。
- 2) 研究方法：文献研究の場合，原典の参照や二次文献の検討が適切になされていること。
- 3) 論文構成：論文全体の構成，論旨の展開が明確で，説得力がある文章で書かれていること。
- 4) 研究の位置づけ：研究史に鑑み，自分の研究がどういった位置にあるか明確であること。
- 5) 独創性：従来の研究にない独自の貢献を付け加える意義を持っていること。
- 6) 論文の形式：論文としての十分な紙幅，註や参考文献の適切な指示がなされていること。
- 7) 研究の倫理：資料の改竄，剽窃，盗作などが一切ないこと。
- 8) 指導：指導教員との十分な個人指導を経た成果であること。
- 9) 学会発表：論文を書くにあたって，それを構成する部分が，複数の専門学会での口頭発表，投稿論文などによる研究成果をふまえていること。

2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
古代哲学文献研究 I A			2
古代哲学文献研究 II			2
中世哲学文献研究 I A			2
中世哲学文献研究 I B			2
中世哲学文献研究 II A			2
近代哲学文献研究 I A			2
近代哲学文献研究 I B			2
近代哲学文献研究 II A			2
近代哲学文献研究 III			2
近代哲学文献研究 IV B			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
現代哲学研究 I A			2
現代哲学研究 I B			2
現代倫理学研究 II A			2
現代倫理学研究 II B			2
美学芸術学研究 I			2
美学芸術学研究 II			2
日本思想研究			2
東洋思想研究			2
哲学特殊研究 A ※注1	2		
哲学特殊研究 B ※注1	2		

※注1：2015年度より A（春学期2単位） B（秋学期2単位）に分割された。

3. 履修上の注意

- 1) 後期課程において必要な履修単位数は20単位とする。
- 2) 「研究指導（必修）」を、在学中每学期受けること。
- 3) 後期課程の学生は入学当初に、研究テーマと希望する指導教員名を専攻主任に申告しなければならない。委員会はそれを考慮して指導教員を指定する。
- 4) 後期課程の学生は每学期指導教員の授業に出席し、その指示に従って研究し、研究状況を指導教員に報告し、その成果を毎年発表しなくてはならない。
- 5) 後期課程に入学した学生で、前期課程必修科目の「哲学総合演習」の未履修者は、指導教員と専攻主任の許可を受けた上で、この科目4単位を後期課程の選択科目として履修し、必要単位数に充当することができる。
- 6) 後期課程において学生は研究の必要上、協定他大学および本学の他の研究科の授業を履修することはできるが、それによって必要単位数に充当することはできない。
- 7) 12年次生以降の学生は「哲学特殊研究」4単位必修。15年次生の学生は「哲学特殊研究A」2単位「哲学特殊研究B」2単位の合計4単位必修。それ以外に2年次以降、継続して履修を希望する場合は、この両科目とも選択科目として扱う。

4. 開講科目一覧表

文学研究科哲学専攻 (p. 47) の開講科目一覧を参照すること。

なお、文学研究科哲学専攻の設置に伴い、科目名が変更となっているものの対応については、以下の表による。対応する科目は同一科目とみなす。

2015年度以前の開講科目	2016年度以降の開講科目
古代哲学文献研究ⅠA	哲学特殊研究・古代Ⅰ
古代哲学文献研究Ⅱ	哲学特殊研究・古代Ⅱ
中世哲学文献研究ⅠA	哲学特殊研究・中世Ⅰ
中世哲学文献研究ⅠB	哲学特殊研究・中世Ⅱ
中世哲学文献研究ⅡA	哲学特殊研究・中世Ⅲ
近代哲学文献研究ⅠA (旧) 近世哲学文献研究ⅠA	哲学特殊研究・近代Ⅰ
近代哲学文献研究ⅠB (旧) 近世哲学文献研究ⅠB	哲学特殊研究・近代Ⅱ
近代哲学文献研究ⅡA	哲学特殊研究・近代Ⅲ
近代哲学文献研究Ⅲ (旧) 近世哲学文献研究ⅢA	哲学特殊研究・近代Ⅳ
近代哲学文献研究ⅣB	哲学特殊研究・近代Ⅴ
現代哲学研究ⅠA (旧) 現代哲学文献研究ⅡA	哲学特殊研究・現代Ⅰ
現代哲学研究ⅠB (旧) 現代哲学文献研究ⅡB)	哲学特殊研究・現代Ⅱ
現代倫理学研究ⅡA (旧) 倫理学特殊問題Ⅲ	哲学特殊研究・現代倫理学Ⅰ
現代倫理学研究ⅡB (旧) 倫理学特殊問題Ⅳ	哲学特殊研究・現代倫理学Ⅱ
美学芸術学研究Ⅰ (旧) 美学芸術学Ⅰ	哲学特殊研究・美学芸術学Ⅰ
美学芸術学研究Ⅱ (旧) 美学芸術学Ⅱ	哲学特殊研究・美学芸術学Ⅱ
日本思想研究 (旧) 日本思想文献研究	哲学特殊研究・日本思想
東洋思想研究 (旧) 東洋思想文献研究	哲学特殊研究・東洋思想

5. 研究指導一覧表

文学研究科哲学専攻 (p. 47) の研究指導一覧を参照すること。

文学研究科

哲学専攻

史学専攻

国文学専攻

英米文学専攻

ドイツ文学専攻

フランス文学専攻

新聞学専攻

文化交渉学専攻

1. 文学研究科の教育研究上の目的及び人材養成の目的

幅広い教養と柔軟な思考力を持ち、世界と未来に開かれた新しい知を創造する力を伸ばすために、文化の総体の探究、現代社会との連結、語学能力の重視に重点を置いた実践教育を行い、社会、文化の発展に貢献しうる人材を養成する。

前期課程では、研究者の養成を目指すとともに、高度な専門知識によって職業的能力を向上させる。後期課程では、国際的な水準で広く活躍し、将来、各々の分野で研究・教育に携わる人材の育成を期する。

2. 各専攻のディプロマ・ポリシー

哲学専攻

【博士前期課程】

本課程では、学生が修了時に身につけているべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば、これらを身につけた者と認め、学位を授与します。

1. 西洋哲学史全般に関する基礎知識をもとに、各自の研究テーマを掘り下げて、じっくり考える力と、時流に流されない深い学識
2. 現代社会のグローバルな危機に対して、対症療法に終わらない深い次元から解決の方向を見出す洞察力と賢慮
3. 複数の外国語（英・独・仏・ギリシア・ラテン）を読む力と難解な古典文献の読解力
4. 書き言葉と話し言葉の両面にわたる適切な表現の能力および文化的に異なる背景をもった人々を説得できる力

【博士後期課程】

本課程では、学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば、これらを身につけた者と認め、学位を授与します。

1. 論文の個人指導や国内外の研究者との交流を通して得た知識により、学会での発表ができる能力
2. 複数の外国語（英・独・仏・ギリシア・ラテン）を読む力と難解な古典文献の読解力
3. 書き言葉と話し言葉の両面にわたる適切な表現の能力および文化的に異なる背景をもった人々を説得できる力
4. 専門研究者として、大学等の高等教育機関において教育・指導にあたる能力

史学専攻

【博士前期課程】

本課程では、学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。所定の単位を修得し、研究指導を受けたうえで修士論文を提出し、その審査に合格すれば、これらを身につけた者と認め、学位を授与します。

1. 明確な問題意識に基づいてテーマ設定ができ、歴史研究の知識向上に寄与できる力
2. 先行研究を十分に検討・吟味し、出典の記載や引用を適切に行うことができる力
3. 史・資料に基づいた実証研究を行うことができる力
4. 論文作成において、的確な論文構成や整合性のある論理構成をとることができる力
5. 適切な言語表現ができ、論文全体を整った体裁にまとめることができる力

【博士後期課程】

本課程では、学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。所定の単位を修得し、かつ研究指導を受けたうえで、博士論文を提出し、その審査に合格すれば、これらを身につけた者と認め、学位を授与します。

1. 明確な問題意識に基づいてテーマ設定ができ、対象分野に関する新しい史実の発見、ないしは既知の史実に対する新しい解釈の提示ができる力
2. 先行研究を網羅的に検討・吟味し、出典の記載や引用を適切に行うことができる力
3. 史・資料に基づく実証研究を行うことができる力
4. 論文作成において、的確な論文構成や整合性のある論理構成をとることができる力
5. 適切な言語表現ができ、論文全体を整った体裁にまとめることができる力
6. 独創的かつ先端的な研究を行い、自立的研究者として研究を遂行できる力

国文学専攻

【博士前期課程】

本課程では、学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば、これらを身につけた者と認め、学位を授与します。

1. 国語学・古典文学・近代文学・漢文学を総合した「国文学」に対する高度な知識と研究能力と教育実践能力を有し、広く社会、世界に貢献することができる能力
2. 国語学・古典文学・近代文学・漢文学を総合した「国文学」に対する高度な知識と研究能力また教育実践能力に基づいた、教育者としての能力を養成することができる能力

【博士後期課程】

本課程では、学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば、これらを身につけた者と認め、学位を授与します。

1. 博士前期課程に修得した能力をさらに伸張り、国語学・古典文学・近代文学・漢文学を総合した「国文学」に対する高度な知識と研究能力また教育実践能力に基づいた、教育ができる能力
2. 博士前期課程に修得した能力をさらに伸張り、国語学・古典文学・近代文学・漢文学を総合した「国文学」に対する高度な知識と研究能力と教育実践能力を有し、広く社会、世界に貢献することができる能力
3. 博士前期課程に修得した能力をさらに伸張り、国語学・古典文学・近代文学・漢文学を総合した「国文学」に対する高度な知識と研究能力また教育実践能力に基づき、国文学の伝統を継承し、発展させる意欲を持ち、自立した研究活動を展開する、研究者として自立できる能力

英米文学専攻

【博士前期課程】

本課程では、学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。キリスト教的ヒューマニズムに基づき、英米文学を西欧文明という大きな全体の一環をなす試みとして理解し研究した学位論文を提出し、その審査に合格すれば、これらを身につけた者と認め学位を授与します。

1. 人文学的な教養を基礎とし、英米文学を歴史、宗教、思想、文化の諸領域との広範なつながりを射程に入れて理解することができる力
2. 研究や教育を遂行するための高度な英語能力と基礎からの研究能力
3. 英米の文学・思想・文化、英語学・英語教育について体系的かつ専門的な知識
4. 専門研究者として大学等の高等教育研究機関において教育や研究に当たるにふさわしい能力（Aコース）
5. 英語教育を行なう中高教員、その他の職業に従事するための能力（Bコース）

【博士後期課程】

本課程では、英米文学・英語学・文化研究の専門研究者として学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。学位論文を提出し、その審査に合格すれば、これらを身につけた者と認め、学位を授与します。

1. 人文学としての文学研究という視点から、専門的知識と共に広い分野における知識
2. 指導教授（メンター）による研究指導を受け、英米の文学・思想・文化、英語学・英語教育についての専門研究にたずさわることができる力
3. 独自の研究テーマを探求する技能
4. 大学、その他の研究機関における教育研究職に従事するための英語力と技能

ドイツ文学専攻

【博士前期課程】

本課程では、学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。ドイツ語圏文学・文化に関する専門的な知見と研究に必要な能力を修得の上、研究成果として学位論文を提出し、その審査に合格すれば、これらを身につけた者と認め、学位を授与します。

1. 専門的な研究を行うのに十分なドイツ語運用能力を修得し、原典や参考文献などのテキストを的確に理解し、ドイツ語で論理的な文章を書き、学問的な議論を行うことができる力
2. ドイツ語圏のさまざまな地域や時代の文化現象に対する知識と理解を深め、それを多様な視点から考察し、研究するに値するテーマを自分で設定することができる力
3. 適切な構成、緻密な分析、明快な論理展開、豊かな言語表現を備えた説得力のある学術論文を書くことができる力
4. ドイツ語圏の文化や社会に対する強い関心と深い知見に基づき、自国の文化や社会を世界との関連において俯瞰する視座を獲得し、他国との相互理解、文化交流に貢献できる力
5. 自国とは異なる文化や思想をその歴史的背景とともに理解することによって、世界の多様さと豊かさを認識し、他者に対する想像力と開かれた精神をもって、現代世界のさまざまな問題と向き合うことができる力

【博士後期課程】

本課程では、学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。ドイツ語圏文学・文化に関する高度の研究能力を修得し、その分野における研究者として活躍できるようになることを目指して学位論文を提出し、その審査に合格すれば、これらを身につけた者と認め、学位を授与します。

1. 専門的な研究に必要な高度のドイツ語運用能力を修得し、原典や参考文献などのテキストを的確に理解し、ドイツ語で論理的な文章を書き、学問的な議論を行うことができる力
2. ドイツ語圏文学・文化をヨーロッパの歴史的な文脈のなかで理解し、専門領域への洞察を深めると同時に、広い視野と複眼的な視点によって研究対象、研究方法を見定めることができる力
3. 自分の研究が、研究史においてどのように位置づけられるかを把握し、新たな知見をもたらすテーマを自分で設定することができる力
4. 適切な構成、緻密な分析、明快な論理展開、豊かな言語表現を備えた説得力のある学術論文を書くことができる力
5. ドイツ語圏の文化や社会に対する強い関心と専門的な知識に基づき、自国の文化や社会を世界との関連において俯瞰する視野を獲得し、諸外国との文化交流に貢献できる力

フランス文学専攻

【博士前期課程】

本課程では、学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。複眼的視点と問題意識をもって専門的な知識と深い教養を獲得した上で、研究の成果として優れた学位論文を提出し、その審査に合格すれば、これらを身につけた者と認め、学位を授与します。

1. フランスおよびフランス語圏の文学・芸術に関する高水準の専門的研究をすることができる能力
2. 専門的な研究を遂行しうる高度なフランス語運用能力
3. フランスおよびフランス語圏の文化・芸術に関する深い教養
4. さまざまな分野で職業人として活躍しうる能力・適性

【博士後期課程】

本課程では、学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。各人の専門において先端的な知識と高度な幅広い教養を獲得した上で、研究の成果として優れた学位論文を提出し、その審査に合格すれば、これらを身につけた者と認め、学位を授与します。

1. フランスおよびフランス語圏の文学・芸術に関して、国際的な水準で通用しうる高度な専門的研究をすることができる能力
2. 国際的な学的交流を可能にする高度なフランス語運用能力
3. フランスおよびフランス語圏の文化・芸術についての極めて深い見識
4. 専門的な知識やフランス語運用能力を教育の現場に生かすことのできる能力・適性

新聞学専攻

【博士前期課程】

本課程では、学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。幅広くマス・コミュニケーションとジャーナリズムを学習して所定の単位を修得し、学位論文を提出しその審査に合格すれば、これらを身につけた者と認め、学位を授与します。

1. カリキュラム・ポリシーが示す3分野の基礎知識を修得し、及びそれらを現前するメディアやジャーナリズムに関する諸問題の解決に応用できるだけの力
2. 幅広い関心領域を有し、情報化社会において今後新たに次々と生起する諸問題にその都度関心を払い、それらに対して独自の洗練された問題意識を持って臨むことができる力
3. 問題意識と方法論をもって、修士論文を完成させ、一定程度以上の評価を得ることができる力
4. 学外の情報にも広くアンテナを張って、情報収集を行い、自己の研究に有益な情報を修得すべく自ら努力できる力
5. 一定の様式を備えたレポートや口頭発表によって、自己の研究成果や思想を効果的に伝達する力

【博士後期課程】

本課程では、学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。所定の単位取得および学位論文を提出しその審査に合格すれば、これらを身につけた者と認め、学位を授与します。

1. 研究領域における学問的方法論および高度な専門知識を有し、ジャーナリズム論、メディア論、情報社会論などを中心に自己のテーマ領域を確立する力
2. 自己のテーマ領域に関して、過去の諸研究を広くレビューしており、他者に対して適宜要点を伝える能力を有する力
3. 国際的な視野に立った討論や分析を行う能力を持ち、国内外の学会等で最先端の研究成果を発表できる力
4. 独自の研究テーマを持ち、今後、研究者として自立して研究を遂行していくための計画を立てる力
5. 自己の研究テーマの研鑽を通じて培った高度な専門知識や倫理感を以て、国際社会に広く貢献できる力

文化交渉学専攻

【博士前期課程】

本課程では、学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば、これらを身につけた者と認め、学位を授与します。

1. 修士論文の作成にあたって、先行研究を十分にふまえ、既存の学問領域の枠にとらわれずに、適切なテーマを設定する力
2. テーマ設定に基づき、その解決のために必要な資料を読解し分析する能力
3. 緻密な分析、論旨の整備等がそなわった明快な論文を作成する力

【博士後期課程】

本課程では、学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば、これらを身につけた者と認め、学位を授与します。

1. 博士論文において、先行研究を十分にふまえ、緻密な分析にもとづき、独自に新しい学説を打ち出す力
2. 博士論文の核になる論文を、学会における発表や、雑誌論文への投稿によって、積極的に世に問う力
3. 修了後も、研究者としての自覚をもって、必要に応じて海外で活動するなど、研究を深化させる力

3. 各専攻のカリキュラム・ポリシー

哲学専攻

【博士前期課程】

本課程では、ディプロマ・ポリシーに沿って、哲学専修コースおよび現代思想コースの2つのコースを設置し、以下のようにカリキュラムを編成しています。

1. 哲学専修コースでは、古代から中世を経て近・現代へ至る西洋哲学の歴史をふまえて、科学、芸術、文化、宗教のあり方を根本から考えるとともに、哲学の文献研究の基礎を学ばせる。
2. 古代から近代まで哲学の古典的著作を原典（英・独・仏・ラテン・ギリシア）で精読する文献研究を開設する。
3. 現代思想コースでは、現代的な視座から哲学の根本問題を考察し、環境、生命、医療など現代社会が直面する多様な倫理的問題をとりあげる。文献研究以外に現代倫理学、美学・芸術学、東洋思想、日本思想、宗教思想などの科目を開設する。
4. 両コースに共通の必修科目「哲学総合演習 A, B」によって、各自が自分の研究を発表し、討論する機会を設ける。関心の枠を拡げ、質疑応答や意見交換によって哲学的思索を深め、共同研究のやり方を幅広く学ぶ。また授業の一部を英語で行うなど、国際的な研究水準を意識させる。
5. 入学後に各自の希望によって指導教員を決定し、個別の研究指導を通じて自分の勉学を深め、最終的には修士論文へと結実させる。
6. 後期課程進学を希望する者は、大学院生の編集する『上智哲学誌』への投稿、上智哲学会での研究発表、『哲学論集』への投稿、などを通じて、学会発表を経験させる。

【博士後期課程】

本課程では、ディプロマ・ポリシーに沿って、専門的哲学研究者（大学・短大・高専の教員）の養成を主眼とし、また国際的な舞台上で活躍できる人材を育成するよう以下のようにカリキュラムを編成しています。

1. 哲学の歴史研究においては文献講読を中心とし、古代から現代までを扱う「哲学特殊研究」を複数開設する。
2. 文献研究以外に、現代倫理学、美学・芸術学、東洋思想、日本思想、宗教思想などを開設する。
3. 各自が自分の研究を発表し討論する必修科目「哲学特殊研究 A, B」を開設する。
4. 後期課程進学後に各自の希望によって指導教員を決定し、個別の研究指導を通じて自分の勉学を深め、口頭発表や論文投稿など学会活動を通じて研究成果を発表しつつ、最終的には博士論文へと結実させる。
5. 大学院生の編集する『上智哲学誌』への投稿、上智哲学会での研究発表、『哲学論集』への投稿などを通じて、

学会発表を経験させる。

6. 本学の恵まれた条件を活かして海外留学を推奨する。また授業の一部を英語で行うなど、国際的な研究水準を意識させる。

史学専攻

【博士前期課程】

本課程では、ディプロマ・ポリシーに沿って、歴史学の幅広くかつ深い知識を極め、鋭い分析・批判能力を培うよう、以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. 地域的（日本史・東洋史・西洋史）、時代的（古代史・中世史・近世史・近現代史）に細分化された領域に配置された教員が、テーマに最も近い学生を「研究指導」する。
2. 学生が、上記の特定領域の史料読解力を磨き、研究史を学ぶ「演習」を開設する。
3. 地域・時代を超えた学生が集まり、歴史学の比較研究や幅広い論を行い、自分の専門領域をより客観的に見る姿勢を養う「特研」を開設する。
4. 学生が、修士論文完成まで数度経過報告を行い、論文のまとめ方を修得する「修士論文演習」を開設する。
5. 学生の専門領域を深めるために、指導教員の承認を得たうえで、他専攻の科目や、他研究科の科目、ならびに協定を結んだ他大学大学院の科目を、一定の条件の下で履修させることがある。

【博士後期課程】

本課程では、ディプロマ・ポリシーに沿って、以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. 自分のテーマに最も近い教員を指導教員として学生が選ぶ「研究指導」を開設する。
2. 自分のテーマでの史料講読や研究史を教員の指導下で学びつつ、論文執筆の途中経過を報告して論文作成を進める「博士論文演習」を開設する。
3. 本専攻課程の授業以外に、学生は、指導教員の承認を得たうえで、海外留学や学会・研究会報告を行い、研究者としての研鑽を積む。

国文学専攻

【博士前期課程】

本課程では、ディプロマ・ポリシーに沿って、古典学を研究・教育の根幹に置いた「国文学」を総合的に追究するために、本課程において開設する特殊講義・演習の科目、及び世界から見た日本文学の科目を学生が履修するよう、以下のようにカリキュラムを編成しています。

1. 古典学を研究・教育の根幹に置いた国語学を追究するために、国語学特殊講義・演習の科目を開設する。
2. 古典学を研究・教育の根幹に置いた古典文学を追究するために、古典文学特殊講義・演習の科目を開設する。
3. 古典学を研究・教育の根幹に置いた近代文学を追究するために、近代文学特殊講義・演習の科目を開設する。
4. 古典学を研究・教育の根幹に置いた漢文学を追究するために、漢文学特殊講義・演習の科目を開設する。
5. 「国文学」の総合的な知見に基づいた修士論文を執筆するために、研究指導をする。

【博士後期課程】

本課程では、ディプロマ・ポリシーに沿って、古典学を研究・教育の根幹に置いた「国文学」を総合的に追究するために、本課程において開設する特殊研究の科目、及び世界から見た日本文学の科目を履修するよう、以下のようにカリキュラムを編成しています。

1. 古典学を研究・教育の根幹に置いた国語学を追究するために、国語学特殊研究の科目を開設する。
2. 古典学を研究・教育の根幹に置いた古典文学を追究するために、古典文学特殊研究の科目を開設する。
3. 古典学を研究・教育の根幹に置いた近代文学を追究するために、近代文学特殊研究の科目を開設する。
4. 古典学を研究・教育の根幹に置いた漢文学を追究するために、漢文学特殊研究の科目を開設する。
5. 「国文学」の総合的な知見に基づいた学位論文を執筆するために、研究指導をする。

英米文学専攻

【博士前期課程】

本課程では、ディプロマ・ポリシーに沿って、高度な英語能力と英米文学・思想・文化、英語学・英語教育についての知識が獲得できるよう、以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. 特別講義・演習をバランス良く受講し、体系的かつ専門的な知識を身につけるように指導する。1年次はアドヴァイザーによる研究指導を受け、2年次は専門分野の指導教員（メンター）のもとで研究を進める。
2. 修士1年で「文学研究法 I」（日本語）と「文学研究法 II」（英語）を必修として開設し、リサーチ、研究発表、論文執筆を英語と日本語で行えるようになることを目指して基礎力を養う。
3. 大学教員、中高教員、あるいは英語英文学における知識や技能を生かした進路に進むための訓練をする。
4. Aコース（後期課程進学コース）の学生は、2年次にメンターによる研究指導を受けながら修士論文（英語）を作成し、後期課程に進み専門研究者となることを目指す。
5. Bコース（前期課程完結コース）の学生は、2年次にメンターによる研究指導を受けながら修士論文（英語・日本語）あるいはリサーチ・ペーパーを作成し、研究の基礎を学ぶ。

【博士後期課程】

本課程では、ディプロマ・ポリシーに沿って、専門研究者となるための研究方法を修得し、専門テーマに関する研究を行うことができるよう、以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. リーディング・コースを毎年履修し、専門的知識を獲得すると共に、幅広い視野を身につけるように指導する。
2. リサーチを進め、学内外で研究発表を行い、研究論文を公表するように指導する。
3. 博士予備論文作成を指導する。
4. 英語運用能力の向上を図り、英語圏の大学や研究機関に長期あるいは短期留学できるよう指導する。
5. 博士論文のテーマを定め、博士予備論文を執筆し、博士号取得に向けた研究を進めるように指導する。

ドイツ文学専攻

【博士前期課程】

本課程では、ディプロマ・ポリシーに沿って、ドイツ語圏の文学・文化をヨーロッパの歴史的文脈のなかで理解し、自分で研究テーマを見つけ、その成果を学術論文にまとめることができるよう、以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. すべての授業において、専門的な研究を行うのに必要なドイツ語運用能力を身につけることを目指し、ドイツ語で行う授業を複数用意する。
2. ドイツ語圏の文学・文化をヨーロッパの歴史的文脈のなかで理解し、その多様性と豊かさに触れるために、さまざまな時代や地域に関する授業を開設する。
3. 各授業や文学研究の方法論に関する授業を通して、問題意識を深め、自分でテーマを設定できる力を養う。またレポート作成を通して、分析能力、論理的思考力、言語表現力を身につけさせる。
4. 授業での討論、修論中間発表会などを通して、自分の見解を論理的に説得力をもって伝える力を培うと同時に、他者の見解を理解し、そこから新たな視点を獲得する能力を養う。
5. 教員の個別指導の下、研究テーマを決定し、日本語（要ドイツ語レジュメ）ないしはドイツ語で修士論文を書くことを課す。

【博士後期課程】

本課程では、ディプロマ・ポリシーに沿って、ドイツ語圏の文学・文化についての専門的な理解と考察を深め、専門領域において新たな知見をもたらす博士論文を提出できるよう、以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. すべての授業において、専門的な研究を行うのに必要な高度なドイツ語運用能力を向上させることを目指しドイツ語で行う授業を複数用意する。

2. ドイツ語圏文学・文化をヨーロッパの歴史的文脈のなかで理解し、多角的な視点と問題意識をもてるよう、さまざまな時代や地域に関する授業を開設する。
3. 各授業や文学研究の方法論に関する授業を通して問題意識を深め、自分でテーマを設定できる力を養う。またレポート作成を通して、分析能力、論理的思考力、言語表現力を身につけさせる。
4. 授業での討論、論文発表会などを通して、自分の見解を論理的に説得力をもって伝える力を培うと同時に、学問的な議論を行う能力を養成する。
5. 指導教員の個別指導の下、まずは院生の雑誌に学術論文を執筆し、論文の書き方を具体的に徹底して身につけ、それをさらに発展させて、博士論文を執筆する。

フランス文学専攻

【博士前期課程】

本課程では、ディプロマ・ポリシーに沿って、フランスおよびフランス語圏の文学・芸術の研究に関して、方法論を深化させ、多様な興味・関心を抱くことのできるよう、以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. フランスおよびフランス語圏の文学・芸術に関して、研究方法の修得・深化に役立つ専門的教育を行う。
2. フランスおよびフランス語圏の文学・芸術に関して、多様な興味・関心を喚起しうる専門的教育を行う。
3. 高度なフランス語運用能力を養成するための実践的な語学的訓練を行う。
4. 修士論文作成のために、テーマの掘り下げ、プランの策定、論述の整備など、きめ細かい指導をする。

【博士後期課程】

本課程では、ディプロマ・ポリシーに沿って、フランスおよびフランス語圏の文学・芸術の研究に関して、国際的なレベルでのテーマと方法論の基準と選択について意識を高めるよう、以下のようにカリキュラムを編成しています。

1. フランスおよびフランス語圏の文学・芸術に関する「特殊研究」を複数開設する。
2. 博士論文作成のために、テーマの掘り下げ、プランの策定、論述の整備など、きめ細かい指導を行う。
3. 給費留学や研究集会での発表など、研究者としての国際的な活動に道を開くための手助けをする。

新聞学専攻

【博士前期課程】

本課程では、効率的な学習によって、ディプロマ・ポリシーに示す目標を達成できるよう、以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. マス・コミュニケーション理論、ジャーナリズム論、メディア分析の3分野を基本に据えたカリキュラムを構成し、その上で演習を配置し院生が主体的に学問に取り組める体制とする。
2. メディア・ジャーナリズムをとりまく今日の諸問題を扱う科目をその都度設置して、院生の関心に応じて時代の潮流に沿った柔軟な研究が可能となる体制とする。
3. 修士論文を完成させるため、指導教員の指導のもと、各自の研究を推進させる体制を整えている。中間発表会を設置することで、修士論文の進捗状況をすべての教員が把握できる仕組みとする。
4. 大学院の社会学分野単位相互互換制度により、他大学大学院の開設科目の履修を認める。

【博士後期課程】

本課程では、ディプロマ・ポリシーに沿って、研究者として自己のテーマ領域を打ち立てるよう、以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. 在学期間内に博士論文を完成することを目指し、指導教員のもと入学後3か年以内に12単位の演習および在学中研究指導を受けさせる。
2. 学位申請論文については、入学後1年を経て論文提出資格を得る試験に合格した者に対して執筆を許可する。

3. 論文執筆前に、自己の研究テーマに関して、日本マス・コミュニケーション学会他、国内外の関連学会において積極的に発表を行うことを推奨し、指導をする。
4. 論文執筆の途中段階において随時、指導教員および当該テーマを専門とする教員による助言と評価を仰ぐことができる体制とする。
5. 論文審査は学外の審査委員（副査）を含む審査委員会によって行われ、公開試験後の審査委員会において合格判定を得られた場合に、学位を授与する。

文化交渉学専攻

【博士前期課程】

本課程では、ディプロマ・ポリシーに沿って、多元文化相互の接触や交渉に、幅広い観点から目を向けるよう、以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. 異文化をどのように捉えるのかをテーマに、さまざまな文化の特質、文化形成の歴史的経緯などを研究する。
2. 文化交渉の手段の一つであり、新しい文化創造の契機にもなる翻訳について、文学と芸術の関わりを含めて研究する。
3. 諸文化が出会うときに生じる軋轢や、受けとめる様相などを見つめ、新しい文化創造に向かう過程に着目して研究する。
4. 研究、論文作成の基本に習熟するために、「論文作成法」を履修し、修士論文作成にそなえさせる。

【博士後期課程】

本課程では、ディプロマ・ポリシーに沿って、本専攻の特色を生かした博士論文作成に向けて、資料の読解、テーマの深化、論文作成の要諦などを教授するよう、以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. 前期課程で積み上げた基礎知識や修士論文の成果をふまえて、さらに高度な研究をさせる。
2. 開講科目の履修と個別指導を通じ、研究者としての自覚をもたせ、文化創造の基盤となる資料の取り扱いに、さらにみがきをかける。

哲学専攻 博士前期課程

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

【17年次生以降 哲学専修コース (Aコース)】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考 (上限, その他)
総単位数	30		
授業科目			
▶必修科目	4		
└哲学総合演習A	2		
└哲学総合演習B	2		
▶選択必修科目	10		文献研究科目群のなかから10単位を選ぶ
▶選択科目	16		
└自専攻科目			
└自研究科他専攻科目			19年次生以降は4単位まで修了に必要な単位として認められる。
└委託聴講科目			8単位まで修了に必要な単位として認められる
研究指導 (必修)		4	単位なし, 在学中毎学期登録される 4科目以上合格すること
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および口述試験に合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること)

【17年次生以降 現代思想コース (Bコース)】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考 (上限, その他)
総単位数	30		
授業科目			
▶必修科目	4		
└哲学総合演習A	2		
└哲学総合演習B	2		
▶選択必修科目	10		文献研究科目群のなかから4単位 研究科目群のなかから6単位を選ぶ
▶選択科目	16		
└自専攻科目			
└自研究科他専攻科目			19年次生以降は4単位まで修了に必要な単位として認められる。
└委託聴講科目			8単位まで修了に必要な単位として認められる
研究指導 (必修)		4	単位なし, 在学中毎学期登録される 4科目以上合格すること
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および口述試験に合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること)

【16年次生 哲学専修コース（Aコース）】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限，その他）
総単位数	30		
授業科目			
・必修科目	4		
└哲学総合演習A	2		
└哲学総合演習B	2		
・選択必修科目	10		文献研究科目群のなかから10単位を選ぶ
・選択科目	16		
└自専攻科目			
└委託聴講科目			8単位まで修了に必要な単位として認められる
研究指導（必修）			単位なし，在学中毎学期登録される
修士論文			必要な研究指導を受けた上，修士論文の審査および口述試験に合格すること （修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること）

【16年次生 現代思想コース（Bコース）】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限，その他）
総単位数	30		
授業科目			
・必修科目	4		
└哲学総合演習A	2		
└哲学総合演習B	2		
・選択必修科目	10		文献研究科目群のなかから4単位 研究科目群のなかから6単位を選ぶ
・選択科目	16		
└自専攻科目			
└委託聴講科目			8単位まで修了に必要な単位として認められる
研究指導（必修）			単位なし，在学中毎学期登録される
修士論文			必要な研究指導を受けた上，修士論文の審査および口述試験に合格すること （修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること）

【研究指導スケジュール】

指導教員の決定：4月末まで（M1・M2）新入生ガイダンス後なるべく早期が望ましい。

年次研究計画書の提出：4月末まで（M1・M2）毎年度提出

研究報告書の提出：2月末まで（M1）

修士論文計画書の提出：11月中旬（M1）指導教員別にガイダンスを実施する。

修士論文中間発表会：10月下旬～12月上旬（M2）「哲学総合演習」で順次発表する。

修士論文の履修登録：9月下旬～10月上旬（M2）秋学期履修登録期間中

修士論文の提出：1月中旬（M2）

論文審査・口述試験：2月中旬（M2）

【修士論文審査基準】

- 1) 問題設定：哲学の体系的・歴史的研究のいずれかの点で、妥当な問題を設定していること。
- 2) 研究方法：文献研究の場合、原典の参照や二次文献の検討が適切になされていること。
- 3) 論文構成：論文全体の構成、論旨の展開が明確で、説得力がある文章で書かれていること。
- 4) 研究の位置づけ：研究史に鑑み、自分の研究がどういった位置にあるか明確であること。
- 5) 独創性：哲学研究への何らかの積極的な貢献を果たす意義を持っていること。
- 6) 論文の形式：論文としての十分な紙幅、註や参考文献の適切な指示がなされていること。
- 7) 研究の倫理：資料の改竄、剽窃、盗作などが一切ないこと。
- 8) 指導：指導教員との十分な個人指導を経た成果であること。

2. 授業科目の編成・単位

哲学専修コース（Aコース）・現代思想コース（Bコース）

科目名	単位数				
	必修	Aコース		Bコース	
		選必	選択	選必	選択
<文献研究科目群>					
古代哲学文献研究Ⅰ		2		2	
古代哲学文献研究Ⅱ		2		2	
中世哲学文献研究Ⅰ		2		2	
中世哲学文献研究Ⅱ		2		2	
中世哲学文献研究Ⅲ		2		2	
近代哲学文献研究Ⅰ		2		2	
近代哲学文献研究Ⅱ		2		2	
近代哲学文献研究Ⅲ		2		2	
近代哲学文献研究Ⅳ		2		2	
近代哲学文献研究Ⅴ		2		2	

科目名	単位数				
	必修	Aコース		Bコース	
		選必	選択	選必	選択
<研究科目群>					
現代哲学研究Ⅰ			2	2	
現代哲学研究Ⅱ			2	2	
現代倫理学研究Ⅰ			2	2	
現代倫理学研究Ⅱ			2	2	
美学芸術学研究Ⅰ			2	2	
美学芸術学研究Ⅱ			2	2	
日本思想研究			2	2	
東洋思想研究			2	2	
宗教思想研究			2		2
哲学総合演習A	2				
哲学総合演習B	2				

哲学専修コース（Aコース）の選択必修は
 <文献研究科目群>より10単位
 現代思想コース（Bコース）の選択必修は
 <文献研究科目群>より4単位
 <研究科目群>より6単位
 それ以上の単位は選択科目として扱う

3. 履修上の注意

- 1) 前期課程において必要な履修単位は30単位とする。
- 2) 「研究指導(必修)」を、毎学期受けること。なお、2017年次生以降の学生については、必要な合格科目数も定められている。1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件を参照すること。
- 3) 前期課程の学生は入学後一年以内に、修士論文のテーマと希望する指導教員名を専攻主任に申告しなければならない。専攻会議はそれを考慮して指導教員を指定する。
- 4) 前期課程において学生の研究上必要と認められるときは、協定他大学および本学の他の研究科・専攻の開講科目を履修させ、これを委員会が計8単位まで必要単位として認定する。
- 5) 哲学総合演習AB(合計4単位)は前期課程1年次生用の必修である。それ以外に2年次以降、継続して履修を希望する場合は、選択科目として扱う。
- 6) 毎年度初めの在校生・新入生ガイダンスの席で、指導教員の選定、研究計画、修士論文作成などについて詳細な説明を行う。

4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	外国語	備考
MPPH1331	春	哲学総合演習A	PHL517-21m00	2	荻野弘之	○	
MPPH7010	春	古代哲学文献研究 I	PHL505-21j00	2	荻野弘之		(旧) 古代哲学文献研究 I A
MPPH7210	春	中世哲学文献研究 I	PHL507-21j00	2	佐藤直子		(旧) 中世哲学文献研究 I A
MPPH7230	春	中世哲学文献研究 III	PHL509-21j00	2	長町裕司		
MPPH7310	春	近代哲学文献研究 I	PHL510-21j00	2	鈴木伸国		(旧) 近代哲学文献研究 I A
MPPH7330	春	近代哲学文献研究 III	PHL512-21j00	2	杉尾一		(旧) 近代哲学文献研究 II A
MPPH7410	春	現代哲学研究 I	PHL515-21j00	2	長町裕司		(旧) 現代哲学研究 I A
MPPH1332	秋	哲学総合演習B	PHL518-21m00	2	鈴木伸国	○	
MPPH7020	秋	古代哲学文献研究 II	PHL506-21j00	2	荻野弘之		
MPPH7220	秋	中世哲学文献研究 II	PHL508-21j00	2	佐藤直子		(旧) 中世哲学文献研究 I B
MPPH7320	秋	近代哲学文献研究 II	PHL511-21j00	2	鈴木伸国		(旧) 近代哲学文献研究 I B
MPPH7340	秋	近代哲学文献研究 IV	PHL513-21j00	2	長町裕司		(旧) 近代哲学文献研究 III
MPPH7420	秋	現代哲学研究 II	PHL516-21j00	2	長町裕司		(旧) 現代哲学研究 I B
MPPH7530	休講	美学芸術学研究 I	PHL520-21j00	2			隔年開講
MPPH7570	秋	宗教思想研究	PHL502-21j00	2	(他)島 菌 進		隔年開講
MPPH9340	秋	修士論文	PHL699-21j00	0	哲学専攻各指導教員		
MPPH7350	秋	近代哲学文献研究 V	PHL514-21j00	2	寺田俊郎		(旧) 近代哲学文献研究 IV B
MPPH7510	春	現代倫理学研究 I	PHL503-21j00	2	寺田俊郎		(旧) 現代倫理学研究 II A
MPPH7520	秋	現代倫理学研究 II	PHL504-21j00	2	寺田俊郎		(旧) 現代倫理学研究 II B
MPPH7540	春	美学芸術学研究 II	PHL521-21j00	2	桑原俊介		隔年開講
MPPH7550	休講	日本思想研究	PHL519-21j00	2			隔年開講
MPPH7560	春	東洋思想研究	PHL501-21j00	2	*中島隆博		隔年開講

5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
PHL599-21j00	荻野弘之	
	長町裕司	
	佐藤直子	
	寺田俊郎	
	鈴木伸国	

哲学専攻 博士後期課程

1. 修了に要する科目，単位数，科目数などの要件

【17年次生以降】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限，その他）
総単位数	20		
授業科目			
・必修科目	4		
└哲学特殊研究A	2		
└哲学特殊研究B	2		
・選択科目	16		
研究指導（必修）		6	単位なし，在学中毎学期登録される 6科目以上合格すること
博士論文			必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査および試験に 合格すること

【16年次生】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限，その他）
総単位数	20		
授業科目			
・必修科目	4		
└哲学特殊研究A	2		
└哲学特殊研究B	2		
・選択科目	16		
研究指導（必修）			単位なし，在学中毎学期登録される
博士論文			必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査および試験に 合格すること

【研究指導スケジュール】

指導教員の決定：4月末まで（D1）新入生ガイダンス後なるべく早期が望ましい。

年次研究計画書の提出：4月末まで（D1-3）毎年度提出

研究報告書の提出：2月末まで（D1-2）

博士論文中間発表会：10月下旬～12月上旬（D1-3）「哲学特殊研究」で順次発表する。

博士論文計画書の提出：指導教員，専攻主任と相談する。専攻会議での承認が必要。

博士論文の提出：（随時）提出要領は『履修要綱』参照

博士論文審査・口述試験：（随時）

【博士論文審査基準】

- 1) 問題設定：哲学の体系的・歴史的研究のいずれかの点で，妥当な問題を設定していること。
- 2) 研究方法：文献研究の場合，原典の参照や二次文献の検討が適切になされていること。
- 3) 論文構成：論文全体の構成，論旨の展開が明確で，説得力がある文章で書かれていること。
- 4) 研究の位置づけ：研究史に鑑み，自分の研究がどういった位置にあるか明確であること。
- 5) 独創性：従来の研究にない独自の貢献を付け加える意義を持っていること。
- 6) 論文の形式：論文としての十分な紙幅，註や参考文献の適切な指示がなされていること。
- 7) 研究の倫理：資料の改竄，剽窃，盗作などが一切ないこと。
- 8) 指導：指導教員との十分な個人指導を経た成果であること。
- 9) 学会発表：論文を書くにあたって，それを構成する部分が，複数の専門学会での口頭発表，投稿論文などによる研究成果をふまえていること。

2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
哲学特殊研究・古代Ⅰ			2
哲学特殊研究・古代Ⅱ			2
哲学特殊研究・中世Ⅰ			2
哲学特殊研究・中世Ⅱ			2
哲学特殊研究・中世Ⅲ			2
哲学特殊研究・近代Ⅰ			2
哲学特殊研究・近代Ⅱ			2
哲学特殊研究・近代Ⅲ			2
哲学特殊研究・近代Ⅳ			2
哲学特殊研究・近代Ⅴ			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
哲学特殊研究・現代Ⅰ			2
哲学特殊研究・現代Ⅱ			2
哲学特殊研究・現代倫理学Ⅰ			2
哲学特殊研究・現代倫理学Ⅱ			2
哲学特殊研究・美学芸術学Ⅰ			2
哲学特殊研究・美学芸術学Ⅱ			2
哲学特殊研究・日本思想			2
哲学特殊研究・東洋思想			2
哲学特殊研究A	2		
哲学特殊研究B	2		

3. 履修上の注意

- 1) 後期課程において必要な履修単位数は20単位とする。
- 2) 「研究指導」を在学中毎学期受けること。なお、2017年次生以降の学生については、必要な合格科目数も定められている。1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件を参照すること。
- 3) 後期課程の学生は入学当初に、研究テーマと希望する指導教員名を専攻主任に申告しなければならない。専攻会議はそれを考慮して指導教員を指定する。
- 4) 後期課程の学生は毎週指導教員の授業に出席し、その指示に従って研究し、研究状況を指導教員に報告し、その成果を毎年発表しなくてはならない。
- 5) 後期課程から入学した学生で、前期課程必修科目の「哲学総合演習」を未履修者は、指導教員と専攻主任の許可を受けた上で、この科目4単位を後期課程の選択科目として履修し、必要単位数に充当することができる。
- 6) 後期課程において学生は研究の必要上、協定他大学および本学の他の研究科・専攻の授業を履修することはできるが、それによって必要単位数に充当することはできない。
- 7) 哲学特殊研究A・B（合計4単位）は後期課程1年次生用の必修である。それ以外に2年次以降、継続して履修を希望する場合は、この両科目とも選択科目として扱う。
- 8) 毎年度初めの在校生・新入生ガイダンスの席で、指導教員の選定、研究計画、修士・博士論文作成などについて詳細な説明を行う。

4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	外国語	備考
DPPH3021	春	哲学特殊研究A	PHL819-21m00	2	寺田俊郎	○	
DPPH3111	春	哲学特殊研究・古代I	PHL801-21j00	2	荻野弘之		(旧) 古代哲学文献研究I A
DPPH3221	春	哲学特殊研究・中世I	PHL803-21j00	2	佐藤直子		(旧) 中世哲学文献研究I A
DPPH3223	春	哲学特殊研究・中世III	PHL805-21j00	2	長町裕司		(旧) 中世哲学文献研究III
DPPH3231	春	哲学特殊研究・近代I	PHL806-21j00	2	鈴木伸国		(旧) 近代哲学文献研究I A
DPPH3233	春	哲学特殊研究・近代III	PHL808-21j00	2	杉尾一		(旧) 近代哲学文献研究II A
DPPH3241	春	哲学特殊研究・現代I	PHL811-21j00	2	長町裕司		(旧) 現代哲学文献研究II A
DPPH3022	秋	哲学特殊研究B	PHL820-21m00	2	佐藤直子	○	
DPPH3112	秋	哲学特殊研究・古代II	PHL802-21j00	2	荻野弘之		(旧) 古代哲学文献研究II
DPPH3222	秋	哲学特殊研究・中世II	PHL804-21j00	2	佐藤直子		(旧) 中世哲学文献研究I B
DPPH3232	秋	哲学特殊研究・近代II	PHL807-21j00	2	鈴木伸国		(旧) 近代哲学文献研究I B
DPPH3234	秋	哲学特殊研究・近代IV	PHL809-21j00	2	長町裕司		(旧) 近代哲学文献研究III
DPPH3242	秋	哲学特殊研究・現代II	PHL812-21j00	2	長町裕司		(旧) 現代哲学文献研究II B
DPPH3253	休講	哲学特殊研究・美学芸術学I	PHL815-21j00	2			隔年開講 (旧) 美学芸術学研究I
DPPH3235	秋	哲学特殊研究・近代V	PHL810-21j00	2	寺田俊郎		(旧) 近代哲学文献研究IV B
DPPH3251	春	哲学特殊研究・現代倫理学I	PHL813-21j00	2	寺田俊郎		(旧) 現代倫理学研究II A
DPPH3252	秋	哲学特殊研究・現代倫理学II	PHL814-21j00	2	寺田俊郎		(旧) 現代倫理学研究II B
DPPH3254	春	哲学特殊研究・美学芸術学II	PHL816-21j00	2	桑原俊介		隔年開講 (旧) 美学芸術学研究II
DPPH3255	休講	哲学特殊研究・日本思想	PHL817-21j00	2			隔年開講 (旧) 日本思想研究
DPPH3256	春	哲学特殊研究・東洋思想	PHL818-21j00	2	*中島隆博		隔年開講 (旧) 東洋思想研究

5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
PHL899-21j00	荻野弘之	
	長町裕司	
	佐藤直子	
	寺田俊郎	
	鈴木伸国	
	大橋容一郎	

史学専攻 博士前期課程

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

【17年次生以降】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	30		
授業科目			
▶選択必修科目	4		4単位を超えて修得した場合, その超過分は選択科目の単位数に算入される
▶選択科目	26		
└自専攻科目			
└自研究科他専攻科目			
└委託聴講科目			10単位まで修了に必要な単位として認められる ※ただし, 国連大学委託聴講科目は認められない
研究指導（必修）		4	単位なし, 在学中毎学期登録される 4科目以上合格すること
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること)

【11～16年次生】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	30		
授業科目			
▶選択必修科目	4		4単位を超えて修得した場合, その超過分は選択科目の単位数に算入される
▶選択科目	26		
└自専攻科目			
└自研究科他専攻科目			
└委託聴講科目			10単位まで修了に必要な単位として認められる ※ただし, 国連大学委託聴講科目は認められない
研究指導（必修）			単位なし, 在学中毎学期登録される
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること)

【研究指導スケジュール】

事項	期日	対象	備考
研究計画書の提出	4月末まで	M1以上	
修士論文演習の履修	春学期・秋学期	M1以上	履修登録期間中に各自登録, M1の春学期は卒論発表, 秋学期は修論構想発表, M2以降は修論中間報告を繰り返す
研究報告書の提出	2月末まで	M1以上	
修士論文提出予定書の提出	6月末まで	M2以上	修士論文提出予定者が対象

事項	期日	対象	備考
修士論文の履修登録	9月下旬～ 10月上旬	M2以上	修士論文を提出する学期の履修登録期間中に、各自で履修登録を行うこと
修士論文の中間報告	11月下旬	M2以上	修士論文提出予定者が対象、上智大学史学会大会、もしくは10月の月例会にて報告のこと
修士論文題目届の提出	11月末まで	M2以上	修士論文提出予定者が対象
修士論文の提出	1月中旬	M2以上	修士論文提出予定者が対象
修士論文の審査・口述試験	2月中旬	M2以上	修士論文提出者が対象。公開で実施し、下記の基準に基づき審査する

※ 各提出物の様式や提出期限の詳細は、毎年4月実施の専攻別院生ガイダンスにて説明する。

※ 9月修了希望者は、修士論文提出から口述試験に至るスケジュールを別途指定するため、履修登録前に必ず指導教員もしくは専攻主任に連絡を取ること。

【修士論文審査基準】

- 1) 問題意識が明確で、テーマ設定が適切であり、歴史研究の知識の向上に寄与していること。
- 2) 先行研究が十分に検討・吟味されており、出典記載や引用が適切になされていること。
- 3) 史・資料に基づいた実証研究であること。
- 4) 論文構成が的確で、論理展開に整合性と一貫性があること。
- 5) 論文の言語表現が的確であり、目次・註・付録（図表・史料・参考文献表など）に関する体裁が整っていること。

2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選択	選択
<日本史学>			
古代演習Ⅰ			2
古代演習Ⅱ			2
古代特研			2
中世演習Ⅰ			2
中世演習Ⅱ			2
中世特研			2
近世演習Ⅰ			2
近世演習Ⅱ			2
近世特研			2
近・現代演習Ⅰ			2
近・現代演習Ⅱ			2
近・現代特研			2
史料学研究			4
<東洋史学>			
古代・中世演習Ⅰ			2
古代・中世演習Ⅱ			2
古代・中世特研			2
近世演習Ⅰ ※注1			2
近世演習Ⅱ ※注1			2
近世特研 ※注2			2
近・現代演習Ⅰ			2
近・現代演習Ⅱ			2
近・現代特研			2
<西洋史学>			
古代演習Ⅰ			2
古代演習Ⅱ			2
古代特研			2
中世演習Ⅰ			2
中世演習Ⅱ			2

科目名	単位数		
	必修	選択	選択
中世特研			2
近世演習Ⅰ			2
近世演習Ⅱ			2
近世特研			2
近・現代演習Ⅰ			2
近・現代演習Ⅱ			2
近・現代特研			2
(他) 聖書神学研究ゼミナールⅠ (古代イスラエル史) ※注3			2
(他) ヨーロッパ政治文化研究1 ※注4			2
(他) ヨーロッパ政治文化研究2 ※注4			2
(他) ヨーロッパ政治社会研究1 ※注4			2
(他) ヨーロッパ政治社会研究2 ※注4			2
(他) 西洋法制史研究Ⅰ (ヨーロッパ近世・近代史) ※注5			2
(他) 西洋法制史研究Ⅱ (ヨーロッパ現代史) ※注5			2
<修士論文演習>			
修士論文演習Ⅰ a		2	
修士論文演習Ⅰ b		2	
修士論文演習Ⅱ a		2	
修士論文演習Ⅱ b		2	

※注1 2019年度まで開講

※注2 2018年度まで開講

※注3 神学研究科神学専攻開講科目 (詳細はp.14参照)

※注4 グローバル・スタディーズ研究科地域研究専攻開講科目 (詳細はp.249参照)

※注5 法学研究科法律学専攻開講科目 (詳細はp.169参照)

3. 履修上の注意

- 「史学専攻履修上の注意」(4月専攻別院生ガイダンスで配付)に従って履修すること。
- 前期課程生は、専任教員1名を指導教員として定め、所定の科目を履修するとともに、指導教員と密接に連絡し、学位論文や研究報告の作成を行うこと。
- 「研究計画書」、「研究報告書」、「修士論文提出予定書」、「修士論文題目届」の提出については、【研究指導スケジュール】を参照すること。
- 前期課程生は、「修士論文演習」4単位を選択必修とする。この科目は、修士論文を作成・提出するまで、引き続き受講することが望ましい(4単位を超える単位は選択科目の単位数に算入される)。
- 「研究指導」を在学中に毎学期受け、4科目以上合格すること。

4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	外国語	備考
MHHT6240	春	修士論文演習Ⅰa	HST501-23j00	2	中澤克昭 大川裕子 中川亜希 藤崎衛		
MHHT6260	春	修士論文演習Ⅱa	HST502-23j00	2	川村信三 長田彰文 坂野正則		
MHHT7060	春	<日本史学>近世特研	HST512-23m00	2	川村信三		
MHHT7080	春	<日本史学>近・現代特研	HST513-23m00	2	長田彰文		
MHHT7120	春	<東洋史学>古代・中世特研	HST540-23m00	2	大川裕子		
MHHT7190	春	<西洋史学>中世特研	HST517-23m00	2	藤崎衛		
MHHT7210	春	<西洋史学>近世特研	HST518-23m00	2	坂野正則		
MHHT7240	休講	<日本史学>古代演習Ⅰ	HST520-23j00	2			
MHHT7260	春	<日本史学>中世演習Ⅰ	HST521-23j00	2	中澤克昭		
MHHT7280	春	<日本史学>近世演習Ⅰ	HST522-23m00	2	川村信三		
MHHT7300	春	<日本史学>近・現代演習Ⅰ	HST523-23m00	2	長田彰文		
MHHT7320	春	<東洋史学>古代・中世演習Ⅰ	HST541-23m00	2	大川裕子		
MHHT7360	春	<東洋史学>近・現代演習Ⅰ	HST525-23m00	2	笹川裕史		
MHHT7380	春	<西洋史学>古代演習Ⅰ	HST526-23m00	2	中川亜希		
MHHT7400	春	<西洋史学>中世演習Ⅰ	HST527-23m00	2	藤崎衛		
MHHT7420	春	<西洋史学>近世演習Ⅰ	HST528-23m00	2	坂野正則		
MHHT7440	春	<西洋史学>近・現代演習Ⅰ	HST529-23m00	2	井上茂子		
MFAS7000	春	(他)ヨーロッパ政治文化研究1	AEU503-67j00	2	(他)高橋暁生		(他)グローバル・スタディーズ研究科地域研究専攻 ※注2
MFAS7020	春	(他)ヨーロッパ政治社会研究1	AEU501-67j00	2	(他)内村俊太		(他)グローバル・スタディーズ研究科地域研究専攻 ※注2
MLLW7030	春	(他)西洋法制史研究Ⅰ(ヨーロッパ近世・近代史)	JUR503-41m00	2	(他)松本尚子		(他)法学研究科法律学専攻, 隔年開講 ※注3
MHHT7090	集中	史料学研究	HST590-23j00	4	中澤克昭		春学期4月に申込み, 夏休みに授業。履修登録と成績評価は秋学期。
MHHT6250	秋	修士論文演習Ⅰb	HST551-23j00	2	中澤克昭 大川裕子 中川亜希 藤崎衛		
MHHT6270	秋	修士論文演習Ⅱb	HST552-23j00	2	川村信三 長田彰文 坂野正則		
MHHT7020	休講	<日本史学>古代特研	HST510-23j00	2			
MHHT7040	秋	<日本史学>中世特研	HST511-23j00	2	中澤克昭		
MHHT7150	秋	<東洋史学>近・現代特研	HST515-23m00	2	笹川裕史		
MHHT7170	秋	<西洋史学>古代特研	HST516-23m00	2	中川亜希		
MHHT7230	休講	<西洋史学>近・現代特研	HST519-23m00	2			
MHHT7250	休講	<日本史学>古代演習Ⅱ	HST530-23j00	2			
MHHT7270	秋	<日本史学>中世演習Ⅱ	HST531-23j00	2	中澤克昭		
MHHT7290	秋	<日本史学>近世演習Ⅱ	HST532-23m00	2	川村信三		

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	外国語	備考
MHHT7310	秋	<日本史学>近・現代演習Ⅱ	HST533-23m00	2	長 田 彰 文		
MHHT7330	秋	<東洋史学>古代・中世演習Ⅱ	HST551-23m00	2	大 川 裕 子		
MHHT7370	休講	<東洋史学>近・現代演習Ⅱ	HST535-23m00	2	笹 川 裕 史		
MHHT7390	秋	<西洋史学>古代演習Ⅱ	HST536-23m00	2	中 川 亜 希		
MHHT7410	秋	<西洋史学>中世演習Ⅱ	HST537-23m00	2	藤 崎 衛		
MHHT7430	秋	<西洋史学>近世演習Ⅱ	HST538-23m00	2	坂 野 正 則		
MHHT7450	秋	<西洋史学>近・現代演習Ⅱ	HST539-23m00	2	井 上 茂 子		
MHHT9280	秋	修士論文	HST699-23m00	0	史学専攻各指導教員		M2 対象
MTTH7702	秋	(他) 聖書神学研究ゼミナールⅠ (古代イスラエル史)	THE552-91j00	2	(他)月 本 昭 男		(他) 神学研究科神学専攻, 隔年開講 ※注1
MFAS7010	秋	(他) ヨーロッパ政治文化研究2	AEU504-67j00	2	(他)高 橋 暁 生		(他) グローバル・スタディーズ研 究科地域研究専攻 ※注2
MFAS7030	秋	(他) ヨーロッパ政治社会研究2	AEU502-67j00	2	(他)内 村 俊 太		(他) グローバル・スタディーズ研 究科地域研究専攻 ※注2
MLLW7040	休講	(他) 西洋法制史研究Ⅱ (ヨーロ ッパ現代史)	JUR504-41m00	2			(他) 法学研究科法律学専攻, 隔年 開講 ※注3

※注1 神学研究科神学専攻開講科目 (詳細はp. 14参照)

※注2 グローバルスタディーズ研究科地域研究専攻開講科目 (詳細はp. 249参照)

※注2 法学研究科法律学専攻開講科目 (詳細はp. 169参照)

5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
HST599-23j00	中 澤 克 昭	
	井 上 茂 子	
	川 村 信 三	
	長 田 彰 文	
	北 條 勝 貴	休講
	坂 野 正 則	
	中 川 亜 希	
	藤 崎 衛	
	大 川 裕 子	

史学専攻 博士後期課程

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

【17年次生以降】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考 (上限, その他)
総単位数	12		
授業科目			
・必修科目	12		
└博士論文演習Ⅰ・Ⅱ	12		6学期(6回)で合計12単位分履修すること
研究指導(必修)		6	単位なし, 在学中毎学期登録される 6科目以上合格すること
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に合格すること

【16年次生】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考 (上限, その他)
総単位数	12		
授業科目			
・必修科目	12		
└博士論文演習Ⅰ・Ⅱ	12		6学期(6回)で合計12単位分履修すること
研究指導(必修)			単位なし, 在学中毎学期登録される
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に合格すること

【研究指導スケジュール】

事項	期日	対象	備考
研究計画書の提出	4月末まで	D1以上	
博士論文演習の履修	春学期・秋学期	D1以上	履修登録期間中に各自登録, 博論中間報告を繰り返す
博士論文提出資格の審査申請 (履歴書・業績目録・学位論文要旨もしくは研究計画書・論文抜刷各1部の提出)	3月修了者: 年度初めの4月1日～4月末日	D3以上	博士論文提出予定者が対象, 専攻主任に申し出ること。資格審査は, 史学専攻会議にて行う。9月修了者の場合は, 前年度の10月1日～10月末日までに申請のこと
博士論文の提出	3月修了者: 修了を希望する年度の7月末まで	D3以上	博士論文提出予定者が対象。9月修了者の場合は, 修了を希望する年の1月末日まで
博士論文の審査・口述試験	適宜定める	D3以上	博士論文提出者が対象。文学研究科委員会の定める論文審査委員会により公開で実施し, 下記の基準に基づき審査する。併せて, 専攻学術の口述試験と外国語の試験を行う

※ 博士論文提出に至る過程については, 「博士の学位授与に関する史学専攻内規」に基づく。詳細は, 毎年4月実施の専攻別院生ガイダンスにて説明する。

※ 論文博士, 論文再入学については, 別途スケジュールを定めるので, 指導教員もしくは専攻主任に問い合わせること。

【博士論文審査基準】

- 1) 問題意識が明確で、テーマ設定が適切であり、対象分野に関する新しい史実の発見、ないしは既知の史実に対する新しい解釈の提示をしていること。
- 2) 先行研究が網羅的に検討・吟味されており、出典記載や引用が適切になされていること。
- 3) 史・資料に基づいた実証研究であること。
- 4) 論文構成が的確で、論理展開に整合性と一貫性があること。
- 5) 論文の言語表現が的確であり、目次・注・付録（図表・史料・参考文献表など）に関する体裁が整っていること。
- 6) 当該分野における独創的かつ先端的な研究であり、執筆者が自立的研究者として研究を遂行する能力があることを証明する研究であること。

2. 授業科目の編成・単位

科 目 名	単 位 数		
	必修	選必	選択
博士論文演習 I	2		
博士論文演習 II	2		

3. 履修上の注意

- 1) 「史学専攻履修上の注意」(4月専攻別院生ガイダンスで配付)に従って履修すること。
- 2) 後期課程生は、専任教員1名を指導教員として定め、所定の科目を履修するとともに、指導教員と密接に連絡し、学位論文や研究報告の作成を行うこと。
- 3) 「研究計画書」、「研究報告書」の提出については、【研究指導スケジュール】を参照すること。
- 4) 指導教員の開講する「博士論文演習Ⅰ」「同Ⅱ」を合計で12単位修得すること(ただし、大学の交換留学制度で指定された外国の大学にて勉学する場合は、その限りではない)。
- 5) 「研究指導」を在学中每学期受けること。なお、2017年次生以降の学生については、必要な合格科目数(6科目以上)も定められている。「1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件」を参照すること。
- 6) 後期課程生は、指導教員の開講する博士前期課程の「演習Ⅰ」「演習Ⅱ」を履修することが望ましい。なお、これは後期課程の修了要件とはならない。
- 7) 博士論文の提出者は、審査願提出時に、2本以上の研究論文が学術誌に掲載もしくは掲載決定していること。博士論文の提出に関しては、「博士の学位授与に関する史学専攻内規」に従って、所定の手続きをとること。

4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他):他専攻教員 *:非常勤教員	外国語	備考
DHHT3041	春	博士論文演習Ⅰ	HST801-23m00	2	長田彰文		
DHHT3081	春	博士論文演習Ⅰ	HST801-23m00	2	川村信三	○	英語による授業
DHHT3091	休講	博士論文演習Ⅰ	HST801-23m00	2			
DHHT3101	春	博士論文演習Ⅰ	HST801-23m00	2	笹川裕史		
DHHT3201	休講	博士論文演習Ⅰ	HST801-23m00	2			
DHHT3231	春	博士論文演習Ⅰ	HST801-23m00	2	中澤克昭		
DHHT3291	春	博士論文演習Ⅰ	HST801-23m00	2	坂野正則		
DHHT3042	秋	博士論文演習Ⅱ	HST802-23m00	2	長田彰文		
DHHT3082	秋	博士論文演習Ⅱ	HST802-23m00	2	川村信三	○	英語による授業
DHHT3092	休講	博士論文演習Ⅱ	HST802-23m00	2			
DHHT3102	秋	博士論文演習Ⅱ	HST802-23m00	2	笹川裕史		
DHHT3202	休講	博士論文演習Ⅱ	HST802-23m00	2			
DHHT3232	秋	博士論文演習Ⅱ	HST802-23m00	2	中澤克昭		
DHHT3292	秋	博士論文演習Ⅱ	HST802-23m00	2	坂野正則		

5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
HST899-23j00	井上茂子	
	川村信三	
	長田彰文	
	中澤克昭	
	北條勝貴	休講
	坂野正則	

国文学専攻 博士前期課程

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	30		
授業科目			
↳ 選択科目	30		
↳ 自専攻科目			
↳ 自研究科他専攻科目			
↳ 委託聴講科目			10単位まで修了に必要な単位として認められる ※ただし, 国連大学委託聴講科目は認められない
研究指導（必修）		4	単位なし, 在学中每学期登録される 4科目以上合格すること
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること)

【研究指導スケジュール】

4月に実施する専攻ガイダンスで配布の「国文学専攻履修上の注意」「国文学専攻院生の指導について」ほか, 配布書類にて確認すること。

【修士論文審査基準】

- 1) 明確な問題意識に基づき, 統一されたテーマを有し, 統一された形式で書き下ろされたもの。刊行された書物, 抜刷の集合は認めない。
- 2) 先行研究を的確に踏まえた上で, 出典記載・引用が適切になされていること。
- 3) 独創的知見を有する研究であること。
- 4) 論理展開に整合性を有し, 言語表現が適切であること。
- 5) 全国レベルの学会で発表された研究論文, または発表しうる水準の論文の内容を含んでいること。
- 6) 四百字詰め原稿用紙 200 枚以上に相当する分量を有すること。

2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
古典文学特殊講義・演習ⅠA			2
古典文学特殊講義・演習ⅠB			2
古典文学特殊講義・演習ⅡA			2
古典文学特殊講義・演習ⅡB			2
古典文学特殊講義・演習ⅢA			2
古典文学特殊講義・演習ⅢB			2
古典文学特殊講義・演習ⅣA			2
古典文学特殊講義・演習ⅣB			2
近代文学特殊講義・演習ⅠA			2
近代文学特殊講義・演習ⅠB			2
近代文学特殊講義・演習ⅡA			2
近代文学特殊講義・演習ⅡB			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
国語学特殊講義・演習ⅠA			2
国語学特殊講義・演習ⅠB			2
国語学特殊講義・演習ⅡA			2
国語学特殊講義・演習ⅡB			2
国語学特殊講義・演習ⅢA			2
国語学特殊講義・演習ⅢB			2
漢文学特殊講義・演習ⅠA			2
漢文学特殊講義・演習ⅠB			2
漢文学特殊講義・演習ⅡA			2
漢文学特殊講義・演習ⅡB			2
(他) COMPARATIVE LITERATURE 1			2
(他) COMPARATIVE LITERATURE 2			2

3. 履修上の注意

- 1) 国文学専攻に所属する学生は、「大学院国文学専攻履修上の注意」に従って履修すること。
- 2) 「大学院国文学専攻院生の指導について」に従って、各自専任教員一名を指導教員、一名を副指導教員として定め、その指導のもとに所定の科目を履修し、かつ論文を作成すること。
- 3) 毎年度4月に専攻の定める「研究計画書」を、2月に「研究報告書」を提出すること。
- 4) 博士後期課程科目「特殊研究」を履修登録して受講することができるが、修了要件の単位としては認定されない。
- 5) 修士論文提出予定者は専攻の定める「提出予定書」及び「題目届」を提出すること。
- 6) 「研究指導」を在学中毎学期受けること。なお、「研究指導」については、必要な合格科目数も定められている。「1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件」を参照すること。

4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他):他専攻教員 *:非常勤教員	外国語	備考
MHJL7010	春	古典文学特殊講義・演習ⅠA	JLT501-24j00	2	瀬間正之		
MHJL7030	春	古典文学特殊講義・演習ⅡA	JLT503-24j00	2	本廣陽子		
MHJL7050	春	古典文学特殊講義・演習ⅢA	JLT505-24j00	2	山本章博		
MHJL7070	春	古典文学特殊講義・演習ⅣA	JLT507-24j00	2	*高木元		後期課程「古典文学特殊研究ⅣA」と合併
MHJL7090	春	近代文学特殊講義・演習ⅠA	JLT509-24j00	2	*小林幸夫		後期課程「近代文学特殊研究ⅠA」と合併
MHJL7110	春	近代文学特殊講義・演習ⅡA	JLT511-24j00	2	*山田俊治		後期課程「近代文学特殊研究ⅡA」と合併
MHJL7130	春	国語学特殊講義・演習ⅠA	JAL501-24j00	2	豊島正之		
MHJL7150	春	国語学特殊講義・演習ⅡA	JAL503-24j00	2	服部隆		後期課程「国語学特殊研究ⅡA」と合併
MHJL7170	休講	国語学特殊講義・演習ⅢA	JAL505-24j00	2			
MHJL7190	春	漢文学特殊講義・演習ⅠA	CLT501-24j00	2	長尾直茂		
MHJL7210	春	漢文学特殊講義・演習ⅡA	CLT503-24j00	2	福井辰彦		
MZJS5180	春	COMPARATIVE LITERATURE1	JST608-65e00	2	(他)河野至恩	○	(他)グローバル社会専攻
MHJL7020	秋	古典文学特殊講義・演習ⅠB	JLT502-24j00	2	瀬間正之		
MHJL7040	秋	古典文学特殊講義・演習ⅡB	JLT504-24j00	2	本廣陽子		
MHJL7060	秋	古典文学特殊講義・演習ⅢB	JLT506-24j00	2	山本章博		
MHJL7080	秋	古典文学特殊講義・演習ⅣB	JLT508-24j00	2	*高木元		後期課程「古典文学特殊研究ⅣB」と合併
MHJL7100	秋	近代文学特殊講義・演習ⅠB	JLT510-24j00	2	*小林幸夫		後期課程「近代文学特殊研究ⅠB」と合併
MHJL7120	秋	近代文学特殊講義・演習ⅡB	JLT512-24j00	2	*山田俊治		後期課程「近代文学特殊研究ⅡB」と合併
MHJL7140	秋	国語学特殊講義・演習ⅠB	JAL502-24j00	2	豊島正之		
MHJL7160	秋	国語学特殊講義・演習ⅡB	JAL504-24j00	2	服部隆		後期課程「国語学特殊研究ⅡB」と合併
MHJL7180	休講	国語学特殊講義・演習ⅢB	JAL506-24j00	2			
MHJL7200	秋	漢文学特殊講義・演習ⅠB	CLT502-24j00	2	長尾直茂		
MHJL7220	秋	漢文学特殊講義・演習ⅡB	CLT504-24j00	2	福井辰彦		
MHJL9240	秋	修士論文	HUM699-24j00	0	国文学専攻各指導教員		M2対象
MZJS5190	秋	COMPARATIVE LITERATURE2	JST609-65e00	2	(他)河野至恩	○	(他)グローバル社会専攻

5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
HUM599-24j00	瀬間正之	
	豊島正之	
	長尾直茂	
	服部隆	
	福井辰彦	
	本廣陽子	
	山本章博	

国文学専攻 博士後期課程

1. 修了に要する科目，単位数，科目数などの要件

【18年次生以降】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限，その他）
総単位数	12		
授業科目			
・選択科目	12		
研究指導（必修）		6	単位なし，在学中毎学期登録される 6科目以上合格すること
博士論文			必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査および試験に 合格すること

【17年次生】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限，その他）
総単位数			
授業科目			
・選択科目			
研究指導（必修）		6	単位なし，在学中毎学期登録される 6科目以上合格すること
博士論文			必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査および試験に 合格すること

【16年次生】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限，その他）
総単位数			
授業科目			
・選択科目			
研究指導（必修）			単位なし，在学中毎学期登録される
博士論文			必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査および試験に 合格すること

【研究指導スケジュール】

4月に実施する専攻ガイダンスで配布の「国文学専攻履修上の注意」「国文学専攻院生の指導について」ほか，配布書類にて確認すること。

【博士論文審査基準】

- 1) 明確な問題意識に基づき，統一されたテーマを有し，統一された形式で書き下ろされたもの。刊行された書物，抜刷の集合は認めない。
- 2) 先行研究を的確に踏まえた上で，出典記載・引用が適切になされていること。
- 3) 独創的知見を有する研究であること。
- 4) 論理展開に整合性を有し，言語表現が適切であること。
- 5) 全国レベルの学会で発表された研究論文を，2本以上含んでいること。
- 6) 四百字詰め原稿用紙300枚以上に相当する分量を有すること。

2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
古典文学特殊研究ⅠA			2
古典文学特殊研究ⅠB			2
古典文学特殊研究ⅡA			2
古典文学特殊研究ⅡB			2
古典文学特殊研究ⅢA			2
古典文学特殊研究ⅢB			2
古典文学特殊研究ⅣA			2
古典文学特殊研究ⅣB			2
近代文学特殊研究ⅠA			2
近代文学特殊研究ⅠB			2
近代文学特殊研究ⅡA			2
近代文学特殊研究ⅡB			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
国語学特殊研究ⅠA			2
国語学特殊研究ⅠB			2
国語学特殊研究ⅡA			2
国語学特殊研究ⅡB			2
国語学特殊研究ⅢA			2
国語学特殊研究ⅢB			2
漢文学特殊研究ⅠA			2
漢文学特殊研究ⅠB			2
漢文学特殊研究ⅡA			2
漢文学特殊研究ⅡB			2

3. 履修上の注意

- 1) 国文学専攻に所属する学生は、「大学院国文学専攻履修上の注意」に従って年間4単位ずつを目安に履修すること。
- 2) 「大学院国文学専攻院生の指導について」に従って、各自専任教員一名を指導教員、一名を副指導教員として定め、その指導のもとに所定の科目を履修し、かつ論文を作成すること。
- 3) 毎年度4月に専攻の定める「研究計画書」を、2月に「研究報告書」を提出すること。
- 4) 指導教員及び副指導教員の科目を、毎年必ず受講することが望ましい。
- 5) 「研究指導」を在学中每学期受けること。なお、2017年次生以降の学生については、必要な合格科目数も定められている。「1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件」を参照すること。
- 6) 博士論文審査願提出以前に2本以上の研究論文を学術誌に発表すること。
- 7) 博士論文を作成し、提出したい者は、「国文学専攻博士学位授与に関する内規」に従って、所定の手続きをとること。

4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	外国語	備考
DHJL7010	春	古典文学特殊研究ⅠA	JLT801-24j00	2	瀬間正之		
DHJL7030	春	古典文学特殊研究ⅡA	JLT803-24j00	2	本廣陽子		
DHJL7220	春	古典文学特殊研究ⅢA	JLT809-24j00	2	山本章博		
DHJL7060	春	古典文学特殊研究ⅣA	JLT805-24j00	2	*高木元		前期課程「古典文学特殊講義・演習ⅣA」と合併
DHJL7240	春	近代文学特殊研究ⅠA	JLT811-24j00	2	*小林幸夫		前期課程「近代文学特殊講義・演習ⅠA」と合併
DHJL7090	春	近代文学特殊研究ⅡA	JLT807-24j00	2	*山田俊治		前期課程「近代文学特殊講義・演習ⅡA」と合併
DHJL7210	春	国語学特殊研究ⅠA	JAL805-24j00	2	豊島正之		
DHJL7120	春	国語学特殊研究ⅡA	CLT801-24j00	2	服部隆		前期課程「国語学特殊講義・演習ⅡA」と合併
DHJL7140	休講	国語学特殊研究ⅢA	JAL803-24j00	2			
DHJL7260	春	漢文学特殊研究ⅠA	CLT803-24j00	2	長尾直茂		
DHJL7170	春	漢文学特殊研究ⅡA	CLT801-24j00	2	福井辰彦		
DHJL7020	秋	古典文学特殊研究ⅠB	JLT802-24j00	2	瀬間正之		
DHJL7040	秋	古典文学特殊研究ⅡB	JLT804-24j00	2	本廣陽子		
DHJL7230	秋	古典文学特殊研究ⅢB	JLT810-24j00	2	山本章博		
DHJL7070	秋	古典文学特殊研究ⅣB	JLT806-24j00	2	*高木元		前期課程「古典文学特殊講義・演習ⅣB」と合併
DHJL7250	秋	近代文学特殊研究ⅠB	JLT812-24j00	2	*小林幸夫		前期課程「近代文学特殊講義・演習ⅠB」と合併
DHJL7100	秋	近代文学特殊研究ⅡB	JLT808-24j00	2	*山田俊治		前期課程「近代文学特殊講義・演習ⅡB」と合併
DHJL7200	秋	国語学特殊研究ⅠB	JAL806-24j00	2	豊島正之		
DHJL7130	秋	国語学特殊研究ⅡB	JAL802-24j00	2	服部隆		前期課程「国語学特殊講義・演習ⅡB」と合併
DHJL7150	休講	国語学特殊研究ⅢB	JAL804-24j00	2			
DHJL7270	秋	漢文学特殊研究ⅠB	CLT804-24j00	2	長尾直茂		
DHJL7180	秋	漢文学特殊研究ⅡB	CLT802-24j00	2	福井辰彦		

5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
HUM899-24j00	瀬間正之	
	豊島正之	
	長尾直茂	
	服部隆	
	福井辰彦	
	本廣陽子	
	山本章博	

英米文学専攻 博士前期課程

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

【17年次生以降 Aコース (後期課程進学)】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考 (上限, その他)
総単位数	30		
授業科目			
▶必修科目	4		
└文学研究法 I	2		
└文学研究法 II	2		
▶選択科目	26		
└自専攻科目			
└自研究科他専攻科目			
└委託聴講科目			8単位まで修了に必要な単位として認められる ※ただし, 国連大学委託聴講科目は認められない
研究指導 (必修)		4	単位なし, 在学中毎学期登録される 4科目以上合格すること
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験 に合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士 論文登録をすること)

【17年次生以降 Bコース (前期課程完結)】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考 (上限, その他)
総単位数	30 または 38		
授業科目			
▶必修科目	4		
└文学研究法 I	2		
└文学研究法 II	2		
▶選択科目	26 または 34		修士論文を執筆する者は26単位 修士論文を執筆しない者は34単位を習得し, リサーチ・ペ ーパーを提出すること
└自専攻科目			
└自研究科他専攻科目			
└委託聴講科目			8単位まで修了に必要な単位として認められる ※ただし, 国連大学委託聴講科目は認められない
研究指導 (必修)		4	単位なし, 在学中毎学期登録される 4科目以上合格すること
修士論文 またはリサーチ・ペーパー			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に 合格すること (修士論文またはリサーチ・ペーパーを提出する学期の 履修登録期間に必ず修士論文, リサーチ・ペーパーの登 録をすること)

【15～16年次生 Aコース（後期課程進学）】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限，その他）
総単位数	30		
授業科目			
‣必修科目	4		
└文学研究法Ⅰ	2		
└文学研究法Ⅱ	2		
‣選択科目	26		
└自専攻科目			
└自研究科他専攻科目			
└委託聴講科目			8単位まで修了に必要な単位として認められる ※ただし，国連大学委託聴講科目は認められない
研究指導（必修）			単位なし，在学中毎学期登録される
修士論文			必要な研究指導を受けた上，修士論文の審査および試験に合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること)

【15～16年次生 Bコース（前期課程完結）】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限，その他）
総単位数	30 または 38		
授業科目			
‣必修科目	4		
└文学研究法Ⅰ	2		
└文学研究法Ⅱ	2		
‣選択科目	26 または 34		修士論文を執筆する者は26単位 修士論文を執筆しない者は34単位を習得し，リサーチ・ペーパーを提出すること
└自専攻科目			
└自研究科他専攻科目			
└委託聴講科目			8単位まで修了に必要な単位として認められる ※ただし，国連大学委託聴講科目は認められない
研究指導（必修）			単位なし，在学中毎学期登録される
修士論文 またはリサーチ・ペーパー			必要な研究指導を受けた上，修士論文の審査および試験に合格すること (修士論文またはリサーチ・ペーパーを提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文，リサーチ・ペーパーの登録をすること)

【研究指導スケジュール】

4月に行うガイダンスで配布する「英米文学専攻（博士前期課程）における研究の進め方」で詳細を確認すること。

【修士論文審査基準】

- 1) テーマ設定が明確であること。
- 2) 研究対象分野における過去の研究史を理解し、これを踏まえたうえで発見された研究課題であること。
- 3) 独自の知見を提示する研究であること。
- 4) 論文構成が的確で、論理展開が明確であること。
- 5) 言語表現が的確であり、形式と体裁に関する規定が守られていること。

【リサーチ・ペーパー審査基準】

- 1) テーマ設定が明確であること。
- 2) 研究対象分野における過去の研究史について一定の理解を示していること。
- 3) 構成が的確で、論理展開が明確であること。
- 4) 言語表現が的確であり、形式と体裁に関する規定が守られていること。

2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
文学研究法Ⅰ *	2		
文学研究法Ⅱ *	2		
英文学特講・演習A1			2
英文学特講・演習A2			2
英文学特講・演習B1			2
英文学特講・演習B2			2
英文学特講・演習C1			2
英文学特講・演習C2			2
英文学特講・演習D1			2
英文学特講・演習D2			2
英文学特講・演習E1（2017年度まで開講）			2
英文学特講・演習E2（2017年度まで開講）			2
イギリス文化研究特講・演習1			2
イギリス文化研究特講・演習2			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
アメリカ文学特講・演習A1			2
アメリカ文学特講・演習A2			2
アメリカ文学特講・演習B1			2
アメリカ文学特講・演習B2			2
アメリカ文学特講・演習C1			2
アメリカ文学特講・演習C2			2
英語学英語教育特講・演習A1			2
英語学英語教育特講・演習A2			2
英語学英語教育特講・演習B1			2
英語学英語教育特講・演習B2			2
文化研究特講・演習A1（2017年度まで開講）			2
文化研究特講・演習A2（2017年度まで開講）			2
アメリカ文化研究特講・演習1			2
アメリカ文化研究特講・演習2			2

*M1対象

3. 履修上の注意

- 1) 英米文学専攻に所属する学生は、「大学院英米文学専攻履修上の注意」に従って履修すること。
- 2) 「研究指導」を在学中毎学期受けること。なお、2017年次生以降の学生については、必要な合格科目数も定められている。1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件を参照すること。
- 3) 年度初めの専攻ガイダンスで「研究指導」の説明を行うので、必ず出席のこと。
- 4) 毎年度4月に専攻の定める「研究計画書」を提出すること。
- 5) 「文学研究法Ⅰ（必修）」、「文学研究法Ⅱ（必修）」を一年次に履修すること。
- 6) Bコース（前期課程完結）の学生の必要単位数は、修士論文を執筆する場合、30単位。修士論文を執筆しない場合は38単位を修得のうえ、リサーチ・ペーパーを提出する。詳細は専攻の規定に従うこと。

4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	外国語	備考
MHEL1002	秋	文学研究法Ⅱ	ELT502-25e00	2	LOCKE Brian	○	
MHEL7201	秋	英文学特講・演習A 2	ELT601-25j00	2	西 能 史		
MHEL7211	春	英文学特講・演習D2	ELT603-25j00	2	永 富 友 海		
MHEL7231	春	英文学特講・演習D 1	ELT607-25j00	2	舟 川 一 彦		
MHEL7311	休講	イギリス文化研究特講・演習 1	CUL601-25j00	2		○	
MHEL7271	春	アメリカ文学特講・演習C 1	ELT613-25j00	2	飯 野 友 幸		
MHEL7321	春	アメリカ文化研究特講・演習 1	CUL603-25j00	2	山 口 和 彦		
MHEL7281	春	英語学英語教育特講・演習A 1	LGE601-25e00	2	池 田 真		
MHEL7291	春	英語学英語教育特講・演習B 1	LGE603-25j00	2	*土 屋 慶 子	○	
MHEL1001	春	文学研究法Ⅰ	ELT501-25j00	2	松 本 朗		
MHEL7252	春	アメリカ文学特講・演習A 1	ELT610-25j00	2	増 井 志津代		
MHEL7272	秋	アメリカ文学特講・演習C 2	ELT614-25j00	2	飯 野 友 幸		
MHEL7282	秋	英語学英語教育特講・演習A 2	LGE602-25e00	2	池 田 真		
MHEL7292	秋	英語学英語教育特講・演習B 2	LGE604-25j00	2	*荊 紅 涛	○	
MHEL7312	春	イギリス文化研究特講・演習 2	CUL602-25e00	2	*渡 辺 愛 子		
MHEL9120	秋	修士論文	ELT699-25j00	0	英米文学専攻 各指導教員		M2対象
MHEL9130	秋	リサーチ・ペーパー	ELT689-25j00	0	英米文学専攻 各指導教員		M2対象 (Bコース選択者のみ)
MHEL1002	休講	文学研究法Ⅱ	ELT502-25e00	2		○	
MHEL7202	休講	英文学特講・演習A 2	ELT602-25j00	2			
MHEL7212	休講	英文学特講・演習B 2	ELT604-25j00	2			
MHEL7221	休講	英文学特講・演習C 1	ELT605-25j00	2			
MHEL7222	秋	英文学特講・演習C 2	ELT606-25j00	2	舟 川 一 彦		
MHEL7232	休講	英文学特講・演習D 2	ELT608-25j00	2			
MHEL7251	休講	アメリカ文学特講・演習A 1	ELT609-25j00	2			
MHEL7261	休講	アメリカ文学特講・演習B 1	ELT611-25j00	2			
MHEL7262	春	アメリカ文学特講・演習B 2	ELT612-25j00	2	下 條 恵 子		
MHEL7322	秋	アメリカ文化研究特講・演習2	CUL604-25j00	2	大 塚 寿 郎		

5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
ELT599-25j00	舟 川 一 彦	
	飯 野 友 幸	
	大 塚 寿 郎	
	増 井 志津代	
	永 富 友 海	
	池 田 真	
	松 本 朗	
	西 能 史	
	山 口 和 彦	
下 條 恵 子		

英米文学専攻 博士後期課程

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

【17年次生以降】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	12		
授業科目			
・必修科目	12		
↳リーディング・コース	12		3年間で合計12単位
・選択科目			
研究指導（必修）		6	単位なし, 在学中毎学期登録される 6科目以上合格すること
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士予備論文, 博士論文の審査および試験に合格すること

【11～15年次生】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	12		
授業科目			
・必修科目	12		
↳リーディング・コース	12		3年間で合計12単位
・選択科目			
研究指導（必修）			単位なし, 在学中毎学期登録される
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 修了論文あるいは博士予備論文, 博士論文の審査および試験に合格すること

【研究指導スケジュール】

4月に行うガイダンスで配布する「英米文学専攻（博士後期課程）における研究の進め方」で詳細を確認すること。

【博士論文審査基準】

- 1) テーマ設定が明確であること。
- 2) 研究対象分野における過去の研究史を理解し, これを踏まえた上で発見された研究課題であること。
- 3) 顕著な独創性を持った知見を提示し, これにより学界に何らかの貢献をなすものであること。
- 4) 論文構成が的確で, 論理展開が明確であること。
- 5) 言語表現が的確であり, 形式と体裁に関する規定が守られていること。

2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
リーディング・コース1A	2		
リーディング・コース1B	2		
リーディング・コース2A	2		
リーディング・コース2B	2		
リーディング・コース3A	2		
リーディング・コース3B	2		
リーディング・コース4A	2		
リーディング・コース4B	2		
リーディング・コース5A	2		
リーディング・コース5B	2		
リーディング・コース6A	2		
リーディング・コース6B	2		
リーディング・コース7A	2		
リーディング・コース7B	2		
リーディング・コース8A	2		
リーディング・コース8B	2		
リーディング・コース9A	2		
リーディング・コース9B	2		
リーディング・コース10A	2		
リーディング・コース10B	2		

注) 2015年度より通年から学期開講に分割された。

3. 履修上の注意

年度初めの専攻ガイダンスで「研究指導」の説明を行うので、必ず出席すること。また専攻の定める「研究計画書」を提出すること。

後期課程の学生は、3年間に、指導教員を含めて3名の教員によるリーディング・コースを1名につき2学期分ずつ履修することにより12単位を与えられる。コースは英文学、アメリカ文学、英語学の3分野からできるだけ万遍なく選択するように心がけるべきである。すべてが同じ分野のものであってはいけない。また、同じ教員のコースを、2学期を超えて履修することはできない。将来、課程博士論文を提出して学位を得ようとする者は、リーディング・コースの履修に加えて、自分の専門分野における3年間の研究成果を修了論文あるいは博士予備論文として提出し、専攻所属教員による審査を受ける。修了論文あるいは博士予備論文については、英米文学専攻内規に詳細を定める。

なお、「研究指導」を在学中毎学期受けること。なお、2017年次生以降の学生については、必要な合格科目数も定められている。1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件を参照すること。

4. 開講科目一覧表

登録 コード	開 講 期	科目名	ナンバ リング	単 位 数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	外 国 語	備考
DHEL3411	春	リーディング・コース1 A	ELT801-25j00	2	松 本 朗		
DHEL3421	春	リーディング・コース2 A	ELT803-25j00	2	舟 川 一 彦		
DHEL3431	春	リーディング・コース3 A	ELT805-25j00	2	飯 野 友 幸		
DHEL3441	春	リーディング・コース4 A	ELT807-25j00	2	大 塚 寿 郎		
DHEL3461	春	リーディング・コース6 A	ELT811-25j00	2	永 富 友 海		
DHEL3451	春	リーディング・コース5 A	ELT809-25j00	2	増 井 志津代		
DHEL3471	春	リーディング・コース7 A	ELT813-25j00	2	池 田 真		
DHEL3481	春	リーディング・コース8 A	ELT815-25j00	2	山 口 和 彦		
DHEL3491	春	リーディング・コース9 A	ELT817-25j00	2	西 能 史		
DHEL3511	春	リーディング・コース10 A	ELT819-25j00	2	下 條 恵 子		
DHEL3412	秋	リーディング・コース1 B	ELT802-25j00	2	松 本 朗		
DHEL3422	秋	リーディング・コース2 B	ELT804-25j00	2	舟 川 一 彦		
DHEL3432	秋	リーディング・コース3 B	ELT806-25j00	2	飯 野 友 幸		
DHEL3442	秋	リーディング・コース4 B	ELT808-25j00	2	大 塚 寿 郎		
DHEL3452	秋	リーディング・コース5 B	ELT810-25j00	2	増 井 志津代		
DHEL3462	秋	リーディング・コース6 B	ELT812-25j00	2	永 富 友 海		
DHEL3472	秋	リーディング・コース7 B	ELT814-25j00	2	池 田 真		
DHEL3482	秋	リーディング・コース8 B	ELT816-25j00	2	山 口 和 彦		
DHEL3492	秋	リーディング・コース9 B	ELT818-25j00	2	西 能 史		
DHEL3512	秋	リーディング・コース10 B	ELT820-25j00	2	下 條 恵 子		

5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
ELT899-25j00	舟 川 一 彦	
	飯 野 友 幸	
	大 塚 寿 郎	
	増 井 志津代	
	永 富 友 海	
	池 田 真	
	松 本 朗	
	西 能 史	
	山 口 和 彦	
下 條 恵 子		

ドイツ文学専攻 博士前期課程

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

【17年次生以降】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	30		
授業科目			
▶選択科目	30		
└自専攻科目			
└自研究科他専攻科目			
└委託聴講科目			10単位まで修了に必要な単位として認める
研究指導（必修）		4	単位なし, 在学中毎学期登録される 4科目以上合格すること
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に 合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士 論文登録をすること)

【16年次生】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	30		
授業科目			
▶選択科目	30		
└自専攻科目			
└自研究科他専攻科目			
└委託聴講科目			10単位まで修了に必要な単位として認める
研究指導（必修）			単位なし, 在学中毎学期登録される
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に 合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士 論文登録をすること)

【研究指導スケジュール】

◎一年次

1 ガイダンス

- ・春学期授業開始前に行う。
- ・教員の担当授業内容や進め方についての説明, 修士課程および博士課程における単位の修得および論文作成についての概説。

2 指導教員について

- ・ガイダンスに続き, 指導教員を決定する。
- ・授業の登録に際しては, 指導教員と相談する。

3 研究計画書について

- ・指導教員と相談の上, 研究計画書（別紙）を作成する。
- ・5月末日までに研究計画書を専攻主任および指導教員に1部ずつ提出する。

4 院生による雑誌 Stufe について

- ・希望する者は「研究ノート」を執筆することができる。
- ・執筆を希望する場合には、夏休みまでに指導教員と相談し、題目を決める。
- ・指導教員の指導の下で作成し、Stufe 担当教員の査読を受ける。

5 研究報告書

- ・指導教員と相談の上、研究報告書（別紙）を作成する。
- ・3 月末日までに研究報告書を専攻主任および指導教員に 1 部ずつ提出する。

6 修士論文について

- ・二年次で修論を書く場合、3 月末日までに指導教員と面談の上、修士論文の題目を決定する。

◎二年次

1 ガイダンス

- ・春学期授業開始前に行う。
- ・教員の担当授業内容や進め方についての説明、修士課程および博士課程における単位の修得および論文作成についての概説。

2 研究計画書について

- ・指導教員と面談の上、修士論文題目を含む研究計画書（別紙）を作成する。
- ・5 月末日までに研究計画書を専攻主任および指導教員に 1 部ずつ提出する。

3 修士論文中間発表会について

- ・10 月に行なう。
- ・発表は指導教員の指導を受けた上で行う。

4 修士論文について

- ・修論題目（研究計画書）を提出するさいに、使用予定の文献リスト表を添える。
- ・指導教員の指導を受けて作成する。
- ・統一されたテーマを有し、統一された形式で書き下ろされたものであること（履修要覧の「修士論文審査基準」を参照）。
- ・日本語で執筆（A4, 40 字 30 行設定, 35 枚程度）の場合は、ドイツ語レジュメ（40 字 30 行設定, 6 頁程度）を付すこと。レジュメはドイツ語ネイティブ教員の指導を受けること。
- ・ドイツ語で執筆（A4, 40 字 30 行設定, 40 頁程度）の場合は、日本語のレジュメ（40 字 30 行設定, 5 枚程度）を付すこと。
- ・1 月 15 日締め切り

【修士論文審査基準】

自立した研究者に必要な資質と能力を示す論文であること。

- 1) テーマ設定が的確であること。
- 2) 関連する先行研究を踏まえ、論文の位置づけが明確にされていること。
- 3) 論文の構成が適切であり、論理展開が明快であること。
- 4) 伝えるべきことを十全に伝える言語表現がなされていること。
- 5) 引用などに関する規定が守られていること。

2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
<文学研究系列>			
ドイツ文学研究Ⅰa			2
ドイツ文学研究Ⅰb			2
ドイツ文学研究Ⅱa			2
ドイツ文学研究Ⅱb			2
ドイツ文学研究Ⅲa			2
ドイツ文学研究Ⅲb			2
ドイツ文学研究Ⅳa			2
ドイツ文学研究Ⅳb			2
ドイツ文学研究Ⅴa			2
ドイツ文学研究Ⅴb			2
ドイツ文学研究Ⅵa			2
ドイツ文学研究Ⅵb			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
<文化研究系列>			
ドイツ文化研究Ⅰa			2
ドイツ文化研究Ⅰb			2
ドイツ文化研究Ⅱa			2
ドイツ文化研究Ⅱb			2
ドイツ文化研究Ⅲa			2
ドイツ文化研究Ⅲb			2
<言語研究系列>			
(他) ドイツ語統語論1 ※注1			2
(他) ドイツ語統語論2 ※注1			2
(他) ドイツ語文体論1 ※注1			2
(他) ドイツ語文体論2 ※注1			2
(他) ドイツ語音声学・音韻論1 ※注1,注2			2
(他) ドイツ語音声学・音韻論2 ※注1,注2			2
(他) ドイツ語教育1 ※注1			2
(他) ドイツ語教育2 ※注1			2
(他) ドイツ語意味論1 ※注1			2
(他) ドイツ語意味論2 ※注1			2

※注1 言語学専攻開講科目。詳細はp.205～p.206参照。

※注2 2018年度に「ドイツ語音韻論1」「ドイツ語音韻論2」から科目名変更

3. 履修上の注意

前期課程の学生は、指導教員の指導のもとに修士論文を作成すること。

また、「研究指導」を在学中毎学期受けること。研究指導の具体的な内容については、学年始めのガイダンスにおいて資料を配付の上、説明を行う。なお、2017年次生以降の学生については、必要な合格科目数も定められている。1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件を参照すること。

4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他): 他専攻教員 *: 非常勤教員	外国語	備考
MHGL7310	休講	ドイツ文学研究Ⅰa	GLT501-26j00	2			
MHGL7320	休講	ドイツ文学研究Ⅰb	GLT601-26j00	2			
MHGL7330	春	ドイツ文学研究Ⅱa	GLT502-26g00	2	ZEMSAUER Christian	○	博士後期課程「ドイツ文学特殊研究Ⅱa」と合併
MHGL7340	秋	ドイツ文学研究Ⅱb	GLT602-26g00	2	ZEMSAUER Christian	○	博士後期課程「ドイツ文学特殊研究Ⅱb」と合併
MHGL7350	春	ドイツ文学研究Ⅲa	GLT503-26j00	2	佐藤 朋之		博士後期課程「ドイツ文学特殊研究Ⅲa」と合併
MHGL7360	秋	ドイツ文学研究Ⅲb	GLT603-26j00	2	佐藤 朋之		博士後期課程「ドイツ文学特殊研究Ⅲb」と合併
MHGL7370	休講	ドイツ文学研究Ⅳa	GLT504-26j00	2			
MHGL7380	春	ドイツ文学研究Ⅳb	GLT604-26g00	2	*PEKAR Thomas	○	博士後期課程「ドイツ文学特殊研究Ⅳb」と合併
MHGL7390	春	ドイツ文学研究Ⅴa	GLT505-26j00	2	*高橋 明彦		博士後期課程「ドイツ文学特殊研究Ⅴa」と合併
MHGL7400	春	ドイツ文学研究Ⅴb	GLT605-26j00	2	*北島 玲子		博士後期課程「ドイツ文学特殊研究Ⅴb」と合併
MHGL7410	休講	ドイツ文学研究Ⅵa	GLT506-26j00	2			
MHGL7420	秋	ドイツ文学研究Ⅵb	GLT606-26j00	2	中村 朝子		博士後期課程「ドイツ文学特殊研究Ⅵb」と合併
MHGL7610	休講	ドイツ文化研究Ⅰa	GLT507-26j00	2			
MHGL7620	春	ドイツ文化研究Ⅰb	GLT607-26j00	2	DUPPEL Mechthild	○	博士後期課程「ドイツ文化特殊研究Ⅰb」と合併
MHGL7630	休講	ドイツ文化研究Ⅱa	GLT508-26g00	2			
MHGL7640	秋	ドイツ文化研究Ⅱb	GLT608-26g00	2	DUPPEL Mechthild	○	博士後期課程「ドイツ文化特殊研究Ⅱb」と合併
MHGL7650	春	ドイツ文化研究Ⅲa	GLT509-26j00	2	*佐藤 直樹		博士後期課程「ドイツ文化特殊研究Ⅲa」と合併
MHGL7660	休講	ドイツ文化研究Ⅲb	GLT609-26j00	2			
MHGL9280	秋	修士論文	GLT699-26m00	0	ドイツ文学専攻 各指導教員		M2対象

5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
GLT599-26m00	中村 朝子	
	佐藤 朋之	
	DUPPEL Mechthild	
	中井 真之	
	ZEMSAUER Christian	
	小松原 由理	休講

ドイツ文学専攻 博士後期課程

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

【17年次生以降】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	14		
授業科目			
・選択科目	14		
└─自専攻科目			
研究指導（必修）		6	単位なし, 在学中毎学期登録される 6科目以上合格すること
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に 合格すること

【13～16年次生】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	14		
授業科目			
・選択科目	14		
└─自専攻科目			
研究指導（必修）			単位なし, 在学中毎学期登録される
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に 合格すること

【研究指導スケジュール】

- 1 博士前期課程と同様, 各年次の最初に研究計画書を提出し（専攻主任および指導教員に1部ずつ）, 指導教員の指導を受けながら研究を進める。
- 2 博士前期課程と同様, 各年次の最後に研究報告書を提出。なお, 満期退学者については5を参照。
- 3 3年間以上在籍し, 所定の単位を修得する。
- 4 雑誌 Stufe に論文を2本以上執筆する。
論文のうち1本は学会誌（日本独文学会）やそれに準ずると判断できる雑誌（『オーストリア文学』『ヘルダー研究』『ゲーテ年鑑』など）に掲載された論文でも可。
- 5 ドイツ語圏留学の扱い
 - ・後期課程の少なくとも2年間は本大学に在籍しなければならない。
 - ・交換留学協定校への留学の場合, 2に挙げた必要在籍期間のうち1年分は留学期間を当て, 留学先で取得した単位を換算することができる。
- 6 博士論文を提出せずに満期退学する場合も, 在籍中の成果を論文, もしくは論文に準ずる形で提出しなければならない（1月15日締め切り）。

【博士論文審査基準】

自立した研究者として、専門分野において独自の貢献を行うことができる能力を示す論文であること。

- 1) テーマ設定が的確であり、専門分野に新たな知見をもたらすものであること。
- 2) 関連する先行研究を踏まえ、論文の位置づけが明確にされていること。
- 3) 論文の構成が適切であり、論理展開が明快であること。
- 4) 伝えるべきことを十全に伝える言語表現がなされていること。
- 5) 引用などに関する規定が守られていること。

なお、博士論文を提出するための前提条件等に関しては、ドイツ文学専攻博士学位授与に関する内規を参照のこと。

2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
<文学研究系列>			
ドイツ文学特殊研究Ⅰa			2
ドイツ文学特殊研究Ⅰb			2
ドイツ文学特殊研究Ⅱa			2
ドイツ文学特殊研究Ⅱb			2
ドイツ文学特殊研究Ⅲa			2
ドイツ文学特殊研究Ⅲb			2
ドイツ文学特殊研究Ⅳa			2
ドイツ文学特殊研究Ⅳb			2
ドイツ文学特殊研究Ⅴa			2
ドイツ文学特殊研究Ⅴb			2
ドイツ文学特殊研究Ⅵa			2
ドイツ文学特殊研究Ⅵb			2
<文化研究系列>			
ドイツ文化特殊研究Ⅰa			2
ドイツ文化特殊研究Ⅰb			2
ドイツ文化特殊研究Ⅱa			2
ドイツ文化特殊研究Ⅱb			2
ドイツ文化特殊研究Ⅲa			2
ドイツ文化特殊研究Ⅲb			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
<言語研究系列>			
(他) ドイツ語統語論1 ※注1			2
(他) ドイツ語統語論2 ※注1			2
(他) ドイツ語文体論1 ※注1			2
(他) ドイツ語文体論2 ※注1			2
(他) ドイツ語音声学・音韻論1 ※注1,注2			2
(他) ドイツ語音声学・音韻論2 ※注1,注2			2
(他) ドイツ語教育1 ※注1			2
(他) ドイツ語教育2 ※注1			2
(他) ドイツ語意味論1 ※注1			2
(他) ドイツ語意味論2 ※注1			2

※注1 言語学専攻開講科目。詳細はp. 205～p. 206参照。

※注2 2018年度に「ドイツ語音韻論1」「ドイツ語音韻論2」から科目名変更

3. 履修上の注意

- 1) 後期課程の学生は、指導教員の「研究指導」を在学中毎学期受けること。研究指導の具体的な内容については、学年始めのガイダンスにおいて資料を配付の上、説明を行う。なお、2017年次生以降の学生については、必要な合格科目数も定められている。1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件を参照すること。
- 2) 指導教員開講科目は必ず履修すること。
- 3) 指導教員以外の開講科目より4科目8単位は履修すること。
- 4) 博士論文を作成し、提出したい者は、「ドイツ文学専攻博士学位授与に関する内規」に従って所定の手続きをとること。
- 5) 博士論文を提出せずに満期退学する場合も、在籍中の研究成果を論文、もしくは論文に準ずる形で提出しなければならない。

4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他): 他専攻教員 *: 非常勤教員	外国語	備考
DHGL7500	休講	ドイツ文学特殊研究Ⅰa	GLT801-26j00	2			
DHGL7501	休講	ドイツ文学特殊研究Ⅰb	GLT802-26j00	2			
DHGL7502	春	ドイツ文学特殊研究Ⅱa	GLT803-26g00	2	ZEMSAUER Christian	○	博士前期課程「ドイツ文学研究Ⅱa」と合併
DHGL7503	秋	ドイツ文学特殊研究Ⅱb	GLT804-26g00	2	ZEMSAUER Christian	○	博士前期課程「ドイツ文学研究Ⅱb」と合併
DHGL7504	春	ドイツ文学特殊研究Ⅲa	GLT805-26j00	2	佐藤 朋之		博士前期課程「ドイツ文学研究Ⅲa」と合併
DHGL7505	秋	ドイツ文学特殊研究Ⅲb	GLT806-26j00	2	佐藤 朋之		博士前期課程「ドイツ文学研究Ⅲb」と合併
DHGL7506	休講	ドイツ文学特殊研究Ⅳa	GLT807-26j00	2			
DHGL7507	春	ドイツ文学特殊研究Ⅳb	GLT808-26g00	2	*PEKAR Thomas	○	博士前期課程「ドイツ文学研究Ⅳb」と合併
DHGL7508	春	ドイツ文学特殊研究Ⅴa	GLT809-26j00	2	*高橋 明彦		博士前期課程「ドイツ文学研究Ⅴa」と合併
DHGL7509	春	ドイツ文学特殊研究Ⅴb	GLT810-26j00	2	*北島 玲子		博士前期課程「ドイツ文学研究Ⅴb」と合併
DHGL7510	休講	ドイツ文学特殊研究Ⅵa	GLT811-26j00	2			
DHGL7511	秋	ドイツ文学特殊研究Ⅵb	GLT812-26j00	2	中村 朝子		博士前期課程「ドイツ文学研究Ⅵb」と合併
DHGL7700	休講	ドイツ文化特殊研究Ⅰa	GLT813-26j00	2			
DHGL7701	春	ドイツ文化特殊研究Ⅰb	GLT814-26j00	2	DUPPEL Mechthild	○	博士前期課程「ドイツ文化研究Ⅰb」と合併
DHGL7702	休講	ドイツ文化特殊研究Ⅱa	GLT815-26g00	2			
DHGL7703	秋	ドイツ文化特殊研究Ⅱb	GLT816-26g00	2	DUPPEL Mechthild	○	博士前期課程「ドイツ文化研究Ⅱb」と合併
DHGL7704	春	ドイツ文化特殊研究Ⅲa	GLT817-26j00	2	*佐藤 直樹		博士前期課程「ドイツ文化研究Ⅲa」と合併
DHGL7705	休講	ドイツ文化特殊研究Ⅲb	GLT818-26j00	2			

5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
GLT899-26m00	中村 朝子	
	佐藤 朋之	
	DUPPEL Mechthild	
	中井 真之	
	ZEMSAUER Christian	
	小松原 由理	休講

フランス文学専攻 博士前期課程

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

【17年次生以降】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考 (上限, その他)
総単位数	30		
授業科目			
▶ 選択科目	30		
└ 自専攻科目			
└ A 群	24		
└ B 群			
└ 自研究科他専攻科目			
└ 委託聴講科目			10単位まで修了に必要な単位として認められる ※ただし, 国連大学委託聴講科目は認められない
研究指導 (必修)		4	単位なし, 在学中毎学期登録される 4科目以上合格すること
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること)

【16年次生】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考 (上限, その他)
総単位数	30		
授業科目			
▶ 選択科目	30		
└ 自専攻科目			
└ A 群	24		
└ B 群			
└ 自研究科他専攻科目			
└ 委託聴講科目			10単位まで修了に必要な単位として認められる ※ただし, 国連大学委託聴講科目は認められない
研究指導 (必修)			単位なし, 在学中毎学期登録される
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること)

【研究指導スケジュール】

事項	期日	対象	備考
年次計画書の提出	4月末まで	M1, M2	毎年度提出すること
研究報告書の提出	2月末まで	M1, M2	毎年度提出すること
修士論文計画書の提出	5月上旬	M2	修士論文提出年度に提出
修士論文中間発表会	10月上旬	M2	修士論文提出年度に実施
修士論文の履修登録	9月下旬 ～10月上旬	M2	履修登録期間中に各自で履修登録を行うこと

事項	期日	対象	備考
修士論文の提出	1月中旬	M2	
論文審査・口述試験	2月中旬	M2	

※書式や提出期限に係る詳細は、4月実施の専攻ガイダンスで配布するマニュアルを参照のこと。

※9月修了希望者は、上記に係る期日を別途指定するため、履修登録前に必ず指導教員に連絡をとり、スケジュール等詳細について確認すること。

【修士論文審査基準】

- 1) 研究の内容に社会的・学術的意義が認められるものであること。
- 2) 研究テーマが明確で、問題設定が適切なものであること。
- 3) 先行研究が十分に参照され、引用が適切に明記されていること。
- 4) 論文の構成が的確になされ、論理の展開が明晰であること。
- 5) 論文の言語表現が正しく、目次と本文に整合性があること。
(論文のあり方全般や規格については、ガイダンスの時に配布するマニュアルを参照のこと。)

2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
< A群 >			
19世紀小説研究 I			2
19世紀小説研究 II			2
モデルニテ研究 I			2
モデルニテ研究 II			2
20世紀文学研究 I			2
20世紀文学研究 II			2
古典主義文学研究 I			2
古典主義文学研究 II			2
キリスト教文学研究 I			2
キリスト教文学研究 II			2
自伝文学研究 I			2
自伝文学研究 II			2
アンシャン・レジーム文学研究 I			2
アンシャン・レジーム文学研究 II			2
専門文献研究 A I			2
専門文献研究 A II			2
専門文献研究 B I			2
専門文献研究 B II			2

科目名 ※(他)：他専攻開講科目	単位数		
	必修	選必	選択
専門文献研究 C I			2
専門文献研究 C II			2
専門文献研究 D I			2
専門文献研究 D II			2
(他) 翻訳文化研究 II A [17年次生以前] ※注1			2
(他) 翻訳文化研究 II B [17年次生以前] ※注1			2
< B群 >			
フランス語小論文作成法			2
(他) フランス語文法論1 ※注2			2
(他) フランス語文法論2 ※注2			2
(他) フランス語音声学1 ※注2			2
(他) フランス語音声学2 ※注2			2

※注1：文化交渉学専攻開講科目。詳細はp. 90参照。

18年次生より借り入れを中止する。

※注2：言語学専攻開講科目。詳細はp. 205～p. 206参照。

3. 履修上の注意

- 1) 指導教員の「研究指導」を在学中毎学期受けること。なお、2017年次生以降の学生については、必要な合格科目数も定められている。1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件を参照すること。
- 2) A群より24単位履修すること。
- 3) A群・B群いずれの科目も、繰り返し履修することが可能である。
- 4) 委託聴講科目の単位はA群科目として認定する。
- 5) 4月初旬のガイダンスにおいて配布される「フランス文学専攻マニュアル」を参照のこと。

4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	外国語	備考
MHFL7090	春	古典主義文学研究 I	FL7501-27m00	2	小倉博孝		
MHFL7110	春	自伝文学研究 I	FL7503-27f00	2	PEYRON Bruno	○	
MHFL7330	春	19世紀小説研究 II	FL7508-27m00	2	(他)博多かおる		
MHFL7350	春	モデルニテ研究 II	FL7510-27m00	2	吉村和明		
MHFL7360	春	20世紀文学研究 I	FL7511-27m00	2	永井敦子		
MHFL7380	春	専門文献研究 A I	FL7513-27m00	2	*シモン=及川 マリアンス	○	
MHFL7450	春	専門文献研究 D II	FL7520-27m00	2	*大森晋輔		
MHFL7100	秋	古典主義文学研究 II	FL7502-27m00	2	小倉博孝		
MHFL7370	秋	20世紀文学研究 II	FL7512-27m00	2	永井敦子		
MHFL7390	秋	専門文献研究 A II	FL7514-27m00	2	*桑田光平		
MHFL7400	秋	専門文献研究 B I	FL7515-27m00	2	*小黒昌文		
MHFL7430	秋	専門文献研究 C II	FL7518-27m00	2	*澤田肇		
MHFL7490	秋	キリスト教文学研究 II	FL7523-27m00	2	福田耕介		
MHFL9300	秋	修士論文	FL7699-27m00	0	フランス文学 専攻各指導教員		M2対象
MHFL7120	休講	自伝文学研究 II	FL7504-27f00	2		○	
MHFL7150	休講	アンシャン・レジーム文学研究 I	FL7505-27f00	2		○	
MHFL7160	休講	アンシャン・レジーム文学研究 II	FL7506-27f00	2		○	
MHFL7320	休講	19世紀小説研究 I	FL7507-27m00	2			
MHFL7340	休講	モデルニテ研究 I	FL7509-27m00	2			
MHFL7410	休講	専門文献研究 B II	FL7516-27m00	2			
MHFL7420	休講	専門文献研究 C I	FL7517-27m00	2			
MHFL7440	休講	専門文献研究 D I	FL7519-27m00	2			
MHFL7460	休講	フランス語小論文作成法	FL7521-27f00	2		○	
MHFL7480	休講	キリスト教文学研究 I	FL7522-27m00	2			

5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
FL7599-27m00	吉村和明	
	永井敦子	
	小倉博孝	
	福田耕介	
	DESPREZ Michaël	休講
	PEYRON Bruno	

フランス文学専攻 博士後期課程

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

【17年次生以降】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	6		
↳ 選択科目	6		
↳ 自専攻科目			
研究指導（必修）		6	単位なし, 在学中毎学期登録される 6科目以上合格すること
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に 合格すること

【12～14年次生】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数			
研究指導（必修）			単位なし, 在学中毎学期登録される
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に 合格すること

【研究指導スケジュール】

事項	期日	対象	備考
年次計画書の提出	4月末まで	D1, D2, D3	毎年度提出すること
研究報告書の提出	2月末まで	D1, D2, D3	毎年度提出すること
博士論文計画書の提出	7月上旬	D1	
博士論文中間発表会	7, 12月中旬	D1, D2, D3	
博士論文審査の申請	論文提出年度の 6月末まで	D3	
博士論文の提出	審査半年前まで	D3	指導教員と相談の上
論文審査・口述試験		D3	指導教員と相談の上

※書式や提出期限に係る詳細は, 4月実施の専攻ガイダンスで配布するマニュアルを参照のこと。

【博士論文審査基準】

- 1) 研究の内容に社会的・学術的意義が認められるものであること。
- 2) 研究テーマが明確で, 問題設定が適切なものであること。
- 3) 先行研究が十分に参照され, 引用が適切に明記されていること。
- 4) 論文の構成が的確になされ, 論理の展開が明晰であること。
- 5) 論文の言語表現が正しく, 目次と本文に整合性があること。
- 6) 研究分野における先端的成果とみなされるものであること。
(論文のあり方全般や規格については, ガイダンスの時に配布するマニュアルを参照のこと。)

2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
19世紀小説特殊研究Ⅰ			2
19世紀小説特殊研究Ⅱ			2
モデルニテ特殊研究Ⅰ			2
モデルニテ特殊研究Ⅱ			2
20世紀文学特殊研究Ⅰ			2
20世紀文学特殊研究Ⅱ			2
古典主義文学特殊研究Ⅰ			2

科目名 ※(他)：他専攻開講科目	単位数		
	必修	選必	選択
古典主義文学特殊研究Ⅱ			2
キリスト教文学特殊研究Ⅰ			2
キリスト教文学特殊研究Ⅱ			2
自伝文学特殊研究Ⅰ			2
自伝文学特殊研究Ⅱ			2
アンシャン・レジーム文学特殊研究Ⅰ			2
アンシャン・レジーム文学特殊研究Ⅱ			2

3. 履修上の注意

- 1) 17年次生以降の学生は、後期課程在籍中に開講科目の中から最低6単位を修得すること。
- 2) 「研究指導」を在学中毎学期受けること。なお、2017年次生以降の学生については、必要な合格科目数も定められている。1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件を参照すること。
- 3) 4月初旬のガイダンスにおいて配布される「フランス文学専攻マニュアル」を参照のこと。

4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	外国語	備考
DHFL7010	春	古典主義文学特殊研究Ⅰ	FLT801-27m00	2	小倉博孝		
DHFL7030	春	自伝文学特殊研究Ⅰ	FLT803-27f00	2	PEYRON Bruno	○	
DHFL7080	春	19世紀小説特殊研究Ⅱ	FLT808-27m00	2	(他)博多かおる		
DHFL7100	春	モデルニテ特殊研究Ⅱ	FLT810-27m00	2	吉村和明		
DHFL7110	春	20世紀文学特殊研究Ⅰ	FLT811-27m00	2	永井敦子		
DHFL7020	秋	古典主義文学特殊研究Ⅱ	FLT802-27m00	2	小倉博孝		
DHFL7120	秋	20世紀文学特殊研究Ⅱ	FLT812-27m00	2	永井敦子		
DHFL7140	秋	キリスト教文学特殊研究Ⅱ	FLT814-27m00	2	福田耕介		
DHFL7040	休講	自伝文学特殊研究Ⅱ	FLT804-27f00	2			
DHFL7050	休講	アンシャン・レジーム文学特殊研究Ⅰ	FLT805-27f00	2		○	
DHFL7060	休講	アンシャン・レジーム文学特殊研究Ⅱ	FLT806-27f00	2		○	
DHFL7070	休講	19世紀小説特殊研究Ⅰ	FLT807-27m00	2			
DHFL7090	休講	モデルニテ特殊研究Ⅰ	FLT809-27m00	2			
DHFL7130	休講	キリスト教文学特殊研究Ⅰ	FLT813-27m00	2			

5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
FLT899-27m00	吉村和明	
	永井敦子	
	小倉博孝	
	福田耕介	
	DESPREZ Michaël	休講
	PEYRON Bruno	

新聞学専攻 博士前期課程

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

【17年次生以降】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	30		
授業科目			
・必修科目	20		
└コミュニケーション論特講Ⅰ・Ⅱ	各2		
└ジャーナリズム史特講Ⅰ・Ⅱ	各2		
└マス・メディア論特講Ⅰ・Ⅱ	各2		
└論文演習Ⅰa	2		
└論文演習Ⅰb	2		
└論文演習Ⅱa	2		
└論文演習Ⅱb	2		
・選択科目	10		
└自専攻科目			
└自研究科他専攻			
└委託聴講科目			10単位まで修了に必要な単位として認められる（履修要覧 [ガイド・資料編] P.67参照）
研究指導（必修）		4	単位なし, 在学中毎学期登録される 4科目以上合格すること
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に合格 すること（修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士 論文登録をすること）

【16年次生】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	30		
授業科目			
・必修科目	20		
└コミュニケーション論特講Ⅰ・Ⅱ	各2		
└ジャーナリズム史特講Ⅰ・Ⅱ	各2		
└マス・メディア論特講Ⅰ・Ⅱ	各2		
└論文演習Ⅰa	2		
└論文演習Ⅰb	2		
└論文演習Ⅱa	2		
└論文演習Ⅱb	2		
・選択科目	10		
└自専攻科目			
└自研究科他専攻			
└委託聴講科目			10単位まで修了に必要な単位として認められる（履修要覧 [ガイド・資料編] P.67参照）
研究指導（必修）			単位なし, 在学中毎学期登録される
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に合格 すること（修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士 論文登録をすること）

【研究指導スケジュール】

	期日	対象	備考
博士前期課程研究計画書の提出	5月上旬	M1	
修士論文計画書の提出	5月上旬	M2	修士論文を提出する年度に提出すること。
修士論文中間発表会	9月下旬～10 月中旬	M2	修士論文を提出する年度に実施する。
修士論文の履修登録	9月下旬～10 月上旬	M2	履修登録期間中に履修登録を行うこと。
修士論文の提出	1月中旬	M2	
論文審査・口述試験	2月中旬	M2	

【修士論文審査基準】

- 1) 問題意識が明確で、テーマが十分に絞り込まれていること。
- 2) 先行研究が十分に参照され、引用が的確になされていること。
- 3) 研究目的に照らして、研究のデザイン・分析方法等が適切であること。
- 4) 論文構成が的確で、論理展開に整合性・一貫性があること。
- 5) 論文の言語表現が的確で正しく、目次・注釈等に関する体裁が整っていること。
- 6) 得られた知見にオリジナリティがあり、新聞学の研究に寄与するものであること。

2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
コミュニケーション論特講Ⅰ	2		
コミュニケーション論特講Ⅱ	2		
コミュニケーション論演習			2
ジャーナリズム史特講Ⅰ	2		
ジャーナリズム史特講Ⅱ	2		
ジャーナリズム史演習			2
マス・メディア論特講Ⅰ	2		
マス・メディア論特講Ⅱ	2		
マス・メディア論演習			2
新聞論特講Ⅰ			2
新聞論特講Ⅱ			2
放送論特講Ⅰ			2
放送論特講Ⅱ			2
広告論特講Ⅰ			2
広告論特講Ⅱ			2
広報論特講Ⅰ			2
広報論特講Ⅱ			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
マス・コミュニケーション法制特講Ⅰ			2
マス・コミュニケーション法制特講Ⅱ			2
米州のマス・メディア論特講Ⅰ			2
米州のマス・メディア論特講Ⅱ			2
国際コミュニケーション論特講Ⅰ			2
国際コミュニケーション論特講Ⅱ			2
情報科学論特講Ⅰ			2
情報科学論特講Ⅱ			2
マス・コミュニケーション調査特講Ⅰ			2
マス・コミュニケーション調査特講Ⅱ			2
論文演習Ⅰa	2		
論文演習Ⅰb	2		
論文演習Ⅱa	2		
論文演習Ⅱb	2		

3. 履修上の注意

- 1) 指導教員の「研究指導」を在学中毎学期受けること。なお、2017年次生以降の学生については、必要な合格科目数も定められている。1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件を参照すること。
- 2) 前期課程において修士論文を提出するに際しては、その概要書（A4横書・40字・35行で4枚程度）も併せて提出すること。
- 3) 必修及び選択科目「Ⅱ」の科目については、原則同一科目名の「Ⅰ」を履修していなければならない。

4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	外国語	備考
MHJN1000	春	コミュニケーション論特講Ⅰ	JRN520-28j00	2	渡邊久哲		後期課程「コミュニケーション論特殊研究Ⅰa」と合併
MHJN1040	春	ジャーナリズム史特講Ⅰ	JRN522-28j00	2	鈴木雄雅		後期課程「ジャーナリズム史特殊研究Ⅰ」と合併
MHJN1070	春	マス・メディア論特講Ⅰ	JRN524-28j00	2	音好宏		
MHJN1271	春	論文演習Ⅰa	JRN516-28j00	2	音好宏		M1(20年次生)対象,注1参照
MHJN1301	春	論文演習Ⅰa	JRN516-28j00	2	渡邊久哲		M1(20年次生)対象,注1参照
MHJN1311	春	論文演習Ⅰa	JRN516-28j00	2	阿部るり		M1(20年次生)対象,注1参照
MHJN1321	春	論文演習Ⅰa	JRN516-28j00	2	柴野京子		M1(20年次生)対象,注1参照
MHJN1341	春	論文演習Ⅰa	JRN516-28j00	2	水島宏明		M1(20年次生)対象,注1参照
MHJN1351	春	論文演習Ⅰa	JRN516-28j00	2	国枝智樹		M1(20年次生)対象,注1参照
MHJN2031	春	論文演習Ⅱa	JRN601-28j00	2	音好宏		M2(19年次生)対象,注1参照
MHJN2061	春	論文演習Ⅱa	JRN601-28j00	2	渡邊久哲		M2(19年次生)対象,注1参照
MHJN2071	春	論文演習Ⅱa	JRN601-28j00	2	阿部るり		M2(19年次生)対象,注1参照
MHJN2081	春	論文演習Ⅱa	JRN601-28j00	2	柴野京子		M2(19年次生)対象,注1参照
MHJN2101	春	論文演習Ⅱa	JRN601-28j00	2	水島宏明		M2(19年次生)対象,注1参照
MHJN2111	春	論文演習Ⅱa	JRN601-28j00	2	国枝智樹		M2(19年次生)対象,注1参照
MHJN7020	春	コミュニケーション論演習	JRN501-28e00	2	国枝智樹	○	
MHJN7101	春	マス・コミュニケーション法制特講Ⅰ	JRN526-28j00	2	*喜田村洋一		後期課程「マス・メディア論特殊研究Ⅱa」と合併
MHJN7111	春	米州のマス・メディア論特講Ⅰ	JRN514-28j00	2	*会田弘継		
MHJN7150	休講	新聞論特講Ⅰ	JRN504-28j00	2			後期課程「マス・メディア論特殊研究Ⅰa」と合併
MHJN7170	春	放送論特講Ⅰ	JRN506-28j00	2	水島宏明		
MHJN7190	春	国際コミュニケーション論特講Ⅰ	JRN508-28j00	2	阿部るり		
MHJN7210	春	情報科学論特講Ⅰ	JRN510-28j00	2	音好宏		
MHJN7230	春	マス・コミュニケーション調査特講Ⅰ	JRN512-28j00	2	渡邊久哲		
MHJN7250	春	広報論特講Ⅰ	JRN528-28j00	2	国枝智樹		
MHJN9211	春	修士論文	JRN699-28j00	0	新聞学専攻各指導教員		M2対象 ※9月修了希望者のみ登録可
MHJN1020	秋	コミュニケーション論特講Ⅱ	JRN521-28j00	2	渡邊久哲		後期課程「コミュニケーション論特殊研究Ⅰb」と合併
MHJN1060	秋	ジャーナリズム史特講Ⅱ	JRN523-28j00	2	鈴木雄雅		後期課程「ジャーナリズム史特殊研究Ⅱ」と合併
MHJN1080	秋	マス・メディア論特講Ⅱ	JRN525-28j00	2	音好宏		
MHJN1272	秋	論文演習Ⅰb	JRN517-28j00	2	音好宏		M1(20年次生)対象,注1参照
MHJN1302	秋	論文演習Ⅰb	JRN517-28j00	2	渡邊久哲		M1(20年次生)対象,注1参照
MHJN1312	秋	論文演習Ⅰb	JRN517-28j00	2	阿部るり		M1(20年次生)対象,注1参照
MHJN1322	秋	論文演習Ⅰb	JRN517-28j00	2	柴野京子		M1(20年次生)対象,注1参照
MHJN1342	秋	論文演習Ⅰb	JRN517-28j00	2	水島宏明		M1(20年次生)対象,注1参照
MHJN1352	秋	論文演習Ⅰb	JRN517-28j00	2	国枝智樹		M1(20年次生)対象,注1参照
MHJN2032	秋	論文演習Ⅱb	JRN602-28j00	2	音好宏		M2(19年次生)対象,注1参照
MHJN2062	秋	論文演習Ⅱb	JRN602-28j00	2	渡邊久哲		M2(19年次生)対象,注1参照
MHJN2072	秋	論文演習Ⅱb	JRN602-28j00	2	阿部るり		M2(19年次生)対象,注1参照
MHJN2082	秋	論文演習Ⅱb	JRN602-28j00	2	柴野京子		M2(19年次生)対象,注1参照
MHJN2102	秋	論文演習Ⅱb	JRN602-28j00	2	水島宏明		M2(19年次生)対象,注1参照
MHJN2112	秋	論文演習Ⅱb	JRN602-28j00	2	国枝智樹		M2(19年次生)対象,注1参照
MHJN7060	秋	マス・メディア論演習	JRN503-28j00	2	柴野京子		
MHJN7102	秋	マス・コミュニケーション法制特講Ⅱ	JRN527-28j00	2	*喜田村洋一		後期課程「マス・メディア論特殊研究Ⅱb」と合併
MHJN7112	秋	米州のマス・メディア論特講Ⅱ	JRN515-28j00	2	*会田弘継		

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	外国語	備考
MHJN7160	休講	新聞論特講Ⅱ	JRN505-28j00	2			後期課程「マス・メディア論特殊研究Ⅰb」と合併
MHJN7180	秋	放送論特講Ⅱ	JRN507-28j00	2	水島宏明		
MHJN7200	秋	国際コミュニケーション論特講Ⅱ	JRN509-28j00	2	阿部るり		
MHJN7220	秋	情報科学論特講Ⅱ	JRN511-28j00	2	音好宏		
MHJN7240	秋	マス・コミュニケーション調査特講Ⅱ	JRN513-28j00	2	渡邊久哲		
MHJN7260	秋	広報論特講Ⅱ	JRN529-28e00	2	国枝智樹	○	
MHJN9210	秋	修士論文	JRN699-28j00	0	新聞学専攻各指導教員		M2対象
MHJN7040	春	ジャーナリズム史演習	JRN502-28j00	2	音好宏		
MHJN7050	春	広告論特講Ⅰ	JRN518-28j00	2	渡邊久哲		
MHJN7070	秋	広告論特講Ⅱ	JRN519-28j00	2	渡邊久哲		

注1：論文演習については以下の通り合同で行う(合併科目)

前期課程「論文演習Ⅰa」，「論文演習Ⅱa」／後期課程「論文演習Ⅰa」，「論文演習Ⅱa」，「論文演習Ⅲa」

前期課程「論文演習Ⅰb」，「論文演習Ⅱb」／後期課程「論文演習Ⅰb」，「論文演習Ⅱb」，「論文演習Ⅲb」

5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
JRN599-28j00	音好宏	
	渡邊久哲	
	水島宏明	
	阿部るり	
	柴野京子	
	国枝智樹	

新聞学専攻 博士後期課程

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

【17年次生以降】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	12		
授業科目			
・必修科目	12		
└論文演習Ⅰa	2		
└論文演習Ⅰb	2		
└論文演習Ⅱa	2		
└論文演習Ⅱb	2		
└論文演習Ⅲa	2		
└論文演習Ⅲb	2		
研究指導（必修）		6	単位なし, 在学中毎学期登録される 6科目以上合格すること
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に 合格すること

【14～16年次生】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	12		
授業科目			
・必修科目	12		
└論文演習Ⅰa	2		
└論文演習Ⅰb	2		
└論文演習Ⅱa	2		
└論文演習Ⅱb	2		
└論文演習Ⅲa	2		
└論文演習Ⅲb	2		
研究指導（必修）			単位なし, 在学中毎学期登録される
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に 合格すること

【研究指導スケジュール】

事項	期日	対象	備考
博士後期課程必要単位の履修	4月以降	D1以上	
博士後期課程研究計画書の提出	5月上旬	D1以上	
博士論文計画書の提出	5月上旬	D1以上	
博士論文提出資格試験		D3以上	専攻に申請後, 専攻の許可に基づき実施。
博士論文の提出		D3以上	
博士論文審査・口述試験		D3以上	博士論文提出後, 半年以内に実施。

【博士論文審査基準】

- 1) 問題意識が明確で、テーマが十分に絞り込まれていること。
- 2) 先行研究を十分に検討・吟味し、引用が的確になされていること。
- 3) 研究目的に照らして、研究のデザイン・分析方法等が適切であること。
- 4) 論文構成が的確で、論理展開に整合性・一貫性があること。
- 5) 論文の言語表現が的確で正しく、目次・注釈等に関する体裁が整っていること。
- 6) 得られた知見にオリジナリティがあり、新聞学の研究に寄与するものであること。
- 7) 執筆者に今後研究者として自立して研究を遂行していく能力があることを示すものであること。

2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
コミュニケーション論特殊研究Ⅰa			2
コミュニケーション論特殊研究Ⅰb			2
コミュニケーション論特殊研究Ⅱa			2
コミュニケーション論特殊研究Ⅱb			2
コミュニケーション論特殊研究演習Ⅰ			2
コミュニケーション論特殊研究演習Ⅱ			2
ジャーナリズム史特殊研究Ⅰ			2
ジャーナリズム史特殊研究Ⅱ			2
ジャーナリズム史特殊研究演習Ⅰa			2
ジャーナリズム史特殊研究演習Ⅰb			2
マス・メディア論特殊研究Ⅰa			2
マス・メディア論特殊研究Ⅰb			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
マス・メディア論特殊研究Ⅱa			2
マス・メディア論特殊研究Ⅱb			2
マス・メディア論特殊研究演習Ⅰ			2
マス・メディア論特殊研究演習Ⅱ			2
論文演習Ⅰa	2		
論文演習Ⅰb	2		
論文演習Ⅱa	2		
論文演習Ⅱb	2		
論文演習Ⅲa	2		
論文演習Ⅲb	2		

3. 履修上の注意

- 1) 後期課程論文演習は半期ごとに2単位、3年間で計12単位を履修すること。
- 2) 指導教員の「研究指導」を在学中毎学期受けること。なお、2017年次生以降の学生については、必要な合格科目数も定められている。1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件を参照すること。
- 3) 博士論文執筆にあたっては専攻規定（2011年4月1日改訂）を参照のこと。なお、学位論文未提出にて満期退学する場合も、研究成果（修士論文レベル）を提出し、指導教員ならびに専攻の承認を得なければならない。

4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	外国語	備考
DHJN3010	春	コミュニケーション論特殊研究Ⅰa	JRN807-28j00	2	渡邊久哲		前期課程「コミュニケーション論特講Ⅰ」と合併
DHJN3231	春	論文演習Ⅰa	JRN801-28j00	2	音好宏		D1(20年次生)対象、注1参照
DHJN3261	春	論文演習Ⅰa	JRN801-28j00	2	渡邊久哲		D1(20年次生)対象、注1参照
DHJN3271	春	論文演習Ⅰa	JRN801-28j00	2	水島宏明		D1(20年次生)対象、注1参照
DHJN3251	春	論文演習Ⅰa	JRN801-28j00	2	柴野京子		D1(20年次生)対象、注1参照
DHJN4031	春	論文演習Ⅱa	JRN803-28j00	2	音好宏		D2(19年次生)対象、注1参照
DHJN4061	春	論文演習Ⅱa	JRN803-28j00	2	渡邊久哲		D2(19年次生)対象、注1参照
DHJN4071	春	論文演習Ⅱa	JRN803-28j00	2	水島宏明		D2(19年次生)対象、注1参照
DHJN4051	春	論文演習Ⅱa	JRN803-28j00	2	柴野京子		D2(19年次生)対象、注1参照
DHJN5031	春	論文演習Ⅲa	JRN805-28j00	2	音好宏		D3(18年次生)対象、注1参照
DHJN5061	春	論文演習Ⅲa	JRN805-28j00	2	渡邊久哲		D3(18年次生)対象、注1参照

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	外国語	備考
DHJN5071	春	論文演習Ⅲa	JRN805-28j00	2	水島 宏明		D3(18年次生)対象,注1参照
DHJN5051	春	論文演習Ⅲa	JRN805-28j00	2	柴野 京子		D3(18年次生)対象,注1参照
DHJN7020	春	コミュニケーション論特殊研究Ⅱa	JRN809-28j00	2	渡邊 久哲		
DHJN7030	春	コミュニケーション論特殊研究演習Ⅰ	JRN811-28j00	2	音 好宏		
DHJN7040	春	ジャーナリズム史特殊研究Ⅰ	JRN813-28j00	2	鈴木 雄雅		前期課程「ジャーナリズム史特講Ⅰ」と合併
DHJN7060	休講	マス・メディア論特殊研究Ⅰa	JRN817-28j00	2			前期課程「新聞論特講Ⅰ」と合併
DHJN7070	春	マス・メディア論特殊研究Ⅱa	JRN819-28j00	2	*喜田村 洋一		前期課程「マス・コミュニケーション法制特講Ⅰ」と合併
DHJN7080	休講	マス・メディア論特殊研究演習Ⅰ	JRN821-28j00	2			
DHJN3011	秋	コミュニケーション論特殊研究Ⅰb	JRN808-28j00	2	渡邊 久哲		前期課程「コミュニケーション論特講Ⅱ」と合併
DHJN3232	秋	論文演習Ⅰb	JRN802-28j00	2	音 好宏		D1(20年次生)対象,注1参照
DHJN3262	秋	論文演習Ⅰb	JRN802-28j00	2	渡邊 久哲		D1(20年次生)対象,注1参照
DHJN3272	秋	論文演習Ⅰb	JRN802-28j00	2	水島 宏明		D1(20年次生)対象,注1参照
DHJN3252	秋	論文演習Ⅰb	JRN802-28j00	2	柴野 京子		D1(20年次生)対象,注1参照
DHJN4032	秋	論文演習Ⅱb	JRN804-28j00	2	音 好宏		D2(19年次生)対象,注1参照
DHJN4062	秋	論文演習Ⅱb	JRN804-28j00	2	渡邊 久哲		D2(19年次生)対象,注1参照
DHJN4072	秋	論文演習Ⅱb	JRN804-28j00	2	水島 宏明		D2(19年次生)対象,注1参照
DHJN4052	秋	論文演習Ⅱb	JRN804-28j00	2	柴野 京子		D2(19年次生)対象,注1参照
DHJN5032	秋	論文演習Ⅲb	JRN806-28j00	2	音 好宏		D3(18年次生)対象,注1参照
DHJN5062	秋	論文演習Ⅲb	JRN806-28j00	2	渡邊 久哲		D3(18年次生)対象,注1参照
DHJN5072	秋	論文演習Ⅲb	JRN806-28j00	2	水島 宏明		D3(18年次生)対象,注1参照
DHJN5052	秋	論文演習Ⅲb	JRN806-28j00	2	柴野 京子		D3(18年次生)対象,注1参照
DHJN7021	秋	コミュニケーション論特殊研究Ⅱb	JRN810-28j00	2	渡邊 久哲		
DHJN7031	秋	コミュニケーション論特殊研究演習Ⅱ	JRN812-28j00	2	音 好宏		
DHJN7041	秋	ジャーナリズム史特殊研究Ⅱ	JRN814-28j00	2	鈴木 雄雅		前期課程「ジャーナリズム史特講Ⅱ」と合併
DHJN7061	休講	マス・メディア論特殊研究Ⅰb	JRN818-28j00	2			前期課程「新聞論特講Ⅱ」と合併
DHJN7071	秋	マス・メディア論特殊研究Ⅱb	JRN820-28j00	2	*喜田村 洋一		前期課程「マス・コミュニケーション法制特講Ⅱ」と合併
DHJN7081	休講	マス・メディア論特殊研究演習Ⅱ	JRN822-28j00	2			
DHJN7050	春	ジャーナリズム史特殊研究演習Ⅰa	JRN815-28j00	2	音 好宏		
DHJN7051	秋	ジャーナリズム史特殊研究演習Ⅰb	JRN816-28j00	2	音 好宏		

注1：論文演習については以下の通り合同で行う(合併科目)

前期課程「論文演習Ⅰa」,「論文演習Ⅱa」／後期課程「論文演習Ⅰa」,「論文演習Ⅱa」,「論文演習Ⅲa」

前期課程「論文演習Ⅰb」,「論文演習Ⅱb」／後期課程「論文演習Ⅰb」,「論文演習Ⅱb」,「論文演習Ⅲb」

5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
JRN899-28j00	音 好宏	
	柴野 京子	
	渡邊 久哲	
	水島 宏明	

文化交渉学専攻 博士前期課程

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

【17年次生以降】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	30		
授業科目			
▶必修科目	4		
└論文作成法 I A	2		
└論文作成法 I B	2		
▶選択科目	26		
└自専攻科目			
└自研究科他専攻科目			
└委託聴講科目			国際連合大学との委託聴講科目（4単位まで）
研究指導（必修）		4	単位なし, 在学中毎学期登録される 4科目以上合格すること
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に 合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文 登録をすること)

【15～16年次生】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	30		
授業科目			
▶必修科目	4		
└論文作成法 I A	2		
└論文作成法 I B	2		
▶選択科目	26		
└自専攻科目			
└自研究科他専攻科目			
└委託聴講科目			国際連合大学との委託聴講科目（4単位まで）
研究指導（必修）			単位なし, 在学中毎学期登録される
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に 合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文 登録をすること)

【研究指導スケジュール】

4月の文化交渉学専攻ガイダンスで配付される「博士前期課程の研究スケジュール」および「修士論文の手引き」にて、詳細を確認すること。

【修士論文審査基準】

- 1) 明確な問題意識により課題設定がなされ、それにふさわしい方法論がとられていること。
- 2) 既存の研究成果を適確にふまえ、批判的に継承されていること。
- 3) 論文構成が適切で、論理展開に整合性と一貫性があること。
- 4) 考察および結論に独創性があり、専攻分野に対して、何らかの貢献が行われていること。
- 5) 全体として、専攻分野に関して、執筆者が十分な研究能力を有していることを証する論文であること。

2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
論文作成法ⅠA	2		
論文作成法ⅠB	2		
異文化研究特講ⅠA			2
異文化研究特講ⅠB			2
異文化研究特講ⅡA			2
異文化研究特講ⅡB			2
文化交渉学特講ⅠA			2
文化交渉学特講ⅠB			2
文化交渉学特講ⅡA			2
文化交渉学特講ⅡB			2
文化交渉学特講ⅢA			2
文化交渉学特講ⅢB			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
翻訳文化研究ⅠA			2
翻訳文化研究ⅠB			2
翻訳文化研究ⅡA			2
翻訳文化研究ⅡB			2
翻訳文化研究ⅢA			2
翻訳文化研究ⅢB			2
芸術文化研究ⅠA			2
芸術文化研究ⅠB			2
芸術文化研究ⅡA			2
芸術文化研究ⅡB			2
芸術文化研究ⅢA			2
芸術文化研究ⅢB			2

3. 履修上の注意

- 1) 「論文作成法ⅠA」および「論文作成法ⅠB」は必修科目なので、1年次に必ず履修すること。
- 2) 「研究指導」を在学中毎学期受けること。なお、2017年次生以降の学生については、必要な合格科目数も定められている。1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件を参照すること。
- 3) 学位規程、博士前期課程の研究スケジュール（4月初旬の専攻別ガイダンスで配布）に従って、修士論文を作成すること。また、毎年度4月に提出する研究計画書に基づき、各指導教員から個別に指導を受けること。

4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	外国語	備考
MHCU1010	春	論文作成法ⅠA	CU1501-30j00	2	笹川裕史		M1対象。自専攻のみ履修可
MHCU7010	春	異文化研究特講ⅠA	CU1503-30m00	2	CHEETHAM Dominic		
MHCU7030	春	異文化研究特講ⅡA	CU1505-30j00	2	*佐藤光		
MHCU7050	春	文化交渉学特講ⅠA	CU1507-30j00	2	(他)大橋容一郎		後期課程「文化交渉学特殊研究ⅠA」と合併
MHCU7070	春	文化交渉学特講ⅡA	CU1509-30j00	2	(他)原敬子		後期課程「文化交渉学特殊研究ⅡA」と合併
MHCU7090	春	文化交渉学特講ⅢA	CU1511-30j00	2	(他)福田耕介		後期課程「文化交渉学特殊研究ⅢA」と合併
MHCU7110	春	翻訳文化研究ⅠA	CU1513-30j00	2	三輪玲子		
MHCU7150	春	翻訳文化研究ⅢA	CU1517-30j00	2	(他)豊島正之		
MHCU7170	春	芸術文化研究ⅠA	CU1519-30j00	2	木村洋		
MHCU7190	春	芸術文化研究ⅡA	CU1521-30j00	2	*齊藤貴子		
MHCU7210	春	芸術文化研究ⅢA	CU1523-30j00	2	*川瀬佑介		
MHCU1020	秋	論文作成法ⅠB	CU1502-30j00	2	木村洋		M1対象。自専攻のみ履修可
MHCU7040	秋	異文化研究特講ⅡB	CU1506-30j00	2	*佐藤光		
MHCU7060	秋	文化交渉学特講ⅠB	CU1508-30j00	2	(他)大橋容一郎		後期課程「文化交渉学特殊研究ⅠB」と合併
MHCU7080	秋	文化交渉学特講ⅡB	CU1510-30j00	2	(他)原敬子		後期課程「文化交渉学特殊研究ⅡB」と合併
MHCU7100	秋	文化交渉学特講ⅢB	CU1512-30j00	2	笹川裕史		後期課程「文化交渉学特殊研究ⅢB」と合併
MHCU7120	秋	翻訳文化研究ⅠB	CU1514-30j00	2	三輪玲子		
MHCU7140	秋	翻訳文化研究ⅡB	CU1516-30j00	2	博多かおる		
MHCU7180	秋	芸術文化研究ⅠB	CU1520-30j00	2	(他)桑原俊介		
MHCU7200	秋	芸術文化研究ⅡB	CU1522-30j00	2	*齊藤貴子		
MHCU7220	秋	芸術文化研究ⅢB	CU1524-30j00	2	*鈴木啓子		
MHCU9010	秋	修士論文	CU1699-30j00	0	文化交渉学専攻各指導教員		M2対象
MHCU7020	休講	異文化研究特講ⅠB	CU1504-30m00	2			
MHCU7130	休講	翻訳文化研究ⅡA	CU1515-30j00	2			
MHCU7160	休講	翻訳文化研究ⅢB	CU1518-30j00	2			

5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
CU1599-30j00	笹川裕史	
	木村洋	
	CHEETHAM Dominic	
	三輪玲子	
	博多かおる	

文化交渉学専攻 博士後期課程

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

【18年次生以降】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	6		
↳ 選択科目	6		
↳ 自専攻科目			
研究指導（必修）		6	単位なし, 在学中毎学期登録される 6科目以上合格すること
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に 合格すること

【17年次生】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数			
研究指導（必修）		6	単位なし, 在学中毎学期登録される 6科目以上合格すること
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に 合格すること

【11～16年次生】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数			
研究指導（必修）			単位なし, 在学中毎学期登録される
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に 合格すること

【研究指導スケジュール】

4月の文化交渉学専攻ガイダンスで配付される「博士後期課程の研究スケジュール」にて, 詳細を確認すること。

【博士論文審査基準】

- 1) 明確な問題意識により課題設定がなされ, それにふさわしい方法論がとられていること。
- 2) 既存の研究成果を適確にふまえ, 批判的に継承されていること。
- 3) 論文構成が適切で, 論理展開に整合性と一貫性があること。
- 4) 独創的知見を有し, 専攻分野の学術的発展におおいに寄与するものであること。
- 5) 全体として, 専攻分野に関して, 執筆者が研究者として自立して研究活動を継続することのできる高度の研究能力, およびその基礎となる十分な学識を有することを証する内容の論文であること。

2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
文化交渉学特殊研究ⅠA			2
文化交渉学特殊研究ⅠB			2
文化交渉学特殊研究ⅡA			2
文化交渉学特殊研究ⅡB			2
文化交渉学特殊研究ⅢA			2
文化交渉学特殊研究ⅢB			2

3. 履修上の注意

- 1) 2018年次生以降は、後期課程在籍中に開講科目の中から最低6単位を修得すること。
- 2) 「研究指導」を在学中毎学期受けること。なお、2017年次生以降の学生については、必要な合格科目数も定められている。1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件を参照すること。
- 3) 学位規程、博士後期課程の研究スケジュール(4月初旬の専攻別ガイダンスで配布)に従って、研究に従事し、博士号の取得をめざすこと。また、毎年度4月に提出する研究計画書に基づき、各指導教員から個別に指導を受けること。

4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他):他専攻教員 *:非常勤教員	外国語	備考
DHCU7010	春	文化交渉学特殊研究ⅠA	CUI801-30j00	2	(他)大橋 容一郎		前期課程「文化交渉学特講ⅠA」と合併
DHCU7030	春	文化交渉学特殊研究ⅡA	CUI803-30j00	2	(他)原 敬子		前期課程「文化交渉学特講ⅡA」と合併
DHCU7050	春	文化交渉学特殊研究ⅢA	CUI805-30j00	2	(他)福田 耕介		前期課程「文化交渉学特講ⅢA」と合併
DHCU7020	秋	文化交渉学特殊研究ⅠB	CUI802-30j00	2	(他)大橋 容一郎		前期課程「文化交渉学特講ⅠB」と合併
DHCU7040	秋	文化交渉学特殊研究ⅡB	CUI804-30j00	2	(他)原 敬子		前期課程「文化交渉学特講ⅡB」と合併
DHCU7060	秋	文化交渉学特殊研究ⅢB	CUI806-30j00	2	笹川 裕史		前期課程「文化交渉学特講ⅢB」と合併

5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
CUI899-30j00	笹川 裕史	
	木村 洋	
	CHEETHAM Dominic	
	三輪 玲子	
	博多 かおる	

实践宗教学研究科

1. 実践宗教学研究科の教育研究上の目的及び人材養成の目的

現代社会の宗教的思想的基盤を研究するとともに、新たな取り組みが求められる現代の死生学的課題について、価値多元化社会における宗教の社会的役割、死生観及び生命倫理、臨床スピリチュアルケアの三視点から研究・教育を行う。また、スピリチュアリティを基盤にしたケアの実践的対応能力の修得を目指す。これらを通じて実践力のある研究者、臨床家、コミュニティケア人材、ケア指導者等を養成する。

2. 各専攻のディプロマ・ポリシー

死生学専攻

【博士前期課程】

本課程では、学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば、これらを身につけた者と認め、学位を授与します。

1. 「宗教の公共性」「死生観・生命倫理」「臨床スピリチュアルケア」のいずれかの学問分野における研究課題を理解することができ、基礎的研究に主体的に取り組む力
2. 現場における研究の実践的な意味や役割を理解する力
3. 論理的かつ学術的に構成された修士論文をとおして、実践的課題探求並びに学術に貢献する力

【博士後期課程】

本課程では、学生が修了時に身につけているべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば、これらを身につけた者と認め、学位を授与します。

1. 宗教学を核とする人文学の高度な専門知識もしくは学際的知識を基礎に、実践宗教学における独立した研究者として学術に貢献できる力
2. 研究対象となる実践現場の思想的宗教的基盤および社会背景に深い理解を持ち、実践的課題探求や後進の育成に教育者・実践者として貢献できる力
3. 高度な実践的課題探求並びに学術に貢献できる高い水準と独創性を備えた博士論文の完成

3. 各専攻のカリキュラム・ポリシー

死生学専攻

【博士前期課程】

本課程では、ディプロマ・ポリシーに沿って、以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. 必修科目「死生学研究法Ⅰ」「死生学研究法Ⅱ」を通して研究の基礎となる方法論や研究倫理を修得する。「宗教の公共性」「死生観・生命倫理」「臨床スピリチュアルケア」の3学群から、演習科目3科目（6単位）を選択必修科目として履修し、研究学問分野について研鑽を深める。さらに、選択科目を通して関連領域の学際的知識を深める。
2. 宗教・伝統・歴史・思想にかかわる人文社会科学の高度な学際的・専門的知識を深めると同時に、インターシッブ科目や実習科目の履修で死生学的課題の現場に直接参与する経験を通し、死生学的課題について実践的な問題理解力を修得させる。
3. 入学直後に指定される指導教員による、毎学期の「研究指導」科目における密接な研究指導のもと、適切な課題理解と研究方法に基づく修士論文を作成させる。

【博士後期課程】

本課程では、ディプロマ・ポリシーに沿って、以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. 「実践宗教学コロキウムⅠ」「実践宗教学コロキウムⅡ」を必修科目として配置し、学術研究に不可欠な建設的批判を行う能力と研究倫理を身につけ、研究基礎力を養う。
2. 学生の多様な目的意識と学問的関心に対応するため、複数の領域から自己選択できる特殊研究科目群を配置し、その履修を通じて研究分野について研鑽を深め、高度な死生学的課題に係る知識を身につける。ケア実践力強化を必要とする学生は、現場実習を含む科目の履修を通じて、臨床実践力・指導力を養う。
3. 個別の課題に応じた研究指導により研究応用力ならびに表現力を身に付け、研究計画審査を経て、研究者として求められる高度な専門性と独創性のある研究力ならびに教育者として求められる確かな教育能力を身につける。
4. 科目履修および研究指導をふまえ、予備論文の審査を経て、実践的視野を備えた独創的で主体的な研究計画のもと、博士論文の執筆をさせる。

死生学専攻 博士前期課程

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

【17年次生以降】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限, その他）
総単位数	30		
授業科目			
・必修科目	4		
└死生学研究法Ⅰ	2		
└死生学研究法Ⅱ	2		
・選択必修科目	6		19年次生以降 選択した1つの群から4単位および他の群から2単位修得することが望ましい 17・18年次生 選択した1つの群から4単位および他の群から2単位修得すること
└第1群			
└第2群			
└第3群			
・選択科目	20		
└自専攻科目			
└委託聴講科目			国際連合大学との委託聴講科目（4単位まで） 東洋英和女学院大学との委託聴講科目（4単位まで）
研究指導（必修）		4	単位なし, 在学中毎学期登録される 4科目以上合格すること
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および口述試験に合格すること（修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること）

【修士論文審査基準】

- 論文の課題設定の適切性
論文の課題の設定が明確であり, かつ, 当該領域の研究に学術的に寄与し得る独創性を有していること。
- 専門的知識の理解
当該領域にかかる専門的知識が十分に理解, 修得されていること。
- 先行研究の理解
当該領域にかかる先行研究を理解し, かつ, 先行研究が十分に参照・明記され, 引用が正確になされていること。
- 研究方法の適切性
研究テーマ及び研究目的に対して, 研究方法・分析方法が適切であること。
- 論文構成の適切性
論文構成が的確で, 論理展開に整合性, 一貫性があること。また, 論理展開に無駄や矛盾がないこと。
- 倫理的配慮
研究対象に対する適切な倫理的配慮を行っていること。また, 本学が定める研究倫理基準を満たしたものであること。
- 論文としての体裁, 形式上の適切性
章・節の構成が適切であり, 目次を見ることで全体の論旨が予想できること, 文章が明解で, 論旨が明確に理解可能であること。文献等の引用が適切であること。注記が適切であること。誤字や脱字が散見されないこと。

【研究指導スケジュール】 ※4月に実施する専攻ガイダンスで配付する「博士前期課程スケジュール」にて, 詳細を説明します。

事項	月日	対象	備考
研究計画概要書の提出	10月下旬	M1	
「人を対象とする研究」に関する倫理委員会へ審査申請	1月～3月	M1	必要に応じて申請
修士論文研究計画書の提出	5月中旬	M2	長期履修生であっても提出すること
修士論文の履修登録	9月下旬～10月上旬	M2	履修登録期間中に各自で履修登録を行う
修士論文提出	1月中旬	M2	
修士論文審査会	2月中旬	M2	
修士論文発表会	3月上旬～中旬	M2	M1も参加

2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
死生学研究法Ⅰ	2		
死生学研究法Ⅱ	2		
＜第1群＞			
宗教学演習		2	
宗教史演習		2	
宗教と社会演習		2	
＜第2群＞			
死生学演習		2	
生命倫理学演習		2	
医療人文学演習		2	
＜第3群＞			
臨床スピリチュアルケア演習		2	
生涯発達論演習		2	
＜選択科目＞			
宗教学研究			2
比較宗教学			2
宗教史研究Ⅰ			2
宗教史研究Ⅱ			2
宗教と社会研究			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
死生学研究			2
生命倫理学研究			2
臨床倫理学原論			2
臨床倫理学特論			2
実践宗教学研究Ⅰ			2
実践宗教学研究Ⅱ			2
臨床スピリチュアルケア研究			2
生涯発達論研究Ⅰ			2
生涯発達論研究Ⅱ			2
宗教と身体性			2
(他)キリスト教教育ゼミナールⅡ ※1			2
実践宗教学インターンシップAⅠ			1
実践宗教学インターンシップAⅡ			1
実践宗教学インターンシップBⅠ			1
実践宗教学インターンシップBⅡ			1
臨床スピリチュアルケア実習AⅠ			2
臨床スピリチュアルケア実習AⅡ			2
臨床スピリチュアルケア実習BⅠ			2
臨床スピリチュアルケア実習BⅡ			2

※1 神学専攻開講科目。詳細はp.14参照。

3. 履修上の注意

- 1) 博士前期課程の修了要件は、必修科目 4 単位を含む 30 単位以上を修得し、指導教員の指導のもとに修士論文を作成・提出することが必要である。
- 2) 指導教員の「研究指導」を在学中毎学期受けること。なお、必要な合格科目数も定められている。1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件を参照すること。
- 3) 19 年次生以降
 選択必修科目の必要単位数 6 単位については、3 つの群のうち選択した 1 つの群から 4 単位およびその他の群から 2 単位を修得することが望ましい。なお、選択必修科目を必要単位数を超えて修得した場合、選択科目の単位に充当することができる。
 17・18 年次生
 選択必修科目の必要単位数 6 単位については、3 つの群のうち選択した 1 つの群から 4 単位およびその他の群から 2 単位を修得すること。なお、選択必修科目を必要単位数を超えて修得した場合、選択科目の単位に充当することができる。
- 4) 博士前期課程の学生は、専任教員 1 名を指導教員として定め、所定の科目を履修するとともに、指導教員と密接に連絡し、修士論文や研究報告の作成を行うこと。

4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	外国語	備考
MARL1010	春	死生学研究法 I	RES501-35j00	2	島 菌 進 伊 藤 高 章		
MARL6010	春	宗教学演習	RES503-35j00	2	鎌 田 東 二		
MARL6030	春	宗教と社会演習	RES505-35j00	2	寺 尾 寿 芳		後期課程「宗教と社会特殊研究 I」と合併
MARL6110	春	死生学演習	RES506-35j00	2	島 菌 進		後期課程「死生学特殊研究 I」と合併
MARL6130	春	医療人文学演習	RES508-35j00	2	*加 藤 眞 三		
MARL6210	春	臨床スピリチュアルケア演習	RES509-35j00	2	伊 藤 高 章		後期課程「臨床スピリチュアルケア特殊研究 I」と合併
MARL7060	春	生命倫理学研究	RES515-35j00	2	浅 見 昇 吾		後期課程「生命倫理学特殊研究 II」と合併
MARL7070	春	臨床倫理学原論	RES516-35j00	2	(他)寺 田 俊 郎		前期課程哲学専攻「現代倫理学研究 I」及び後期課程哲学専攻「哲学特殊研究・現代倫理学 I」と合併
MARL7120	春	生涯発達論研究 I	RES521-35j00	2	武 田 なほみ		隔年開講、神学専攻「キリスト教教育 I」及び後期課程「生涯発達論特殊研究 II」と合併
MARL7131	春	宗教史研究 I	RES524-35e00	2	(他)DROTT Edward	○	隔年開講 前期課程グローバル社会専攻「RELIGION AND JAPANESE SOCIETY1」 後期課程グローバル社会専攻「ADVANCED STUDIES IN RELIGION AND JAPANESE SOCIETY1」と合併
MARL7132	春	宗教史研究 II	RES525-35e00	2	(他)DROTT Edward	○	隔年開講 前期課程グローバル社会専攻「RELIGION AND JAPANESE SOCIETY2」及び後期課程グローバル社会専攻「ADVANCED STUDIES IN RELIGION AND JAPANESE SOCIETY 2」と合併
MARL7400	春	実践宗教学インターンシップ A I	RES527-35j00	1	各 指 導 教 員		春学期集中, M1対象
MARL7420	春	実践宗教学インターンシップ B I	RES601-35j00	1	各 指 導 教 員		春学期集中, M2対象
MARL7540	集中	臨床スピリチュアルケア実習 A I	RES529-35j00	2	伊 藤 高 章		春学期集中, M1対象
MARL7560	集中	臨床スピリチュアルケア実習 B I	RES603-35j00	2	伊 藤 高 章		春学期集中, M2対象
MARL1020	秋	死生学研究法 II	RES502-35j00	2	島 菌 進 伊 藤 高 章		
MARL6020	秋	宗教史演習	RES504-35j00	2	(他)村 上 辰 雄		
MARL6120	秋	生命倫理学演習	RES507-35j00	2	浅 見 昇 吾		後期課程「生命倫理学特殊研究 I」と合併
MARL6220	秋	生涯発達論演習	RES510-35j00	2	武 田 なほみ		後期課程「生涯発達論特殊研究 I」と合併
MARL7010	秋	宗教学研究	RES511-35j00	2	鎌 田 東 二		
MARL7020	秋	比較宗教学	RES512-35j00	2	島 菌 進		哲学専攻「宗教思想研究」及び後期課程「実践宗教学特殊研究」と合併
MARL7040	秋	宗教と社会研究	RES513-35j00	2	寺 尾 寿 芳		後期課程「宗教と社会特殊研究 II」と合併
MARL7050	秋	死生学研究	RES514-35j00	2	島 菌 進		後期課程「死生学特殊研究 II」と合併
MARL7080	秋	臨床倫理学特論	RES517-35j00	2	(他)寺 田 俊 郎		前期課程哲学専攻「現代倫理学研究 II」及び後期課程哲学専攻「哲学特殊研究・現代倫理学 II」と合併
MARL7100	秋	実践宗教学研究 II	RES519-35j00	2	(他)角 田 佑 一		隔年開講、神学専攻「エキュメニズム II」と合併
MARL7110	秋	臨床スピリチュアルケア研究	RES520-35j00	2	伊 藤 高 章		後期課程「臨床スピリチュアルケア特殊研究 II」と合併
MARL7410	秋	実践宗教学インターンシップ A II	RES528-35j00	1	各 指 導 教 員		秋学期集中, M1対象
MARL7430	秋	実践宗教学インターンシップ B II	RES602-35j00	1	各 指 導 教 員		秋学期集中, M2対象
MARL7550	集中	臨床スピリチュアルケア実習 A II	RES530-35j00	2	伊 藤 高 章		秋学期集中, M1対象
MARL7570	集中	臨床スピリチュアルケア実習 B II	RES604-35j00	2	伊 藤 高 章		秋学期集中, M2対象
MARL7090	休講	実践宗教学研究 I	RES518-35j00	2			隔年開講、神学専攻「エキュメニズム I」と合併
MARL7130	休講	生涯発達論研究 II	RES522-35j00	2			隔年開講、神学専攻「パストラル・ケア特講」及び後期課程「生涯発達論特殊研究 III」と合併
MARL7150	休講	宗教と身体性	RES526-35j00	2			
MARL9010	秋	修士論文	RES699-35j00	0	死生学専攻各指導教員		M2対象

5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
RES599-35j00	島 菌 進	
	伊 藤 高 章	
	浅 見 昇 吾	
	鎌 田 東 二	
	武 田 なほみ	
	寺 尾 寿 芳	
	吉 田 美和子	休講

死生学専攻 博士後期課程

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

【18年次生以降】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	6		
授業科目			
・必修科目	2		
└実践宗教学コロキウムⅠ	1		
└実践宗教学コロキウムⅡ	1		
・選択科目	4		
└自専攻科目			
研究指導（必修）		6	単位なし, 在学中毎学期登録される 6科目以上合格すること
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験 に合格すること。博士論文の審査基準は別に定める。

【博士論文審査基準】

- 1) 論文の課題設定の適切性
論文の課題の設定が明確であり, かつ, 当該領域の研究に学術的に寄与し得る独創性並びに先端性を有していること。
- 2) 専門的知識の理解
当該領域にかかる専門的知識が十分に理解, 修得されていること。
- 3) 先行研究の理解
当該領域にかかる先行研究を広範囲に把握, かつ理解し, かつ, 先行研究が十分に参照・明記され, 引用が正確になされていること。
- 4) 研究方法の適切性
研究テーマ及び研究目的に対して, 研究方法・分析方法が適切であること。
- 5) 論文構成の適切性
論文構成が的確で, 論理展開に整合性, 一貫性があること。また, 論理展開に無駄や矛盾がないこと。
- 6) 倫理的配慮
研究対象に対する適切な倫理的配慮を行っていること。また, 本学が定める研究倫理基準を満たしたものであること。
- 7) 論文としての体裁, 形式上の適切性
章・節の構成が適切であり, 目次を見ることで全体の論旨が予想できること, 文章が明解で, 論旨が明確に理解可能であること。文献等の引用が適切であること。注記が適切であること。誤字や脱字が散見されないこと。
- 8) 学会での発表等
論文を構成する部分が, 専門学会での発表, または, 投稿論文などによる研究成果を踏まえていること。

【研究指導スケジュール】 ※4月に実施する専攻ガイダンスで配布する「博士後期課程スケジュール」にて, 詳細を説明します。

事項	月日	対象	備考
博士論文作成までのスケジュールの説明	4月上旬	D1	
研究課題・研究計画（案）に基づき, 研究指導教員を決定	5月	D1	
博士論文計画概要書の提出	10月	D1	
「人を対象とする研究」に関する倫理委員会へ審査申請	10月～3月	D1	必要に応じて申請
研究計画に基づき副指導教員を決定	5月～9月	D2	
予備論文の提出	10月～3月	D2	
博士論文提出	5月～9月	D3	
博士論文審査	10月～2月	D3	

2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
実践宗教学コロキウムⅠ	1		
実践宗教学コロキウムⅡ	1		
＜選択科目＞			
死生学特殊研究Ⅰ			2
死生学特殊研究Ⅱ			2
宗教と社会特殊研究Ⅰ			2
宗教と社会特殊研究Ⅱ			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
生命倫理学特殊研究Ⅰ			2
生命倫理学特殊研究Ⅱ			2
臨床スピリチュアルケア特殊研究Ⅰ			2
臨床スピリチュアルケア特殊研究Ⅱ			2
生涯発達論特殊研究Ⅰ			2
生涯発達論特殊研究Ⅱ			2
生涯発達論特殊研究Ⅲ			2
実践宗教学特殊研究			2

3. 履修上の注意

- 1) 博士後期課程の修了要件は、必修科目 2 単位を含む 6 単位以上を修得し、指導教員の指導のもとに博士論文を作成・提出することが必要である。
- 2) 指導教員の「研究指導」を在学中毎学期受けること。必要な合格科目数も定められているので、1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件を参照すること。
- 3) 博士後期課程の学生は、専任教員 1 名を指導教員として定め、所定の科目を履修するとともに、指導教員と密接に連絡し、博士論文や研究報告の作成を行うこと。

4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	外国語	備考
DARL1010	春	実践宗教学コロキウムⅠ	RES801-35j00	1	島 菌 進 伊 藤 高 章		輪講
DARL7010	春	死生学特殊研究Ⅰ	RES803-35j00	2	島 菌 進		前期課程「死生学演習」と合併
DARL7030	春	宗教と社会特殊研究Ⅰ	RES805-35j00	2	寺 尾 寿 芳		前期課程「宗教と社会演習」と合併
DARL7060	春	生命倫理学特殊研究Ⅱ	RES808-35j00	2	浅 見 昇 吾		前期課程「生命倫理学研究」と合併
DARL7070	春	臨床スピリチュアルケア特殊研究Ⅰ	RES809-35j00	2	伊 藤 高 章		前期課程「臨床スピリチュアルケア演習」と合併
DARL7100	春	生涯発達論特殊研究Ⅱ	RES812-35j00	2	武 田 なほみ		隔年開講、前期課程「生涯発達論研究Ⅰ」及び前期課程神学専攻「キリスト教教育Ⅰ」と合併
DARL1020	秋	実践宗教学コロキウムⅡ	RES802-35j00	1	島 菌 進 伊 藤 高 章		輪講
DARL7020	秋	死生学特殊研究Ⅱ	RES804-35j00	2	島 菌 進		前期課程「死生学研究」と合併
DARL7040	秋	宗教と社会特殊研究Ⅱ	RES806-35j00	2	寺 尾 寿 芳		前期課程「宗教と社会研究」と合併
DARL7050	秋	生命倫理学特殊研究Ⅰ	RES807-35j00	2	浅 見 昇 吾		前期課程「生命倫理学演習」と合併
DARL7080	秋	臨床スピリチュアルケア特殊研究Ⅱ	RES810-35j00	2	伊 藤 高 章		前期課程「臨床スピリチュアルケア研究」と合併
DARL7090	秋	生涯発達論特殊研究Ⅰ	RES811-35j00	2	武 田 なほみ		前期課程「生涯発達論演習」と合併
DARL7120	秋	実践宗教学特殊研究	RES814-35j00	2	島 菌 進		前期課程「比較宗教学」及び前期課程哲学専攻「宗教思想研究」と合併
DARL7110	休講	生涯発達論特殊研究Ⅲ	RES813-35j00	2			隔年開講、前期課程「生涯発達論研究Ⅱ」及び前期課程神学専攻「パストラル・ケア特講」と合併

5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
RES899-35j00	島 菌 進	
	伊 藤 高 章	
	浅 見 昇 吾	
	武 田 なほみ	
	寺 尾 寿 芳	
	塚 本 尚 子	

総合人間科学研究科

教育学専攻

心理学専攻

社会学専攻

社会福祉学専攻

看護学専攻

1. 総合人間科学研究科の教育研究上の目的及び人材養成の目的

人間の尊厳を基盤とし、科学の知、臨床の知、政策・運営の知にかかわる学際的教育・研究を行い、理論と実践・臨床を両輪として社会に貢献しうる人材を育成する。前期課程では、実践・臨床の場で活躍できる高度専門職業人及びこれらの場を視野にいたした研究者の養成を目指し、後期課程では、実践・臨床的知見を踏まえ学問的に貢献しうる人材育成を目指す。

2. 各専攻のディプロマ・ポリシー

教育学専攻

【博士前期課程】

本課程では、教育学の領域における幅広い学識と基礎的研究スキルを身につけ、人間の尊厳を守りつつ、教育を通じて現代社会の課題解決に取り組むことができる人材の養成を目的として、学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば、これらを身につけた者と認め、学位を授与します。

1. 社会の様々な事象についての情報収集力
2. 柔軟で多角的な思考力・分析力
3. 他者への共感と多様な集団との協働によって生み出す創造力
4. 問題解決のための実行力
5. 研究を適切に実行し、その成果を学術論文としてまとめる力

【博士後期課程】

本課程では、研究者として教育学の領域における幅広い学識と高度な研究スキルを身につけ、人間の尊厳を守りつつ、教育を通じて現代社会の課題解決にリーダーシップを発揮して取り組むことができる人材の養成を目的として、学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば、これらを身につけた者と認め、学位を授与します。

1. 社会の様々な事象についての情報収集力
2. 柔軟で多角的な思考力・分析力
3. 他者への共感と多様な集団との協働によって生み出す創造力
4. 問題解決にリーダーシップを発揮して取り組む実行力
5. 自立的に研究を遂行し、新たな知見を学術と政策・実践にもたらす力
6. 研究成果を適切にまとめ広く社会に発信する力

心理学専攻

【博士前期課程】

本課程では、キリスト教ヒューマニズムに基づく人間の尊厳を守る社会を実現するために、心理学の知識の理解、研究方法の修得や実践を通し、学修の成果を研究活動として結実させ、心理学の専門家・専門職として社会に貢献できる人材の養成を目的として、学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば、これらを身につけた者と認め、学位を授与します。

1. 基礎心理学コース、臨床心理学コースの両コース共に、心の働きの実証的理解、心と行動の普遍性およびその多様性と可塑性の理解、心理学の社会的役割の理解
2. 心を生み出す仕組み（機構）と心理学の諸理論の正確な理解を踏まえて、人間についてより深

く理解する力

3. 専門職業人として、本学の建学の理念である「隣人性」「国際性」を達成するために、基礎分野および臨床分野（医療、教育、福祉等）で活かすことのできる知識や技術、それを的確に伝える力
4. 多様な他分野、多職種との連携が可能となる広い知見

【博士後期課程】

本課程では、キリスト教ヒューマニズムに基づく人間の尊厳を守る社会を実現するために、心理学の知識の理解、研究方法の修得や実践を通し、学修の成果を研究活動として結実させ、論文の形で問うことができるようにします。「心」を探求する専門的な知識と経験を、総合的視野に立って駆使し、研究者・教育者として社会に貢献できる人材の養成を目的とし、学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば、これらを身につけた者と認め、学位を授与します。

1. 心理学の多様な分野での知見を深め、臨床的視点をもつ研究者、研究者の視点をもつ実践家となる力
2. 科学的視点を基盤にし、様々な場で対人支援を実践できる専門家としての能力
3. 自身の専門領域を深め、学会誌、国際学会などでの発表を踏まえ、博士論文としてその成果をまとめるとともに、広く発信する力
4. 多職種連携を必要とするがん医療の分野をはじめとする喫緊の課題解決に資する能力

社会学専攻

【博士前期課程】

本課程では、人間の尊厳を守る公正な社会の実現に向けて、社会が直面する様々な変化やそれに付随して生じる社会問題の根源的なメカニズムを理解し、冷静な分析力と機敏な応用力を兼ね備えた人材の養成を目的とし、学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば、これらを身につけた者と認め、学位を授与します。

1. 専門分野における高度な理論的及び経験的知識を理解する力
2. 社会変動や社会問題について社会学的な研究課題を設定する力
3. 社会学的な研究課題に対して適切な研究方法及び分析手法を提案する力
4. 自らの主張を論理的に記述し、口頭で伝達する力
5. 研究課題の達成を通じて現代世界における多様な価値の共生に資する力

【博士後期課程】

本課程では、人間の尊厳を守る公正な社会の実現に向けて、社会が直面する様々な変化やそれに付随して生じる社会問題の根源的なメカニズムを理解し、研究者としての冷静な分析力と機敏な応用力を兼ね備え、また、高度な理論的知識や方法論的技術を駆使して研究論文をまとめる力量を備えた人材の養成を目的とし、学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば、これらを身につけた者と認め、学位を授与します。

1. 専門分野における高度な理論的及び経験的知識を独自に整理し運用する力
2. 社会変動や社会問題について独創性を有する社会学的な研究課題を設定する力
3. 社会学的な研究課題に対して適切な研究方法及び分析手法を提案し、高度な水準でそれを実施する力
4. 一つ以上の外国語を含めて、自らの主張を論理的に記述し、口頭で伝達する力
5. 研究を通じて現代世界の福祉と創造的進歩に資するような結論の提示または政策を提言する力

社会福祉学専攻

【博士前期課程】

本課程では、人間の尊厳を尊重し、福祉社会の実現と創造的進歩に貢献できる人材の養成を目的として、学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば、これらを身につけた者と認め、学位を授与します。

1. 社会福祉における基本的理念、高度な専門知識と実践能力、研究能力
2. 福祉政策・運営管理と福祉臨床の両領域について幅広い知識を修得し、福祉社会を構築するうえでの実践能力
3. 理論と実践・臨床を統合することによって、現代社会における課題解決に向けた多角的な分析能力
4. 「研究者養成プログラム」では、福祉社会をデザインし作り出す実証研究能力を身につけ、学術雑誌や国際学会等で研究成果を発信する能力
5. 「高度福祉専門職養成プログラム」では、福祉臨床の知識・技術を身につけ、政策立案や臨床の現場で指導的役割を果たせる実践能力

【博士後期課程】

本課程では、人間の尊厳を尊重し、福祉社会の実現と創造的進歩に、自立した研究者として貢献できる人材の養成を目的として、学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば、これらを身につけた者と認め、学位を授与します。

1. (博士前期課程で身につけた) 社会福祉における基本的理念、高度な専門知識と実践能力、研究能力をより高め、独創的な知見を生み出すことができる力
2. 福祉政策・運営管理と福祉臨床の両領域についての幅広い知識をさらに深め、福祉社会を構築するうえで必要となる高度な分析能力、実証研究能力
3. 学術雑誌への投稿、国際学会等での報告において研究成果を発信し、議論する能力

看護学専攻

【修士課程】

本課程では、人間に対するケアリングをディシプリンとして捉えるとともに、実践に生かせる研究力ならびに指導力を兼ね備えた人材の養成を目的として、学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば、これらを身につけた者と認め、学位を授与します。

1. 人々の発達・健康レベルに応じた最善の健康支援をめざした実践能力と研究能力
2. 臨床現場で指導的役割を果たすことのできる実践能力
3. 学際的、総合的な視野をもって国内外で活動する力

3. 各専攻のカリキュラム・ポリシー

教育学専攻

【博士前期課程】

本課程では、ディプロマ・ポリシーに沿って、以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. 博士前期課程では、講義・演習・研究指導を組み合わせたカリキュラムを作成している。「講義」では、教育学の当該領域（教育哲学，教育史，教育社会学，国際教育学など）における主要テーマについて理解する。「演習」では、特定トピックについての議論による理解の深化や，調査研究スキルの獲得を目指す。また，自研究科内の他専攻開設科目や，8 単位まで他研究科開設の科目を履修することも出来る。これらの科目を受講することにより，社会の様々な事象に関する情報収集力，そして幅広い学識と柔軟かつ多角的な思考力・分析力を身につける。
2. 本課程では，英語による科目を開設し，他研究科とのクロス・リスティング，国連大学の委託聴講制度等を活用することで，学びの場における多様性を確保する。さらに，国内外でフィールド体験・研修を実施する。留学で卒業のための単位を一定数取得することもできる。これらにより，他者への共感力と創造性，そして問題解決のための実行力を磨く。
3. 課程履修期間中は，指導教員および必要に応じて複数の教員から個別に指導を受けることで，研究能力を向上させる。学生は，2 年次の春学期に研究概要を提出し，中間発表会において口頭で説明する。教育学専攻の所属教員および他の大学院生から研究内容についてのフィードバックを得ることで，研究論文の質を高める。

【博士後期課程】

本課程では，ディプロマ・ポリシーに沿って，以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. 本博士後期課程では，関連領域の講義・演習科目を開設する。これらの科目では，領域における基礎的事項を確認すると同時に，特定のトピックについて少人数クラスで議論を行い，その理解を深める。また，これらの科目履修により，研究実践スキルの向上，および自身の研究計画の精緻化を図る。
2. これらの科目に加えて，学生は，博士論文作成のための論文演習・研究指導科目を履修させる。課程履修期間を通じて，指導教員から博士論文執筆や研究成果の発信（学術誌への投稿，学会での口頭発表など）についての個別指導を受けさせる。
3. さらに，専任教員 3 名からなる指導委員会が設置され，修学期間中の研究指導を受けることが出来る。指導委員会のメンバーは，学生の研究課題や調査研究手法を考慮して構成される。この体制により，学生は，多様な角度から指導を受けながら，研究と博士論文の執筆を進めることが出来る。講義・演習科目の履修と研究指導を有機的に結び付けたこれらの学びにより，専門分野における情報収集・分析能力，および研究能力を獲得し，自立した研究者としての能力を身につけさせる。

心理学専攻

【博士前期課程】

本課程では，ディプロマ・ポリシーに沿って，心と行動の仕組みとその働きを理解し，心理学の専門的知識と技能を用いて，広く社会に貢献できる人を育てるために，臨床心理学コース，基礎心理学コースの 2 つのコースを設け，以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. 心理学の専門家としての基盤を作るために、1年次、2年次に、研究法に関する科目、各心理学の専門領域に関する科目を開設する。
2. 学修の成果を研究活動として結実させるために、1年次、2年次の2年間を通して、論文演習を開設する。
3. 臨床心理学コースにおいては、臨床心理士として必要とされるさまざまな知識や技能を具体的な臨床事例に即して得、実習や実践を通してより一層深められるよう必修科目を開設する。
4. 学部生の指導やチューターをする中で、自分自身の学びを深めることができる実習科目を開設する。

【博士後期課程】

本課程では、ディプロマ・ポリシーに沿って、「心」を探求する専門的な知識と経験を、総合的視野に立って駆使し、研究者・教育者・臨床家として社会に貢献できるよう、心理学の基礎から応用にわたる研究法、高度な先端的知識を身につけるよう、以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. 心理学の研究者・教育者・臨床家として必要な先端的知識、専門的スキルを修得し、それを様々な場で発信することができるように、1年次から3年次にかけて、講義科目と演習形式による論文演習を開設する。
2. 博士論文の構想発表までに、査読論文2本を書く。このためには、学会などの様々な機会を通して、自らの研究を発表し、他の研究者との研鑽をしていく。
3. 学部生、博士前期課程の学生に対する心理学研究法などのチューターを通して、心理学の知識や技能をより深めるとともに、研究者・教育者・臨床家として、それを他者に伝えるための技能を得させる。
4. がん医療関連科目として4大学院連携（上智大学、東京慈恵会医科大学、昭和大学、星薬科大学）の連携授業を履修することを認める。

社会学専攻

【博士前期課程】

本課程では、ディプロマ・ポリシーに沿って、社会現象のメカニズムを分析・理解する能力を獲得するために、社会学理論と社会調査法の基礎科目および現代社会の重要な諸側面を扱う幅広い専門科目を配置して、以下のようにカリキュラムを編成しています。

1. 理論的及び経験的知識の修得のため必修科目である社会学理論及び専門科目を1年次春学期から配置する。
2. 社会学的研究課題を設定する能力の修得のため必修科目である社会学方法論及び関連専門科目を1年次春学期から配置する。
3. 社会調査法の知識と運用能力の修得のため必修科目である社会学方法論及び専門社会調査士科目を1年次秋学期から配置する。
4. 修士論文執筆と口頭報告の能力の修得のため1年次春学期から指導教員による論文演習及び合同研究報告会を配置する。
5. 研究を現実の社会問題に応用する能力を修得するため専門科目においてディスカッションや実習を実施するとともに、関連学会への参加を促進する。

【博士後期課程】

本課程では、ディプロマ・ポリシーに沿って、社会現象のメカニズムを高度な水準で分析・理解し研究論文を執筆する能力を獲得するために、社会学理論と社会調査法の科目および現代社会の重要な諸側面を扱う幅広い専門科目を配置し、以下のようにカリキュラムを編成しています。

1. 博士論文執筆に必要となる高度な理論的及び経験的知識の修得のため専門科目を配置する。
2. 専門的研究課題を設定する能力の修得のため専門科目を配置する。
3. 高度な社会調査を自ら実施する能力の修得のため専門社会調査士科目及び関連専門科目を配置する。
4. 博士論文執筆と内外の学会での口頭報告の能力の修得のため指導教員による研究指導及び合同研究報告会を配置するとともに、関連学会での報告や学会誌への投稿を促進する。
5. 研究を政策的提言に応用する能力を高めるため学際的研究と関連学会での研究発表を促進する。

社会福祉学専攻

【博士前期課程】

本課程では、ディプロマ・ポリシーに沿って、狭義の社会福祉を超えた新しい福祉社会の実現に貢献する人材育成のために、「研究者養成プログラム」と「高度福祉専門職養成プログラム」を用意し、以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. コアカリキュラムの「社会福祉研究法基礎」、「福祉政策運営管理研究法基礎」、「福祉臨床研究法基礎」を通して、社会福祉学で求められる多角的な研究法を学ぶ。
2. 「福祉政策・運営管理系科目」と「福祉臨床系科目」を通して、社会福祉学で必要とされる幅広い領域を学ばせる。
3. 「社会福祉フィールドワーク」と「援助事例分析」「社会政策・経営事例分析」を通して、理論と実践の統合を行い、現状や課題を多角的に分析する力をつけさせる。
4. 「研究者養成プログラム」では、コアカリキュラムにより研究法を深めるとともに、英語開設科目を通して英語による研究発信の方法・技術を学ばせる。
5. 「高度福祉専門職養成プログラム」では、おもに臨床や福祉各分野・課題に関する科目を通して福祉臨床の知識・技術を実践的に学ばせる。
6. 上記のカリキュラムおよび研究指導を通して修士論文をまとめ、その審査および最終試験に備えさせる。

【博士後期課程】

本課程では、ディプロマ・ポリシーに沿って、新しい福祉社会の実現に向けて国際的にも貢献できる人材育成のために、以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. 指導教員による研究指導のもと、国内外の先行研究レビューや調査実施等により、研究のテーマ・方法を絞り込み研究を進めていく。
2. 福祉政策・運営管理系および福祉臨床系のコースワークを通して、社会福祉学の研究を進めるうえで求められる多角的な視点や研究方法を学ばせる。
3. 英語開設科目を通して英語による研究の発信や議論についての方法・技術を学ばせる。
4. 上記の研究指導およびカリキュラム、さらにコースワークの研究法特殊講義を通して博士学位申請論文をまとめ、その審査および最終試験に備えさせる。

看護学専攻

【修士課程】

本課程では、ディプロマ・ポリシーに沿って、国内外の医療健康問題の動向における重要課題に鑑み、「共生支援」のキーワードにもとづいて、良質のケアリングにかかわる発展的かつ実践的な研究を行うために、以下のようにカリキュラムを編成しています。

1. 看護研究に関する基礎力を充実させる科目を開設する。
2. ケアリングについて考究する科目を開設する。

3. 自己が研究を通して深めたい専門看護学に関する科目を開設する。
4. 自己が研究を通して深めたい専門看護学を支持する科目を開設する。
5. 修士論文執筆とプレゼンテーション能力の修得のため 1 年次春学期から指導教員による演習を行い、研究計画検討会、修士論文発表会を配置する。

1. 修了に要する科目，単位数，科目数などの要件

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限，その他）
総単位数	30		
授業科目			
・必修科目	4		
└論文演習Ⅰ	2		
└論文演習Ⅱ	2		
・選択科目	26		
└自専攻科目			
└自研究科他専攻科目			
└委託聴講科目			2単位まで修了に必要な単位として認める。
研究指導（必修）		4	単位なし，在学中毎学期登録される。 4科目以上合格すること。
修士論文			必要な研究指導を受けた上，修士論文の審査および試験に合格すること。修士論文の審査基準は別に定める。 (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること)

【研究指導スケジュール】

4月に実施する専攻ガイダンスで配布する「博士前期課程の研究スケジュール（指針）」にて，詳細を確認すること。

【修士論文審査基準】

- 1) 研究の内容が教育研究に寄与し，オリジナリティを有すること。
- 2) 研究テーマが十分に絞り込まれた明確なものであること。
- 3) 先行研究が十分に参照され，明記されていること。引用が正確になされていること。
データが適切に処理されていること。
- 4) 論文の構成が組織立っており，論理が明晰で，論旨が一貫していること。
- 5) 論文の言語表現が的確で正しいこと。また，目次，註などに関する体裁が整っていること。

2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
教育哲学講義			2
教育哲学演習			2
教育哲学特殊講義 I			2
教育哲学特殊講義 II			2
日本教育史講義			2
日本教育史演習			2
日本教育史特殊講義 I			2
日本教育史特殊講義 II			2
教育方法学講義			2
教育方法学演習			2
教育方法学特殊講義 I			2
教育方法学特殊講義 II			2
外国教育史講義 ※1			2
外国教育史演習 ※1			2
外国教育史特殊講義 I ※1			2
外国教育史特殊講義 II ※1			2
生涯教育学講義 ※2			2
生涯教育学演習 ※2			2
生涯教育学特殊講義 I ※2			2
生涯教育学特殊講義 II ※2			2
学校臨床社会学講義			2
学校臨床社会学演習			2
学校臨床社会学特殊講義 I			2
学校臨床社会学特殊講義 II			2

※1：2017年度まで開講 ※2：2018年度まで開講

科目名 ※(他)：他専攻開講科目	単位数		
	必修	選必	選択
学校教育学講義			2
学校教育学演習			2
学校教育学特殊講義 I			2
学校教育学特殊講義 II			2
教育社会学講義			2
教育社会学演習			2
教育社会学特殊講義 I			2
教育社会学特殊講義 II			2
国際教育学講義			2
国際教育学演習			2
国際教育学特殊講義 I			2
国際教育学特殊講義 II			2
国際教育開発学講義			2
国際教育開発学演習			2
国際教育開発学特殊講義 I			2
国際教育開発学特殊講義 II			2
LECTURE IN COMPARATIVE EDUCATION			2
SEMINAR IN COMPARATIVE EDUCATION			2
論文演習 I (前期)	2		
論文演習 II (前期)	2		
(他) GLOBAL POLITICS ※3			4
(他) GLOBAL MIGRATION ※3			2
(他) HUMAN RIGHTS ※3			4
(他) ECONOMICS OF DEVELOPMENT AND POVERTY ※3			4

※3：グローバル社会専攻開講科目

3. 履修上の注意

- 1) 4月の教育学専攻ガイダンスで、専攻主任から研究スケジュールの説明を受けること。その際に、希望する指導教員の名前を届け出ること。決まっていない場合は、専攻主任と相談すること。
- 2) 担当教員の「研究指導」(必修)は在学中毎学期登録される。4科目以上合格すること。
- 3) 同一名の科目であっても、年度によって授業内容の変わるものは、重複して履修することができ、単位として認定される。
- 4) 1年次の1月末までに、指導教員の指導の下に「博士前期課程学位論文(修士論文)作成計画書」を作成し、教育学専攻事務担当者を通じて教育学専攻主任に提出すること。
- 5) 2年次に指導教員の「論文演習 I・II」を必ず受講すること。
- 6) 修士論文提出予定者は、修士論文を提出する学期の履修登録期間中に、必ず「修士論文」を登録すること。
- 7) 2年次の7月に開催される修士論文中間発表会に出席し、それまでの研究成果を発表すること。
- 8) 2年次の1月中旬の期日までに修士論文、および修士論文の要旨を教育学専攻事務担当者に提出すること。

4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※ * :非常勤教員	外国語	備考
MHED2731	春	論文演習Ⅰ(前期)	EDU607-81j00	2	鈴木 宏		M2対象
MHED2741	秋	論文演習Ⅰ(前期)	EDU607-81j00	2	湯川 嘉津美		M2対象
MHED2751	春	論文演習Ⅰ(前期)	EDU607-81j00	2	上野 正道		M2対象
MHED2761	春	論文演習Ⅰ(前期)	EDU607-81j00	2	相澤 真一		M2対象
MHED2771	春	論文演習Ⅰ(前期)	EDU607-81j00	2	奈須 正裕		M2対象
MHED2791	春	論文演習Ⅰ(前期)	EDU607-81j00	2	酒井 朗		M2対象
MHED2801	春	論文演習Ⅰ(前期)	EDU607-81j00	2	杉村 美紀		M2対象
MHED2811	春	論文演習Ⅰ(前期)	EDU607-81j00	2	小松 太郎		M2対象
MHED7010	春	教育哲学講義	EDU504-81j00	2	鈴木 宏		後期課程科目「教育哲学上級講義」との併科科目
MHED7030	春	教育哲学特殊講義Ⅰ	EDU505-81j00	2	*藤井 佳世		
MHED7070	秋	日本教育史講義	EDU507-81j00	2	湯川 嘉津美		後期課程科目「日本教育史上級講義」との併科科目
MHED7090	休講	日本教育史特殊講義Ⅰ	EDU508-81j00	2			
MHED7130	春	教育方法学講義	EDU522-81j00	2	奈須 正裕		後期課程科目「教育方法学上級講義」との併科科目
MHED7150	春	教育方法学特殊講義Ⅰ	EDU523-81j00	2	*平野 朝久		
MHED7190	春	学校臨床社会学講義	EDU501-81j00	2	酒井 朗		後期課程科目「学校臨床社会学上級講義」との併科科目
MHED7210	休講	学校臨床社会学特殊講義Ⅰ	EDU502-81j00	2			
MHED7250	春	学校教育学講義	EDU510-81j00	2	上野 正道		後期課程科目「学校教育学上級講義」との併科科目
MHED7270	休講	学校教育学特殊講義Ⅰ	EDU511-81j00	2			
MHED7310	春	教育社会学講義	EDU513-81j00	2	相澤 真一		後期課程科目「教育社会学上級講義」との併科科目
MHED7330	春	教育社会学特殊講義Ⅰ	EDU514-81j00	2	*田中 治彦		
MHED7430	春	国際教育学講義	EDU516-81e00	2	杉村 美紀	○	後期課程科目「国際教育学上級講義」との併科科目
MHED7450	休講	国際教育学特殊講義Ⅰ	EDU517-81j00	2			
MHED7490	春	国際教育開発学講義	EDU519-81e00	2	小松 太郎	○	後期課程科目「国際教育開発学上級講義」との併科科目
MHED7470	春	国際教育開発学特殊講義Ⅰ	EDU520-81e00	2	*ガラウインジ山 香	○	
MHED7540	春	LECTURE IN COMPARATIVE EDUCATION	EDU526-81e00	2	MANZON Maria	○	後期課程科目「ADVANCED LECTURE IN COMPARATIVE EDUCATION」との併科科目
MHED2732	秋	論文演習Ⅱ(前期)	EDU608-81j00	2	鈴木 宏		M2対象
MHED2742	秋	論文演習Ⅱ(前期)	EDU608-81j00	2	湯川 嘉津美		M2対象
MHED2752	秋	論文演習Ⅱ(前期)	EDU608-81j00	2	上野 正道		M2対象
MHED2762	秋	論文演習Ⅱ(前期)	EDU608-81j00	2	相澤 真一		M2対象
MHED2772	春	論文演習Ⅱ(前期)	EDU608-81j00	2	奈須 正裕		M2対象
MHED2792	秋	論文演習Ⅱ(前期)	EDU608-81j00	2	酒井 朗		M2対象
MHED2802	秋	論文演習Ⅱ(前期)	EDU608-81j00	2	杉村 美紀		M2対象
MHED2812	秋	論文演習Ⅱ(前期)	EDU608-81j00	2	小松 太郎		M2対象
MHED7020	秋	教育哲学演習	EDU602-81j00	2	鈴木 宏		後期課程科目「教育哲学上級演習」との併科科目
MHED7040	休講	教育哲学特殊講義Ⅱ	EDU506-81j00	2			

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※ * :非常勤教員	外国語	備考
MHED7080	秋	日本教育史演習	EDU603-81j00	2	湯川 嘉津美		後期課程科目「日本教育史上級演習」との併科科目
MHED7100	休講	日本教育史特殊講義Ⅱ	EDU509-81j00	2			
MHED7140	春	教育方法学演習	EDU610-81j00	2	奈須 正裕		後期課程科目「教育方法学上級演習」との併科科目
MHED7160	秋	教育方法学特殊講義Ⅱ	EDU524-81j00	2	*張 建		
MHED7200	秋	学校臨床社会学演習	EDU601-81j00	2	酒井 朗		後期課程科目「学校臨床社会学上級演習」との併科科目
MHED7220	春	学校臨床社会学特殊講義Ⅱ	EDU503-81j00	2	*額賀 美紗子		
MHED7260	秋	学校教育学演習	EDU604-81j00	2	上野 正道		後期課程科目「学校教育学上級演習」との併科科目
MHED7280	秋	学校教育学特殊講義Ⅱ	EDU512-81j00	2	*黒田 友紀		
MHED7320	秋	教育社会学演習	EDU605-81j00	2	相澤 真一		後期課程科目「教育社会学上級演習」との併科科目
MHED7340	秋	教育社会学特殊講義Ⅱ	EDU515-81j00	2	*日下田 岳史		
MHED7440	秋	国際教育学演習	EDU606-81e00	2	杉村 美紀	○	後期課程科目「国際教育学上級演習」との併科科目
MHED7460	秋	国際教育学特殊講義Ⅱ	EDU518-81j00	2	*吉川 裕美子		
MHED7500	秋	国際教育開発学演習	EDU609-81e00	2	小松 太郎	○	後期課程科目「国際教育開発学上級演習」との併科科目
MHED7480	秋	国際教育開発学特殊講義Ⅱ	EDU521-81e00	2	*林 真樹子	○	
MHED7530	秋	SEMINAR IN COMPARATIVE EDUCATION	EDU525-81e00	2	MANZON Maria	○	後期課程科目「ADVANCED SEMINAR IN COMPARATIVE EDUCATION」との併科科目
MHED9491	春	修士論文	EDU699-81j00	0	教育学専攻各指導教員		M2対象, 9月修了者対象
MHED9490	秋	修士論文	EDU699-81j00	0	教育学専攻各指導教員		M2対象

5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
EDU599-81j00	鈴木 宏	
	湯川 嘉津美	
	上野 正道	
	相澤 真一	
	奈須 正裕	
	酒井 朗	
	杉村 美紀	
	小松 太郎	

教育学専攻 博士後期課程

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

【18年次生以降】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	18		
授業科目			
▶必修科目	12		
└論文演習Ⅰ（後期）	6	3	3年間（3回）履修すること
└論文演習Ⅱ（後期）	6	3	3年間（3回）履修すること
▶選択科目	6	3	
研究指導（必修）		6	単位なし, 在学中毎学期登録される。 6科目以上合格すること。
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に合格すること。博士論文の審査基準は別に定める。

【17年次生】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	12		
授業科目			
▶必修科目	12		
└論文演習Ⅰ（後期）	6	3	3年間（3回）履修すること
└論文演習Ⅱ（後期）	6	3	3年間（3回）履修すること
▶選択科目			
研究指導（必修）		6	単位なし, 在学中毎学期登録される。 6科目以上合格すること。
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に合格すること。博士論文の審査基準は別に定める。

【16年次生以前】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	12		
授業科目			
▶必修科目	12		
└論文演習Ⅰ（後期）	6	3	3年間（3回）履修すること
└論文演習Ⅱ（後期）	6	3	3年間（3回）履修すること
▶選択科目			
研究指導（必修）			単位なし, 在学中毎学期登録される。
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に合格すること。博士論文の審査基準は別に定める。

【研究指導スケジュール】

4月に実施する専攻ガイダンスで配布する「博士後期課程の研究スケジュール（指針）」にて, 詳細を確認すること。

【博士論文審査基準】

- 1) 研究の内容が教育研究に寄与し、オリジナリティを有すること。
- 2) 研究テーマが絞り込まれた明確なものであること。
- 3) 国内外の先行研究が網羅的に参照され、明記されていること。引用が正確になされていること。データが適切に処理されていること。
- 4) 論文の構成が組織立っており、論理が明晰で、論旨が一貫していること。
- 5) 論文の言語表現が的確で正しいこと。また、目次、註などに関する体裁が整っていること。
- 6) 当該分野における先端的研究として位置づけられ、執筆者が自立的な研究者として研究を遂行する能力を証するものであること。

2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
教育哲学上級講義			2
日本教育史上級講義			2
教育方法学上級講義			2
生涯教育学上級講義 ※2			2
学校臨床社会学上級講義			2
学校教育学上級講義			2
教育社会学上級講義			2
国際教育学上級講義			2
国際教育開発学上級講義			2
教育哲学上級演習			2
日本教育史上級演習			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
教育方法学上級演習			2
生涯教育学上級演習 ※2			2
学校臨床社会学上級演習			2
学校教育学上級演習			2
教育社会学上級演習			2
国際教育学上級演習			2
国際教育開発学上級演習			2
ADVANCED LECTURE IN COMPARATIVE EDUCATION			2
ADVANCED SEMINAR IN COMPARATIVE EDUCATION			2
論文演習Ⅰ（後期）※1	2		
論文演習Ⅱ（後期）※1	2		

※1：「論文演習Ⅰ・Ⅱ（後期）」については、毎年4単位、3年間で合計12単位を履修する。

※2：2018年度まで開講

3. 履修上の注意

- 1) 4月の教育学専攻ガイダンスで、専攻主任から研究スケジュールの説明を受けること。その際に、希望する指導教授の名前を届け出ること。
- 2) 指導教授の「論文演習Ⅰ・Ⅱ」を、毎年必ず受講すること。12単位（4単位×3年）を必修とする。
- 3) 「研究指導」（必修）は、在学中毎学期登録される。なお、2017年次生以降の学生については、6科目以上合格すること。
- 4) 2018年次生以降の学生は、「上級講義」「上級演習」の各科目の中から選択科目として3科目6単位履修すること。同一名の科目であっても、年度によって授業内容が変わるものは、重複して履修することができ、単位として認定される。
- 5) 教育学専攻博士前期課程の選択科目は履修することができ、修得単位として認める。（p.113～114参照のこと）
- 6) 指導教授の指導の下に、1年次10月までに研究計画を立案すること。指導教授は他に2名の指導委員を依頼し、「指導委員会」を構成するものとする。
- 7) 立案した研究計画をもとに、指導委員会の第一次審査を受けること。
- 8) 第一次審査に合格した者で、2つ以上の論文を学術雑誌に掲載又は採諾されている者は、指導教授の指示により第二次審査を申請することができる。
- 9) 第二次審査を希望する者は、研究計画書（A4判、枚数任意）、研究業績目録（学会発表を含む）、公表論文の抜き刷り1部を指導教授に提出すること。
- 10) 博士論文の提出に関しては、「上智大学学位規程教育学専攻内規（課程博士）」に従って、所定の手続きをとること。

4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名	外国語	備考
DHED3021	秋	論文演習Ⅰ（後期）	EDU801-81j00	2	湯川 嘉津美		
DHED3031	春	論文演習Ⅰ（後期）	EDU801-81j00	2	上野 正道		
DHED3051	春	論文演習Ⅰ（後期）	EDU801-81j00	2	奈須 正裕		
DHED3071	春	論文演習Ⅰ（後期）	EDU801-81j00	2	酒井 朗		
DHED3081	春	論文演習Ⅰ（後期）	EDU801-81j00	2	杉村 美紀		
DHED3091	春	論文演習Ⅰ（後期）	EDU801-81j00	2	小松 太郎		
DHED7011	春	教育哲学上級講義	EDU803-81j00	2	鈴木 宏		前期課程科目「教育哲学講義」との合併科目
DHED7021	秋	日本教育史上級講義	EDU805-81j00	2	湯川 嘉津美		前期課程科目「日本教育史講義」との合併科目
DHED7031	春	教育方法学上級講義	EDU807-81j00	2	奈須 正裕		前期課程科目「教育方法学講義」との合併科目
DHED7041	春	学校臨床社会学上級講義	EDU817-81j00	2	酒井 朗		前期課程科目「学校臨床社会学講義」との合併科目
DHED7051	春	学校教育学上級講義	EDU809-81j00	2	上野 正道		前期課程科目「学校教育学講義」との合併科目
DHED7061	春	教育社会学上級講義	EDU811-81j00	2	相澤 真一		前期課程科目「教育社会学講義」との合併科目
DHED7071	春	国際教育学上級講義	EDU813-81e00	2	杉村 美紀	○	前期課程科目「国際教育学講義」との合併科目
DHED7081	春	国際教育開発学上級講義	EDU815-81e00	2	小松 太郎	○	前期課程科目「国際教育開発学講義」との合併科目
DHED7091	春	ADVANCED LECTURE IN COMPARATIVE EDUCATION	EDU820-81e00	2	MANZON Maria	○	前期課程科目「LECTURE IN COMPARATIVE EDUCATION」との合併科目
DHED3022	秋	論文演習Ⅱ（後期）	EDU802-81j00	2	湯川 嘉津美		
DHED3032	秋	論文演習Ⅱ（後期）	EDU802-81j00	2	上野 正道		
DHED3052	春	論文演習Ⅱ（後期）	EDU802-81j00	2	奈須 正裕		
DHED3072	秋	論文演習Ⅱ（後期）	EDU802-81j00	2	酒井 朗		
DHED3082	秋	論文演習Ⅱ（後期）	EDU802-81j00	2	杉村 美紀		
DHED3092	秋	論文演習Ⅱ（後期）	EDU802-81j00	2	小松 太郎		
DHED7012	秋	教育哲学上級演習	EDU804-81j00	2	鈴木 宏		前期課程科目「教育哲学演習」との合併科目
DHED7022	秋	日本教育史上級演習	EDU806-81j00	2	湯川 嘉津美		前期課程科目「日本教育史演習」との合併科目
DHED7032	春	教育方法学上級演習	EDU808-81j00	2	奈須 正裕		前期課程科目「教育方法学演習」との合併科目
DHED7042	秋	学校臨床社会学上級演習	EDU818-81j00	2	酒井 朗		前期課程科目「学校臨床社会学演習」との合併科目
DHED7052	秋	学校教育学上級演習	EDU810-81j00	2	上野 正道		前期課程科目「学校教育学演習」との合併科目
DHED7062	秋	教育社会学上級演習	EDU812-81j00	2	相澤 真一		前期課程科目「教育社会学演習」との合併科目
DHED7072	秋	国際教育学上級演習	EDU814-81e00	2	杉村 美紀	○	前期課程科目「国際教育学演習」との合併科目
DHED7082	秋	国際教育開発学上級演習	EDU816-81e00	2	小松 太郎	○	前期課程科目「国際教育開発学演習」との合併科目
DHED7092	秋	ADVANCED SEMINAR IN COMPARATIVE EDUCATION	EDU819-81e00	2	MANZON Maria	○	前期課程科目「SEMINAR IN COMPARATIVE EDUCATION」との合併科目

5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
EDU899-81j00	湯川 嘉津美	
	上野 正道	
	奈須 正裕	
	酒井 朗	
	杉村 美紀	
	小松 太郎	

心理学専攻 博士前期課程 基礎心理学コース

1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限，その他）
総単位数	34		
授業科目			
▶必修科目	8		
└論文演習Ⅰ（前期）	4	2	2年間（2回）履修すること
└論文演習Ⅱ（前期）	4	2	2年間（2回）履修すること
▶選択必修科目	8		
▶選択科目	18		
└自専攻科目			
└自研究科他専攻科目			
└委託聴講科目			8単位まで修了に必要な単位として認められる。 ※ただし、国連大学委託聴講科目は認められない。
研究指導（必修）		4	単位なし，在学中毎学期登録される。 4科目以上合格すること。
修士論文			必要な研究指導を受けた上，修士論文の審査および試験に合格すること。修士論文の審査基準は別に定める。 （修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること）

【研究指導スケジュール】

4月に実施する専攻ガイダンスで配布する「博士前期課程における研究スケジュール」にて、詳細を確認すること。

【修士論文審査基準】

- 1) 問題設定：問題意識が明確で，課題設定が適切であること。
- 2) 先行研究の理解：先行研究を適切に検討，吟味していること。
- 3) 研究方法・分析方法：研究目的に対し，研究方法等が適切であること。
- 4) 論文構成：論文構成が的確で，論理展開に整合性，一貫性があること。
- 5) 研究の位置づけ：当該分野，領域における社会的・学術的な意義が認められること。
- 6) 倫理的配慮：研究方法の適切性に留意し，研究対象に対する適切な倫理的配慮を行っていること。各種学会，大学等が定める倫理基準を満たしたものであること。
- 7) 形式面：以下の形式面が整っていること。
 1. 章・節の構成が適切であり，目次を見ることで全体の論旨が予想できること。
 2. 文章が明快で，論旨が明確に理解可能であること。
 3. 引用が適切で，引用文献表がきちんと整えられていること。
 4. 論文，引用の基本的体裁が「アメリカ心理学会出版マニュアル」および日本心理学会の「執筆・投稿の手引き」に準拠したものであること。

2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
論文演習Ⅰ（前期）	2		
論文演習Ⅱ（前期）	2		
心理測定学特殊研究Ⅰ		2	
心理測定学特殊研究Ⅱ		2	
認知心理学特殊研究Ⅰ		2	
認知心理学特殊研究Ⅱ		2	
生理心理学特殊研究Ⅰ		2	
生理心理学特殊研究Ⅱ		2	
発達心理学特殊研究Ⅰ		2	
発達心理学特殊研究Ⅱ		2	
社会心理学特殊研究Ⅰ		2	
社会心理学特殊研究Ⅱ		2	
老年心理学特殊研究		2	
コミュニティ心理学特殊研究		2	
人間関係特論 ※注3		2	
人間関係特論（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）		2	
福祉心理学特論（福祉分野に関する理論と支援の展開）			2
司法・犯罪心理学特論（司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開）			2

※注1：言語学専攻開講科目

※注2：社会福祉学専攻開講科目

※注3：2017年度まで開講

科目名 ※（他）：他専攻開講科目	単位数		
	必修	選必	選択
心理学研究法演習			2
心理学各論特殊研究 ※注3		2	
心理統計法特論			2
グループ・アプローチ特論			2
教育臨床特論 ※注3			2
教育臨床特論（教育分野に関する理論と支援の展開）			2
産業心理学特論（産業・労働分野に関する理論と支援の展開）			2
心の健康教育特論（心の健康教育に関する理論と実践）			2
心理学基礎実習Ⅰ			1
心理学基礎実習Ⅱ			1
心理学特殊実習Ⅰ			1
心理学特殊実習Ⅱ			1
（他）失語・高次脳機能障害学特論A※注1	2		
（他）失語・高次脳機能障害学特論B※注1	2		
（他）言語障害研究特殊講義 F（学習障害）※注1	2		
（他）臨床医学特論D（神経系の基礎と病態・内科学）※注1			2
（他）臨床医学特論E（発達障害医学・脳性麻痺）※注1			2
（他）言語聴覚病理学特論（医学概論・解剖学・生理学・病理学）※注1			2
（他）児童福祉学 ※注2		2	
（他）精神保健福祉研究 ※注2		2	
（他）コミュニティーオーガニゼーション研究 ※注2		2	

3. 履修上の注意

下記に従って合計34単位以上を修得し、指導教員の指導のもとに修士論文を作成・提出することが必要である。

○ 全ての科目は繰り返し履修することが可能であり、修了に必要な単位として認められる。

- 必修8単位：「論文演習Ⅰ（前期）」及び「論文演習Ⅱ（前期）」をそれぞれ2年間履修する。
- 「研究指導」（必修）は在学中毎学期登録される。なお、2017年次生以降の学生については、4科目以上合格すること。
- 選択必修8単位：指導教員の指定する科目を履修する（選択必修科目の余剰単位は、選択科目の単位に充当することができる）。
- 選択18単位
- 在学中、臨床心理学コースへのコース変更は認められない。また、以下の科目は臨床心理学コース対象科目のため、履修できない。

【臨床心理学コース対象科目】

臨床心理学特論Ⅰ・Ⅱ、臨床心理面接特論Ⅰ（心理支援に関する理論と実践）、臨床心理面接特論Ⅱ、臨床心理査定演習Ⅰ（心理的アセスメントに関する理論と実践）、臨床心理査定演習Ⅱ、臨床心理基礎実習Ⅰ・Ⅱ、臨床心理実習Ⅰ、臨床心理実習Ⅱ、臨床心理学研究法演習、精神医学特殊研究（保健医療分野に関する理論と支援の展開）、認知行動療法特殊研究、精神分析特殊研究、臨床人格心理学特殊研究、臨床心理学特殊実習Ⅰ・Ⅱ（心理実践実習）

6) 「心理学特殊実習Ⅰ」及び「心理学特殊実習Ⅱ」を履修しようとする者は、各学期初めに専攻主任に届出し、承認を得た後に履修することができる。

7) 「心理学基礎実習Ⅰ」及び「心理学基礎実習Ⅱ」を履修しようとする者は、あらかじめ指導教員と相談すること。

- 8) 学年初めの心理学専攻ガイダンスでの説明、およびガイダンス資料に十分留意し、ここで提示される研究指導の説明に従って研究を進めること。
- 9) 不明な点は指導教員と相談の上、履修を行うこと。
- 10) 前期課程在籍者で、やむをえず9月修了を希望する者は、修了予定年度の前年度末までに理由を説明する願い書(書式は自由)を専攻主任に提出し、専攻会議の承認を受けること。
- 11) 修士論文提出予定者は、2年次に、4月に開催される修士論文中間発表会に出席し、それまでの研究成果と今後の計画を発表すること。
- 12) 毎年度末に、専攻の定める「研究報告書」を提出すること。

【同一科目対照表】

下記の科目は科目名・単位数・担当者が異なっても変更前と変更後の科目は同一科目とみなす。

変更前		変更後		
科目名	開講年度	科目名	開講年度	備考
人間関係特論	～2017	人間関係特論 (家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践)	2018～	選択必修
教育臨床特論	～2017	教育臨床特論 (教育分野に関する理論と支援の展開)	2018～	選択

4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※ * : 非常勤教員	外国語	備考
MHPS1311	春	論文演習Ⅰ（前期）	PSY501-82j00	2	岡田 隆		
MHPS1321	春	論文演習Ⅰ（前期）	PSY501-82j00	2	毛利 伊吹		
MHPS1331	春	論文演習Ⅰ（前期）	PSY501-82j00	2	齋藤 慈子		
MHPS1341	春	論文演習Ⅰ（前期）	PSY501-82j00	2	吾妻 壮		
MHPS1351	春	論文演習Ⅰ（前期）	PSY501-82j00	2	道又 爾		
MHPS1361	春	論文演習Ⅰ（前期）	PSY501-82j00	2	松田 修		
MHPS1371	春	論文演習Ⅰ（前期）	PSY501-82j00	2	久田 満		
MHPS1381	春	論文演習Ⅰ（前期）	PSY501-82j00	2	横山 恭子		
MHPS1391	春	論文演習Ⅰ（前期）	PSY501-82j00	2	廣瀬 英子		
MHPS1401	春	論文演習Ⅰ（前期）	PSY501-82j00	2	吉村 聡		
MHPS1421	春	論文演習Ⅰ（前期）	PSY501-82j00	2	樋口 匡貴		
MHPS6230	春	心理測定学特殊研究Ⅰ	PSY523-82j00	2	廣瀬 英子		後期課程「心理測定学上級研究」との合併科目
MHPS6250	春	認知心理学特殊研究Ⅰ	PSY525-82j00	2	道又 爾		後期課程「認知心理学上級研究」との合併科目
MHPS6290	春	生理心理学特殊研究Ⅰ	PSY529-82j00	2	岡田 隆		
MHPS6310	春	発達心理学特殊研究Ⅰ	PSY531-82j00	2	齋藤 慈子		
MHPS6330	休講	社会心理学特殊研究Ⅰ	PSY533-82j00	2			後期課程「社会心理学上級研究」との合併科目
MHPS6360	春	コミュニティ心理学特殊研究	PSY536-82j00	2	久田 満		後期課程「コミュニティ心理学上級研究」との合併科目
MHPS7390	春	心理学研究法演習	PSY553-82j00	2	齋藤 慈子 岡田 隆 道又 爾		後期課程「心理学研究法上級研究」との合併科目
MHPS7410	春	心理統計法特論	PSY541-82j00	2	*萩生田 伸子		
MHPS7420	春	グループ・アプローチ特論	PSY542-82j00	2	*大沼 幸子		
MHPS7430	春	心理学基礎実習Ⅰ	PSY551-82j00	1	久田 満		
MHPS7450	春	心理学特殊実習Ⅰ	PSY556-82j00	1	岡田 隆		
MHPS7510	春	心理学特殊実習Ⅰ	PSY556-82j00	1	齋藤 慈子		
MHPS7550	春	心理学特殊実習Ⅰ	PSY556-82j00	1	道又 爾		
MHPS7630	春	心理学特殊実習Ⅰ	PSY556-82j00	1	廣瀬 英子		
MHPS7700	休講	心理学特殊実習Ⅰ	PSY556-82j00	1			
MHPS7810	春	教育臨床特論（教育分野に関する理論と支援の展開）	PSY545-82j00	2	*伊東 孝郎		
MHPS7830	集中	産業心理学特論（産業・労働分野に関する理論と支援の展開）	PSY593-82j00	2	*大塚 泰正 *小林 由佳		2Q集中，輪講
MHPS7840	集中	心の健康教育特論（心の健康教育に関する理論と実践）	PSY591-82j00	2	*飯田 敏晴		2Q集中
MHPS9830	春	修士論文	PSY699-82j00	0	心理学専攻教員		M2対象，9月修了者対象
MHPS1312	秋	論文演習Ⅱ（前期）	PSY502-82j00	2	岡田 隆		
MHPS1322	秋	論文演習Ⅱ（前期）	PSY502-82j00	2	毛利 伊吹		
MHPS1332	秋	論文演習Ⅱ（前期）	PSY502-82j00	2	齋藤 慈子		
MHPS1342	秋	論文演習Ⅱ（前期）	PSY502-82j00	2	吾妻 壮		
MHPS1352	秋	論文演習Ⅱ（前期）	PSY502-82j00	2	道又 爾		
MHPS1362	秋	論文演習Ⅱ（前期）	PSY502-82j00	2	松田 修		
MHPS1372	秋	論文演習Ⅱ（前期）	PSY502-82j00	2	久田 満		
MHPS1382	秋	論文演習Ⅱ（前期）	PSY502-82j00	2	横山 恭子		

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※ * : 非常勤教員	外国語	備考
MHPS1392	秋	論文演習Ⅱ (前期)	PSY502-82j00	2	廣瀬 英子		
MHPS1402	秋	論文演習Ⅱ (前期)	PSY502-82j00	2	吉村 聡		
MHPS1422	秋	論文演習Ⅱ (前期)	PSY502-82j00	2	樋口 匡貴		
MHPS6240	秋	心理測定学特殊研究Ⅱ	PSY524-82j00	2	廣瀬 英子		「心理測定学特殊研究Ⅰ」を履修済であること
MHPS6260	秋	認知心理学特殊研究Ⅱ	PSY526-82j00	2	道又 爾		
MHPS6300	秋	生理心理学特殊研究Ⅱ	PSY530-82e00	2	岡田 隆	○	後期課程「生理心理学上級研究」との合併科目
MHPS6320	秋	発達心理学特殊研究Ⅱ	PSY532-82j00	2	齋藤 慈子		後期課程「発達心理学上級研究」との合併科目
MHPS6340	休講	社会心理学特殊研究Ⅱ	PSY534-82e00	2		○	
MHPS6350	秋	老年心理学特殊研究	PSY535-82j00	2	松田 修		後期課程「老年心理学上級研究」との合併科目
MHPS6380	秋	人間関係特論(家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践)	PSY538-82j00	2	*黒沢 幸子		
MHPS6390	秋	福祉心理学特論(福祉分野に関する理論と支援の展開)	PSY592-82j00	2	*河合 美子		
MHPS6400	秋	司法・犯罪心理学特論(司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開)	PSY594-82j00	2	*室城 隆之		
MHPS7440	秋	心理学基礎実習Ⅱ	PSY552-82j00	1	廣瀬 英子		
MHPS7460	秋	心理学特殊実習Ⅱ	PSY557-82j00	1	岡田 隆		
MHPS7520	秋	心理学特殊実習Ⅱ	PSY557-82j00	1	齋藤 慈子		
MHPS7560	秋	心理学特殊実習Ⅱ	PSY557-82j00	1	道又 爾		
MHPS7640	秋	心理学特殊実習Ⅱ	PSY557-82j00	1	廣瀬 英子		
MHPS7710	休講	心理学特殊実習Ⅱ	PSY557-82j00	1			
MHPS9820	秋	修士論文	PSY699-82j00	0	心理学専攻教員		M2対象

5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
PSY599-82j00	岡田 隆	
	毛利 伊吹	
	齋藤 慈子	
	吾妻 壮	
	道又 爾	
	松田 修	
	久田 満	
	横山 恭子	
	廣瀬 英子	
	吉村 聡	
	樋口 匡貴	

心理学専攻 博士前期課程 臨床心理学コース

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

【19年次生以降】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	34		
授業科目			
▶必修科目	24		
└論文演習Ⅰ（前期）	4	2	2年間（2回）履修すること
└論文演習Ⅱ（前期）	4	2	2年間（2回）履修すること
└臨床心理学特論Ⅰ	2		
└臨床心理学特論Ⅱ	2		
└臨床心理面接特論Ⅰ（心理 支援に関する理論と実践）	2		
└臨床心理面接特論Ⅱ	2		
└臨床心理査定演習Ⅰ（心理 的アセスメントに関する理論と実 践）	2		
└臨床心理査定演習Ⅱ	2		
└臨床心理基礎実習Ⅰ	1		
└臨床心理基礎実習Ⅱ	1		
└臨床心理実習Ⅰ	1		
└臨床心理実習Ⅱ	1		
▶選択必修科目	10		
└A群	2		
└B群	2		
└C群	2		
└D群	2		
└E群	2		
▶選択科目			
└自専攻科目			
└自研究科他専攻科目			
└委託聴講科目			8単位まで修了に必要な単位として認められる。 ※ただし、国連大学委託聴講科目は認められない。
研究指導（必修）		4	単位なし、在学中毎学期登録される。 4科目以上合格すること。
修士論文			必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査および試験に 合格すること。修士論文の審査基準は別に定める。 （修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論 文登録をすること）

【18 年次生】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限，その他）
総単位数	34		
授業科目			
▶必修科目	24		
└論文演習Ⅰ（前期）	4	2	2年間（2回）履修すること
└論文演習Ⅱ（前期）	4	2	2年間（2回）履修すること
└臨床心理学特論Ⅰ	2		
└臨床心理学特論Ⅱ	2		
└臨床心理面接特論Ⅰ（心理 支援に関する理論と実践）	2		
└臨床心理面接特論Ⅱ	2		
└臨床心理査定演習Ⅰ（心理 的アセスメントに関する理論と実 践）	2		
└臨床心理査定演習Ⅱ	2		
└臨床心理基礎実習Ⅰ	1		
└臨床心理基礎実習Ⅱ	1		
└臨床心理実習Ⅰ（心理実践 実習）	1		
└臨床心理実習Ⅱ	1		
▶選択必修科目	10		
└A群	2		
└B群	2		
└C群	2		
└D群	2		
└E群	2		
▶選択科目			
└自専攻科目			
└自研究科他専攻科目			
└委託聴講科目			8単位まで修了に必要な単位として認められる。 ※ただし、国連大学委託聴講科目は認められない。
研究指導（必修）		4	単位なし，在学中毎学期登録される。 4科目以上合格すること。
修士論文			必要な研究指導を受けた上，修士論文の審査および試験に 合格すること。修士論文の審査基準は別に定める。 （修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論 文登録をすること）

【研究指導スケジュール】

4月に実施する専攻ガイダンスで配布する「博士前期課程における研究スケジュール」にて、詳細を確認すること。

【修士論文審査基準】

- 1) 問題設定：問題意識が明確で、課題設定が適切であること。
- 2) 先行研究の理解：先行研究を適切に検討、吟味していること。
- 3) 研究方法：研究目的に対し、研究方法等が適切であること。
- 4) 論文構成：論文構成が的確で、論理展開に整合性、一貫性があること。
- 5) 研究の位置づけ：当該分野、領域における社会的・学術的な意義が認められること。
- 6) 倫理的配慮：研究方法の適切性に留意し、研究対象に対する適切な倫理的配慮を行っていること。各種学会、大学等が定める倫理基準を満たしたものであること。
- 7) 形式面：以下の形式面が整っていること。
 - 1) 章・節の構成が適切であり、目次を見ることで全体の論旨が予想できること。
 - 2) 文章が明快で、論旨が明確に理解可能であること。
 - 3) 引用が適切で、引用文献表がきちんと整えられていること。
 - 4) 論文、引用の基本的体裁が「アメリカ心理学会出版マニュアル」および日本心理学会の「執筆・投稿の手引き」に準拠したものであること。

2. 授業科目の編成・単位

科目名 ※(他)：他専攻開講科目	単位数		
	必修	選必	選択
論文演習Ⅰ(前期)	2		
論文演習Ⅱ(前期)	2		
臨床心理学特論Ⅰ ※注4	2		
臨床心理学特論Ⅱ ※注4	2		
臨床心理面接特論Ⅰ (心理支援に関する理論と実践) ※注4	2		
臨床心理面接特論Ⅱ ※注4	2		
臨床心理査定演習Ⅰ (心理的アセスメントに関する理論と実践) ※注4	2		
臨床心理査定演習Ⅱ ※注4	2		
臨床心理基礎実習Ⅰ ※注4	1		
臨床心理基礎実習Ⅱ ※注4	1		
臨床心理実習Ⅰ ※注4	1		
臨床心理実習Ⅰ(心理実践実習) ※注3, 4	1		
臨床心理実習Ⅱ ※注4	1		
< A群 >			
心理学研究法演習		2	
臨床心理学研究法演習 ※注4		2	
< B群 >			
認知心理学特殊研究Ⅰ		2	
認知心理学特殊研究Ⅱ		2	
発達心理学特殊研究Ⅰ		2	
発達心理学特殊研究Ⅱ		2	
心理測定学特殊研究Ⅰ		2	
心理測定学特殊研究Ⅱ		2	
< C群 >			
社会心理学特殊研究Ⅰ		2	
社会心理学特殊研究Ⅱ		2	
コミュニティ心理学特殊研究		2	
人間関係特論(家族関係・集団・地域社会 における心理支援に関する理論と実践)		2	
福祉心理学特論 (福祉分野に関する理論と支援の展開)		2	
司法・犯罪心理学特論(司法・犯罪分野 に関する理論と支援の展開)		2	
(他) 精神保健福祉研究 ※注2		2	

科目名 ※(他)：他専攻開講科目	単位数		
	必修	選必	選択
< D群 >			
精神医学特殊研究(保健医療分野に 関する理論と支援の展開) ※注4		2	
生理心理学特殊研究Ⅰ		2	
生理心理学特殊研究Ⅱ		2	
老年心理学特殊研究		2	
(他) 失語・高次脳機能障害学特論A ※注1		2	
(他) 失語・高次脳機能障害学特論B ※注1		2	
(他) 言語障害研究特殊講義F(学習障害) ※注1		2	
< E群 >			
認知行動療法特殊研究 ※注4		2	
精神分析特殊研究 ※注4		2	
グループ・アプローチ特論		2	
臨床人格心理学特殊研究 ※注4		2	
< 選択科目 >			
心理統計法特論			2
教育臨床特論 (教育分野に関する理論と支援の展開)			2
産業心理学特論 (産業・労働分野に関する理論と支援の展開)			2
心の健康教育特論 (心の健康教育に関する理論と実践)			2
心理学基礎実習Ⅰ			1
心理学基礎実習Ⅱ			1
臨床心理学特殊実習Ⅰ(心理実践実習) ※注4			1
臨床心理学特殊実習Ⅱ(心理実践実習) ※注4			1
心理学特殊実習Ⅰ			1
心理学特殊実習Ⅱ			1
(他) 臨床医学特論D(神経系の基礎と病態・内科学) ※注1			2
(他) 臨床医学特論E(発達障害医学・脳性麻痺) ※注1			2
(他) 言語聴覚病理学特論(医学概論・解剖学・生理学・病理学) ※注1			2
(他) 児童福祉学 ※注2			2
(他) コミュニティーオーガニゼーション研究 ※注2			2

※注1：言語学専攻開講科目

※注2：社会福祉学専攻開講科目

※注3：2018年度のみ開講

※注4：臨床心理学コースに在籍していない学生の履修は認められない

3. 履修上の注意

下記に従って合計 34 単位以上を修得し、指導教員の指導のもとに修士論文を作成・提出することが必要である。

○ 全ての科目は繰り返し履修することが可能であり、修了に必要な単位として認められる。

- 1) 必修 24 単位：「論文演習Ⅰ（前期）」及び「論文演習Ⅱ（前期）」はそれぞれ 2 年間履修する。（8 単位）
- 2) 「研究指導」（必修）は在学中毎学期登録される。4 科目以上合格すること
- 3) 選択必修科目 10 単位：A～E の各群からそれぞれ 2 単位以上ずつ履修する。
- 4) 「心理学特殊実習Ⅰ」及び「心理学特殊実習Ⅱ」を履修しようとする者は、学年初めに専攻主任に届出し、承認を得た後に履修することができる。
- 5) 「心理学基礎実習Ⅰ」及び「心理学基礎実習Ⅱ」を履修しようとする者は、あらかじめ指導教員と相談すること。
- 6) 学年初めの心理学専攻ガイダンスでの説明、およびガイダンス資料に十分留意し、ここで提示される研究指導の説明に従って研究を進めること。
- 7) 不明な点等は指導教員と相談の上、履修を行うこと。
- 8) 前期課程在籍者で、やむをえず 9 月修了を希望する者は、修了予定年度の前年度末までに理由を説明する願い書（書式は自由）を専攻主任に提出し、専攻会議の承認を受けること。特に臨床心理学コースの場合は臨床実習等において実務上の問題を引き起こす可能性があるため、事前に相談室長の了解を得ておくこと。
- 9) 他専攻や他コースに在学中の者が、臨床心理学コースに編入することは認められない。
- 10) 在学中、基礎心理学コースへのコース変更は認められない。
- 11) 修士論文提出予定者は、2 年次に、4 月に開催される修士論文中間発表会に出席し、それまでの研究成果と今後の計画を発表すること。
- 12) 毎年度末に、専攻の定める「研究報告書」を提出すること。

【同一科目対照表】

下記の科目は科目名・単位数・担当者が異なっても変更前と変更後の科目は同一科目とみなす。

変更前		変更後		
科目名	開講年度	科目名	開講年度	備考
臨床心理実習Ⅰ（心理実践実習）	～2018	臨床心理実習Ⅰ	2019～	必修

【公認心理師の受験に必要な科目について】

公認心理師試験を受験するには、次の指定科目を履修しなければならない。指定科目に対応する本学での開講科目は以下の通りである。

	公認心理師指定科目	左記に対応する本学授業科目
①	保健医療分野に関する理論と支援の展開	精神医学特殊研究 (保健医療分野に関する理論と支援の展開)
②	福祉分野に関する理論と支援の展開	福祉心理学特論 (福祉分野に関する理論と支援の展開)
③	教育分野に関する理論と支援の展開	教育臨床特論 (教育分野に関する理論と支援の展開)
④	司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開	司法・犯罪心理学特論 (司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開)
⑤	産業・労働分野に関する理論と支援の展開	産業心理学特論 (産業・労働分野に関する理論と支援の展開)
⑥	心理的アセスメントに関する理論と実践	臨床心理査定演習Ⅰ (心理的アセスメントに関する理論と実践)
⑦	心理支援に関する理論と実践	臨床心理面接特論Ⅰ (心理支援に関する理論と実践)
⑧	家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践	人間関係特論 (家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践)
⑨	心の健康教育に関する理論と実践	心の健康教育特論 (心の健康教育に関する理論と実践)
⑩	心理実践実習	臨床心理学特殊実習Ⅰ，Ⅱ (心理実践実習)

4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※ * :非常勤教員	外国語	備考
MHPS1311	春	論文演習Ⅰ(前期)	PSY501-82j00	2	岡田 隆		
MHPS1321	春	論文演習Ⅰ(前期)	PSY501-82j00	2	毛利 伊吹		
MHPS1331	春	論文演習Ⅰ(前期)	PSY501-82j00	2	齋藤 慈子		
MHPS1341	春	論文演習Ⅰ(前期)	PSY501-82j00	2	吾妻 壮		
MHPS1351	春	論文演習Ⅰ(前期)	PSY501-82j00	2	道又 爾		
MHPS1361	春	論文演習Ⅰ(前期)	PSY501-82j00	2	松田 修		
MHPS1371	春	論文演習Ⅰ(前期)	PSY501-82j00	2	久田 満		
MHPS1381	春	論文演習Ⅰ(前期)	PSY501-82j00	2	横山 恭子		
MHPS1391	春	論文演習Ⅰ(前期)	PSY501-82j00	2	廣瀬 英子		
MHPS1401	春	論文演習Ⅰ(前期)	PSY501-82j00	2	吉村 聡		
MHPS1421	春	論文演習Ⅰ(前期)	PSY501-82j00	2	樋口 匡貴		
MHPS1810	春	臨床心理学特論Ⅰ	PSY511-82j00	2	松田 修		
MHPS1820	秋	臨床心理学特論Ⅱ	PSY512-82j00	2	横山 恭子		
MHPS1830	春	臨床心理面接特論Ⅰ(心理支援に関する理論と実践)	PSY513-82j00	2	毛利 伊吹		
MHPS1840	春	臨床心理面接特論Ⅱ	PSY514-82j00	2	横山 恭子		
MHPS1850	春	臨床心理査定演習Ⅰ(心理的アセスメントに関する理論と実践)	PSY515-82j00	2	吉村 聡 松田 修		輪講
MHPS1870	春	臨床心理基礎実習Ⅰ	PSY517-82j00	1	毛利 伊吹 松田 修 *藤山 直樹		複数同時担当
MHPS2770	春	臨床心理実習Ⅰ	PSY619-82j00	1	横山 恭子 吾妻 壮		複数同時担当
MHPS6230	春	心理測定学特殊研究Ⅰ	PSY523-82j00	2	廣瀬 英子		後期課程「心理測定学上級研究」との合併科目
MHPS6250	春	認知心理学特殊研究Ⅰ	PSY525-82j00	2	道又 爾		後期課程「認知心理学上級研究」との合併科目
MHPS6270	春	精神医学特殊研究(保健医療分野に関する理論と支援の展開)	PSY527-82j00	2	吾妻 壮		
MHPS6290	春	生理心理学特殊研究Ⅰ	PSY529-82j00	2	岡田 隆		
MHPS6310	春	発達心理学特殊研究Ⅰ	PSY531-82j00	2	齋藤 慈子		
MHPS6330	休講	社会心理学特殊研究Ⅰ	PSY533-82j00	2			後期課程「社会心理学上級研究」との合併科目
MHPS6360	春	コミュニティ心理学特殊研究	PSY536-82j00	2	久田 満		後期課程「コミュニティ心理学上級研究」との合併科目
MHPS7390	春	心理学研究法演習	PSY553-82j00	2	齋藤 慈子 岡田 隆 道又 爾		後期課程「心理学研究法上級研究」との合併科目
MHPS7410	春	心理統計法特論	PSY541-82j00	2	*萩生田 伸子		
MHPS7420	春	グループ・アプローチ特論	PSY542-82j00	2	*大沼 幸子		
MHPS7430	春	心理学基礎実習Ⅰ	PSY551-82j00	1	久田 満		
MHPS7450	春	心理学特殊実習Ⅰ	PSY556-82j00	1	岡田 隆		
MHPS7510	春	心理学特殊実習Ⅰ	PSY556-82j00	1	齋藤 慈子		
MHPS7550	春	心理学特殊実習Ⅰ	PSY556-82j00	1	道又 爾		
MHPS7630	春	心理学特殊実習Ⅰ	PSY556-82j00	1	廣瀬 英子		
MHPS7700	休講	心理学特殊実習Ⅰ	PSY556-82j00	1			
MHPS7720	春	臨床心理学特殊実習Ⅰ(心理実践実習)	PSY595-82j00	1	毛利伊吹 他		

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※ * :非常勤教員	外国語	備考
MHPS7810	春	教育臨床特論（教育分野に関する理論と支援の展開）	PSY545-82j00	2	*伊 東 孝 郎		
MHPS7830	集中	産業心理学特論（産業・労働分野に関する理論と支援の展開）	PSY593-82j00	2	*大 塚 泰 正 *小 林 由 佳		2Q集中， 輪講
MHPS7840	集中	心の健康教育特論（心の健康教育に関する理論と実践）	PSY591-82j00	2	*飯 田 敏 晴		2Q集中
MHPS9830	春	修士論文	PSY699-82j00	0	心理学専攻教員		M2対象， 9月修了者対象
MHPS1312	秋	論文演習Ⅱ（前期）	PSY502-82j00	2	岡 田 隆		
MHPS1322	秋	論文演習Ⅱ（前期）	PSY502-82j00	2	毛 利 伊 吹		
MHPS1332	秋	論文演習Ⅱ（前期）	PSY502-82j00	2	齋 藤 慈 子		
MHPS1342	秋	論文演習Ⅱ（前期）	PSY502-82j00	2	吾 妻 壮		
MHPS1352	秋	論文演習Ⅱ（前期）	PSY502-82j00	2	道 又 爾		
MHPS1362	秋	論文演習Ⅱ（前期）	PSY502-82j00	2	松 田 修		
MHPS1372	秋	論文演習Ⅱ（前期）	PSY502-82j00	2	久 田 満		
MHPS1382	秋	論文演習Ⅱ（前期）	PSY502-82j00	2	横 山 恭 子		
MHPS1392	秋	論文演習Ⅱ（前期）	PSY502-82j00	2	廣 瀬 英 子		
MHPS1402	秋	論文演習Ⅱ（前期）	PSY502-82j00	2	吉 村 聡		
MHPS1422	秋	論文演習Ⅱ（前期）	PSY502-82j00	2	樋 口 匡 貴		
MHPS1860	秋	臨床心理査定演習Ⅱ	PSY516-82j00	2	吉 村 聡		
MHPS1880	秋	臨床心理基礎実習Ⅱ	PSY518-82j00	1	毛 利 伊 吹 松 田 修 *藤 山 直 樹		複数同時担当
MHPS2780	秋	臨床心理実習Ⅱ	PSY620-82j00	1	横 山 恭 子 吾 妻 壮		複数同時担当
MHPS6240	秋	心理測定学特殊研究Ⅱ	PSY524-82j00	2	廣 瀬 英 子		「心理測定学特殊研究Ⅰ」を履修済であること
MHPS6260	秋	認知心理学特殊研究Ⅱ	PSY526-82j00	2	道 又 爾		
MHPS6300	秋	生理心理学特殊研究Ⅱ	PSY530-82e00	2	岡 田 隆	○	後期課程「生理心理学上級研究」との合併科目
MHPS6320	秋	発達心理学特殊研究Ⅱ	PSY532-82j00	2	齋 藤 慈 子		後期課程「発達心理学上級研究」との合併科目
MHPS6340	休講	社会心理学特殊研究Ⅱ	PSY534-82e00	2		○	
MHPS6350	秋	老年心理学特殊研究	PSY535-82j00	2	松 田 修		後期課程「老年心理学上級研究」との合併科目
MHPS6370	秋	臨床人格心理学特殊研究	PSY537-82j00	2	吉 村 聡		後期課程「臨床人格心理学上級研究」との合併科目
MHPS6380	秋	人間関係特論（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）	PSY538-82j00	2	*黒 沢 幸 子		
MHPS6390	秋	福祉心理学特論（福祉分野に関する理論と支援の展開）	PSY592-82j00	2	*河 合 美 子		
MHPS6400	秋	司法・犯罪心理学特論（司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開）	PSY594-82j00	2	*室 城 隆 之		
MHPS6790	秋	臨床心理学研究法演習	PSY554-82j00	2	吉 村 聡		
MHPS6810	秋	認知行動療法特殊研究	PSY543-82j00	2	毛 利 伊 吹		後期課程「認知行動療法上級研究」との合併科目
MHPS7440	秋	心理学基礎実習Ⅱ	PSY552-82j00	1	廣 瀬 英 子		
MHPS7460	秋	心理学特殊実習Ⅱ	PSY557-82j00	1	岡 田 隆		

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※ * : 非常勤教員	外国語	備考
MHPS7520	秋	心理学特殊実習Ⅱ	PSY557-82j00	1	齋藤 慈子		
MHPS7560	秋	心理学特殊実習Ⅱ	PSY557-82j00	1	道又 爾		
MHPS7640	秋	心理学特殊実習Ⅱ	PSY557-82j00	1	廣瀬 英子		
MHPS7710	休講	心理学特殊実習Ⅱ	PSY557-82j00	1			
MHPS7730	秋	臨床心理学特殊実習Ⅱ (心理実践実習)	PSY596-82j00	1	吉村 聡他		
MHPS6280	秋	精神分析特殊研究	PSY544-82j00	2	吾妻 壮		後期課程「精神分析上級研究」との 合併科目
MHPS9820	秋	修士論文	PSY699-82j00	0	心理学専攻教員		M2対象

5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
PSY599-82j00	岡田 隆	
	毛利 伊吹	
	齋藤 慈子	
	吾妻 壮	
	道又 爾	
	松田 修	
	久田 満	
	横山 恭子	
	廣瀬 英子	
	吉村 聡	
	樋口 匡貴	

心理学専攻 博士後期課程

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

【18年次生以降】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考 (上限, その他)
総単位数	18		
授業科目			
▶必修科目	12		
└論文演習Ⅰ(後期)	6	3	3年間(3回)履修すること
└論文演習Ⅱ(後期)	6	3	3年間(3回)履修すること
▶選択科目	6		
研究指導(必修)		6	単位なし, 在学中毎学期登録される。 6科目以上合格すること。
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に合格すること。博士論文の審査基準は別に定める。

【17年次生】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考 (上限, その他)
総単位数	12		
授業科目			
▶必修科目	12		
└論文演習Ⅰ(後期)	6	3	3年間(3回)履修すること
└論文演習Ⅱ(後期)	6	3	3年間(3回)履修すること
▶選択科目			
研究指導(必修)		6	単位なし, 在学中毎学期登録される。 6科目以上合格すること。
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に合格すること。博士論文の審査基準は別に定める。

【11~16年次生】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考 (上限, その他)
総単位数	12		
授業科目			
▶必修科目	12		
└論文演習Ⅰ(後期)	6	3	3年間(3回)履修すること
└論文演習Ⅱ(後期)	6	3	3年間(3回)履修すること
▶選択科目			
研究指導(必修)			単位なし, 在学中毎学期登録される。
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に合格すること。博士論文の審査基準は別に定める。

【研究指導スケジュール】

4月に実施する専攻ガイダンスで配布する「博士後期課程における研究スケジュール」にて、詳細を確認すること。

【博士論文審査基準】

自立した研究者として研究を継続遂行し、当該分野・領域の研究において、将来にわたり独自の貢献を行うことができる能力を有することが認められること。

- 1) 問題設定：問題意識が明確で、課題設定が適切であること。
- 2) 先行研究の理解：先行研究を適切に検討、吟味していること。
- 3) 研究方法・分析方法：研究目的に対し、研究方法等が適切であること。
- 4) 論文構成：論文構成が的確で、論理展開に整合性、一貫性があること。
- 5) 研究の位置づけ：当該分野、領域における社会的・学術的な意義が認められること。
- 6) 独創性：全体を通して学術的独創性が認められること。
- 7) 倫理的配慮：研究方法の適切性に留意し、研究対象に対する適切な倫理的配慮を行っていること。各種学会、大学等が定める倫理基準を満たしたものであること。
- 8) 形式面：以下の形式面が整っていること。
 - 1) 章・節の構成が適切であり、目次を見ることで全体の論旨が予想できること。
 - 2) 文章が明快で、論旨が明確に理解可能であること。
 - 3) 引用が適切で、引用文献表がきちんと整えられていること。
 - 4) 論文、引用の基本的体裁が「アメリカ心理学会出版マニュアル」および日本心理学会の「執筆・投稿の手引き」に準拠したものであること。

なお、博士論文に関しては、心理学専攻博士論文内規に基づき、専攻における構想発表会を経たものであること（心理学専攻内規を参照）。

2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
論文演習Ⅰ（後期）	2		
論文演習Ⅱ（後期）	2		
認知心理学上級研究			2
社会心理学上級研究			2
コミュニティ心理学上級研究			2
心理測定学上級研究			2
心理学研究法上級研究			2
発達心理学上級研究			2
老年心理学上級研究			2
認知行動療法上級研究			2
精神分析上級研究			2
生理心理学上級研究			2
臨床人格心理学上級研究			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
がん医療心理学演習Ⅰ			1
がんチーム医療演習Ⅰ			1
がん医療心理学特殊講義Ⅰ			1
がん医療心理学実習Ⅰ			1
がん医療心理学演習Ⅱ			1
がんチーム医療演習Ⅱ			1
がん医療心理学特殊講義Ⅱ			1
がん医療心理学実習Ⅱ			1

3. 履修上の注意

下記に従って 12 単位以上（18 年次生以降は 18 単位以上）を修得し、指導教員の指導のもとに博士論文を作成・提出することが必要である。

○ 全ての科目は繰り返し履修することが可能であり、修了に必要な単位として認められる。

- 1) 必修 12 単位：「論文演習Ⅰ（後期）」及び「論文演習Ⅱ（後期）」を 3 年間履修する。
- 2) 選択 6 単位：18 年次生以降は、選択科目群の中から、6 単位以上の履修が求められる。なお、履修にあたっては、あらかじめ指導教員と相談すること。
- 3) 11 年次生以降の学生については、「研究指導」（必修）は在学中毎学期登録される。なお、2017 年次生以降の学生については、6 科目以上合格すること。
- 4) 博士前期課程開講の「心理学特殊実習Ⅰ」及び「心理学特殊実習Ⅱ」を履修しようとする者は、学年初めに専攻主任に届出し、承認を得た後に履修することができる。
- 5) 博士前期課程開講の「心理学基礎実習Ⅰ」及び「心理学基礎実習Ⅱ」を履修しようとする者は、あらかじめ指導教員と相談すること。
- 6) 博士後期課程にあつて博士論文未提出に終わる場合には、3 年次の大学院（満期）修了時に、後期課程における研究報告書を専攻に提出すること。報告書は、心理学専攻修了者研究報告集の書式に従い（4000 字程度、報告書 2 ページ分）、在籍中の研究成果（学会発表の内容等）を具体的に盛り込むこと。なお、学会誌発表あるいはそれに準ずる論文がある場合は、業績一覧（2000 字程度、報告書 1 ページ分）をもって研究報告書に代えることができる。業績一覧の書式、内容については、専攻に問い合わせること。
- 7) 年初めの心理学専攻ガイダンスでの説明、およびガイダンス資料に十分留意し、ここで提示される研究指導の説明に従って研究を進め、博士号の取得を目指すこと。
- 8) 不明な点は指導教員と相談の上、履修を行うこと。
- 9) 毎年度末に、専攻の定める「研究報告書」を提出すること。
- 10) 博士論文提出者は、審査願提出時に 2 編以上の研究論文が学術誌に掲載されていること（掲載決定を含む）。提出に際しては、心理学専攻の定める「学位（博士）論文の審査手続きに関する内規」に従って、所定の手続きをとること。

[がん医療心理学関連科目]

2013 年度より開設された 4 大学院の連携授業（「がん医療心理学演習Ⅰ」，「がん医療心理学特殊講義Ⅰ」など）について，8 単位以上を取得したときに，修了認定証が与えられる。なお，履修に際しては，講義，演習，実習，ワークショップの異なる種別の科目を履修することが望ましい。詳細は専攻主任に確認すること。また，これらの科目の履修にあたっては，あらかじめ専攻主任に相談すること。

4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※ * :非常勤教員	外国語	備考
DHPS3311	春	論文演習Ⅰ(後期)	PSY811-82j00	2	岡田 隆		
DHPS3321	春	論文演習Ⅰ(後期)	PSY811-82j00	2	毛利 伊吹		
DHPS3331	春	論文演習Ⅰ(後期)	PSY811-82j00	2	齋藤 慈子		
DHPS3341	春	論文演習Ⅰ(後期)	PSY811-82j00	2	吾妻 壮		
DHPS3351	春	論文演習Ⅰ(後期)	PSY811-82j00	2	道又 爾		
DHPS3361	春	論文演習Ⅰ(後期)	PSY811-82j00	2	松田 修		
DHPS3371	春	論文演習Ⅰ(後期)	PSY811-82j00	2	久田 満		
DHPS3381	春	論文演習Ⅰ(後期)	PSY811-82j00	2	横山 恭子		
DHPS3391	春	論文演習Ⅰ(後期)	PSY811-82j00	2	廣瀬 英子		
DHPS3401	春	論文演習Ⅰ(後期)	PSY811-82j00	2	吉村 聡		
DHPS3421	春	論文演習Ⅰ(後期)	PSY811-82j00	2	樋口 匡貴		
DHPS7000	春	認知心理学上級研究	PSY833-82j00	2	道又 爾		前期課程「認知心理学特殊研究Ⅰ」と合併
DHPS7010	休講	社会心理学上級研究	PSY838-82j00	2			前期課程「社会心理学特殊研究Ⅰ」と合併
DHPS7020	春	コミュニティ心理学上級研究	PSY835-82j00	2	久田 満		前期課程「コミュニティ心理学特殊研究」と合併
DHPS7030	春	心理測定学上級研究	PSY836-82j00	2	廣瀬 英子		前期課程「心理測定学特殊研究Ⅰ」と合併
DHPS7040	春	心理学研究法上級研究	PSY840-82j00	2	齋藤 慈子 岡田 隆 道又 爾		前期課程「心理学研究法演習」と合併
DHPS3510	集中	がん医療心理学演習Ⅰ	PSY821-82j00	1	心理学専攻教員 他		春学期集中, 4大学院の連携授業
DHPS3530	春	がん医療心理学特殊講義Ⅰ	PSY825-82j00	1	心理学専攻教員 他		4大学院の連携授業
DHPS3520	春	がんチーム医療演習Ⅰ	PSY823-82j00	1	心理学専攻教員 他		4大学院の連携授業
DHPS3540	春	がん医療心理学実習Ⅰ	PSY827-82j00	1	心理学専攻教員 他		4大学院の連携授業
DHPS3312	秋	論文演習Ⅱ(後期)	PSY812-82j00	2	岡田 隆		
DHPS3322	秋	論文演習Ⅱ(後期)	PSY812-82j00	2	毛利 伊吹		
DHPS3332	秋	論文演習Ⅱ(後期)	PSY812-82j00	2	齋藤 慈子		
DHPS3342	秋	論文演習Ⅱ(後期)	PSY812-82j00	2	吾妻 壮		
DHPS3352	秋	論文演習Ⅱ(後期)	PSY812-82j00	2	道又 爾		
DHPS3362	秋	論文演習Ⅱ(後期)	PSY812-82j00	2	松田 修		
DHPS3372	秋	論文演習Ⅱ(後期)	PSY812-82j00	2	久田 満		
DHPS3382	秋	論文演習Ⅱ(後期)	PSY812-82j00	2	横山 恭子		
DHPS3392	秋	論文演習Ⅱ(後期)	PSY812-82j00	2	廣瀬 英子		
DHPS3402	秋	論文演習Ⅱ(後期)	PSY812-82j00	2	吉村 聡		
DHPS3422	秋	論文演習Ⅱ(後期)	PSY812-82j00	2	樋口 匡貴		
DHPS7050	秋	発達心理学上級研究	PSY839-82j00	2	齋藤 慈子		前期課程「発達心理学特殊研究Ⅱ」と合併
DHPS7060	秋	老年心理学上級研究	PSY834-82j00	2	松田 修		前期課程「老年心理学特殊研究」と合併
DHPS7070	秋	認知行動療法上級研究	PSY831-82j00	2	毛利 伊吹		前期課程「認知行動療法特殊研究」と合併
DHPS7080	秋	精神分析上級研究	PSY832-82j00	2	吾妻 壮		前期課程「精神分析特殊研究」と合併
DHPS7090	秋	生理心理学上級研究	PSY830-82e00	2	岡田 隆	○	前期課程「生理心理学特殊研究Ⅱ」と合併
DHPS7100	秋	臨床人格心理学上級研究	PSY837-82j00	2	吉村 聡		前期課程「臨床人格心理学特殊研究」と合併
DHPS3511	集中	がん医療心理学演習Ⅱ	PSY822-82j00	1	心理学専攻教員 他		秋学期集中, 4大学院の連携授業
DHPS3531	秋	がん医療心理学特殊講義Ⅱ	PSY826-82j00	1	心理学専攻教員 他		4大学院の連携授業
DHPS3521	秋	がんチーム医療演習Ⅱ	PSY824-82j00	1	心理学専攻教員 他		4大学院の連携授業
DHPS3541	秋	がん医療心理学実習Ⅱ	PSY828-82j00	1	心理学専攻教員 他		4大学院の連携授業

5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
PSY899-82j00	岡 田 隆	
	毛 利 伊 吹	
	齋 藤 慈 子	
	吾 妻 壮	
	道 又 爾	
	松 田 修	
	久 田 満	
	横 山 恭 子	
	廣 瀬 英 子	
	吉 村 聡	
	樋 口 匡 貴	

社会学専攻 博士前期課程

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	30		
授業科目			
▶必修科目	8		
└社会学理論	2		
└社会学方法論	2		
└論文演習Ⅰ	2		
└論文演習Ⅱ	2		
▶選択科目	22		
└自専攻科目			
└自研究科他専攻科目			
└委託聴講科目			10単位まで修了に必要な単位として認める。
研究指導（必修）		4	単位なし, 在学中毎学期登録される。 4科目以上合格すること。
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に合格すること。 (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること) 修士論文の審査基準は別に定める。

【研究指導スケジュール】

4月に実施する専攻ガイダンスで配布する資料の研究スケジュールにて, 詳細を確認すること。

【修士論文審査基準】

- 1) 明確な問題意識により課題設定がなされていること。
- 2) 論文全体が的確に構成され, 統合的で一貫した論理展開がなされていること。
- 3) 研究対象分野における既存の研究成果が適切に検討・理解されていること。
- 4) 当該分野に関する知識の向上に対して何らかの貢献が行われていること。
- 5) 文章表現が明快であること。

2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
社会学理論	2		
社会学方法論	2		
比較雇用関係論 I			2
比較雇用関係論 II			2
地域社会論特講 I			2
地域社会論特講 II			2
SEMINAR ON SOCIAL MOVEMENTS			2
歴史社会学特講			2
宗教社会学特講 I			2
宗教社会学特講 II			2
経済と組織の社会学 I ※注1			2
経済と組織の社会学 II ※注1			2
ライフスタイルと社会政策 I			2
ライフスタイルと社会政策 II			2
グローバル化と国際移動と人権			2
SEMINAR ON GLOBALIZATION, INTERNATIONAL MIGRATION AND HUMAN RIGHTS			2

科目名 ※(他)：他専攻開講科目	単位数		
	必修	選必	選択
ライフコース研究 I			2
ライフコース研究 II			2
SEMINAR ON SOCIAL CHANGE 1			2
SEMINAR ON SOCIAL CHANGE 2			2
SEMINAR ON SOCIAL CHANGE ※注1			2
ジェンダーと自己・社会構造 I			2
ジェンダーと自己・社会構造 II			2
現代社会理論特講			2
社会学研究法 I			2
社会学研究法 II			2
(他) グローバル市民社会論研究1 (基礎) ※注2			2
(他) グローバル市民社会論研究2 (応用) ※注2			2
(他) 国際社会学研究1 (基礎) ※注2			2
(他) 国際社会学研究2 (応用) ※注2			2
論文演習 I (M2)	2		
論文演習 II (M2)	2		

※注1：2019年度まで開講

※注2：国際関係論専攻開講科目

3. 履修上の注意

- 1) 本専攻では前期課程2年間において、30単位以上（「論文演習 I・II」4単位を含む）を履修し、修士論文を提出することを修了の必須要件とする。
- 2) 毎年度4月に開催される専攻ガイダンスにおける指示に従って、各自専任教員一名を指導教員として定め、その指導のもとに所定の科目を履修し、かつ論文を作成すること。
- 3) 「論文演習 I・II」は、原則として指導教員による科目のみを履修することとし、同一学期に複数の科目を履修することはできない。
- 4) 「研究指導」（必修）は在学中毎学期登録される。4科目以上合格すること。
- 5) 毎年度、専攻の定める「研究計画書」を4月末までに、及び「研究報告書」を2月末までに提出すること。
- 6) 修士論文提出予定者は「提出予定書」を7月末までに、及び「題目届」を11月末までに提出すること。

4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※ * : 非常勤教員	外国語	備考
MHSC1110	春	社会学理論	SOC504-83j00	2	田 渕 六 郎 芳 賀 学		輪講
MHSC1120	秋	社会学方法論	SOC505-83m00	2	HOMMERICH, Carola	○	
MHSC2431	春	論文演習 I	SOC601-83j00	2	芳 賀 学		M2対象
MHSC2461	春	論文演習 I	SOC601-83j00	2	田 渕 六 郎		M2対象
MHSC2441	春	論文演習 I	SOC601-83j00	2	藤 村 正 之		M2対象
MHSC2481	春	論文演習 I	SOC601-83j00	2	植 田 今日子		M2対象
MHSC2491	春	論文演習 I	SOC601-83j00	2	今 井 順		M2対象
MHSC2471	春	論文演習 I	SOC601-83j00	2	猿 谷 弘 江		M2対象
MHSC2501	春	論文演習 I	SOC601-83j00	2	HOMMERICH, Carola		M2対象
MHSC7130	春	宗教社会学特講 I	SOC511-83j00	2	芳 賀 学		後期課程「宗教社会学応用研究 I」 との合併科目
MHSC7170	春	ライフスタイルと社会政策 I	SOC513-83j00	2	藤 村 正 之		後期課程「ライフスタイルと社会政策 応用研究 I」との合併科目
MHSC7210	春	ライフコース研究 I	SOC508-83j00	2	田 渕 六 郎		後期課程「ライフコース応用研究 I」との合併科目
MHSC7290	春	歴史社会学特講	SOC517-83j00	2	猿 谷 弘 江		後期課程「歴史社会学応用研究」と の合併科目
MHSC7320	春	比較雇用関係論 I	SOC521-83j00	2	今 井 順		後期課程「比較雇用関係論応用研究 I」との合併科目
MHSC7300	春	地域社会論特講 I	SOC519-83j00	2	植 田 今日子		後期課程「地域社会論応用研究 I」 との合併科目
MHSC7230	春	グローバル化と国際移動と人権	SOC502-83j00	2	細木 一十稔 ラルフ		後期課程「グローバル化と国際移動 と人権応用研究」との合併科目
MHSC7339	春	SEMINAR ON SOCIAL CHANGE 1	SOC523-83e00	2	HOMMERICH, Carola	○	後期課程「ADVANCED STUDIES IN SOCIAL CNANGE 1」との合併科目
MHSC7350	休講	ジェンダーと自己・社会構造 I	SOC524-83j00	2			後期課程「ジェンダーと自己・社会 構造応用研究 I」との合併科目
MHSC7260	春	社会学研究法 I	SOC515-83j00	2	*杉 野 勇		隔年開講
MHSC2432	秋	論文演習 II	SOC602-83j00	2	芳 賀 学		M2対象
MHSC2462	秋	論文演習 II	SOC602-83j00	2	田 渕 六 郎		M2対象
MHSC2442	秋	論文演習 II	SOC602-83j00	2	藤 村 正 之		M2対象
MHSC2482	秋	論文演習 II	SOC602-83j00	2	植 田 今日子		M2対象
MHSC2492	秋	論文演習 II	SOC602-83j00	2	今 井 順		M2対象
MHSC2472	秋	論文演習 II	SOC602-83j00	2	猿 谷 弘 江		M2対象
MHSC2502	秋	論文演習 II	SOC602-83j00	2	HOMMERICH, Carola		M2対象
MHSC7140	秋	宗教社会学特講 II	SOC512-83j00	2	芳 賀 学		後期課程「宗教社会学応用研究 II」 との合併科目
MHSC7180	秋	ライフスタイルと社会政策 II	SOC514-83j00	2	藤 村 正 之		後期課程「ライフスタイルと社会政策 応用研究 II」との合併科目
MHSC7220	秋	ライフコース研究 II	SOC509-83j00	2	田 渕 六 郎		後期課程「ライフコース応用研究 II」との合併科目
MHSC7280	秋	SEMINAR ON SOCIAL MOVEMENTS	SOC518-83e00	2	猿 谷 弘 江	○	後期課程「ADVANCED STUDIES IN SOCIAL MOVEMENTS」との合併科目
MHSC7310	秋	地域社会論特講 II	SOC520-83j00	2	植 田 今日子		後期課程「地域社会論応用研究 II」 との合併科目
MHSC7330	秋	比較雇用関係論 II	SOC522-83j00	2	今 井 順		後期課程「比較雇用関係論応用研究 II」との合併科目

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※ * : 非常勤教員	外国語	備考
MHSC7240	秋	SEMINAR ON GLOBALIZATION, INTERNATIONAL MIGRATION AND HUMAN RIGHTS	SOC503-83e00	2	細木 一十稔 ラルフ	○	後期課程「ADVANCED STUDIES IN GLOBALIZATION, INTERNATIONAL MIGRATION AND HUMAN RIGHTS」との合併科目
MHSC7340	秋	SEMINAR ON SOCIAL CHANGE 2	SOC525-83e00	2	HOMMERICH, Carola	○	後期課程「ADVANCED STUDIES IN SOCIAL CHANGE 2」との合併科目 「SEMINAR ON SOCIAL CHANGE」と同一科目
MHSC7360	秋	ジェンダーと自己・社会構造Ⅱ	SOC526-83j00	2	石井 由香理		後期課程「ジェンダーと自己・社会構造応用研究Ⅱ」との合併科目
MHSC7250	秋	現代社会理論特講	SOC510-83j00	2	*出口 剛 司		
MHSC9360	秋	修士論文	SOC699-83j00	0	社会学専攻各指導教員		M2対象
MHSC9361	春	修士論文	SOC699-83j00	0	社会学専攻各指導教員		M2対象, 9月修了者対象
MHSC7270	休講	社会学研究法Ⅱ	SOC516-83j00	2			隔年開講

5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
SOC599-83j00	植田 今日子	
	芳賀 学	
	藤村 正之	
	田渕 六郎	
	猿谷 弘江	
	今井 順	
	HOMMERICH, Carola	

社会学専攻 博士後期課程

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

【18年次生以降】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	6		
授業科目			
▶選択科目	6	3	
研究指導（必修）		6	単位なし, 在学中毎学期登録される。 6科目以上合格すること。
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に合格すること。 博士論文の審査基準は別に定める。

【17年次生】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数			
授業科目			
▶選択科目			
研究指導（必修）		6	単位なし, 在学中毎学期登録される。 6科目以上合格すること。
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に合格すること。 博士論文の審査基準は別に定める。

【12～16年次生】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数			
授業科目			
▶選択科目			
研究指導（必修）			単位なし, 在学中毎学期登録される。
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に合格すること。 博士論文の審査基準は別に定める。

【研究指導スケジュール】

4月に実施する専攻ガイダンスで配布する「博士後期課程における研究スケジュール」にて, 詳細を確認すること。

【博士論文審査基準】

- 1) 明確な問題意識により課題設定がなされていること。
- 2) 論文全体が的確に構成され, 統合的で一貫した論理展開がなされていること。
- 3) 研究対象分野における既存の研究成果が網羅的に検討され, 十分に理解されていること。
- 4) 当該分野に関する知識に対して独自の貢献が行われていること。具体的には, 新たな事実の発見や自立した批判的思考を通して独創性が示されていること。
- 5) 文章表現が明快であること。

2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
比較雇用関係論応用研究Ⅰ			2
比較雇用関係論応用研究Ⅱ			2
地域社会論応用研究Ⅰ			2
地域社会論応用研究Ⅱ			2
ADVANCED STUDIES IN SOCIAL MOVEMENTS			2
歴史社会学応用研究			2
宗教社会学応用研究Ⅰ			2
宗教社会学応用研究Ⅱ			2
ライフスタイルと社会政策応用研究Ⅰ			2
ライフスタイルと社会政策応用研究Ⅱ			2
グローバル化と国際移動と人権 応用研究			2
ADVANCED STUDIES IN GLOBALIZATION, INTERNATIONAL MIGRATION AND HUMAN RIGHTS			2
ライフコース応用研究Ⅰ			2
ライフコース応用研究Ⅱ			2
ADVANCED STUDIES IN SOCIAL CHANGE 1			2
ADVANCED STUDIES IN SOCIAL CHANGE 2			2
ADVANCED STUDIES IN SOCIAL CHANGE ※注1			2
ジェンダーと自己・社会構造応用研究Ⅰ			2
ジェンダーと自己・社会構造応用研究Ⅱ			2

※注1：2019年度まで開講

3. 履修上の注意

【全学年共通】

- 1) 毎年度専攻の定める「研究計画書」を4月末までに、及び「研究報告書」を2月末までに提出すること。
- 2) 社会学専攻博士前期課程の選択科目も履修することが出来る。(p.141～142 参照のこと)

【18年次生以降】

後期課程を修了するためには3年以上在学し、「研究指導」を毎学期履修すること（在学中、毎学期登録される。）。また、後期課程選択科目（前期課程との合併科目）を6単位以上修得することと、「研究指導」6科目以上合格することを修了の要件とする。

【12年次生～17年次生】

後期課程を修了するためには3年以上在学し、「研究指導」を毎学期履修すること（在学中、毎学期登録される。）。なお、2017年次生については、6科目以上合格すること。

4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※ * : 非常勤教員	外国語	備考
DHSC7030	春	宗教社会学応用研究 I	SOC803-83j00	2	芳賀 学		前期課程「宗教社会学特講 I」との合併科目
DHSC7110	春	ライフスタイルと社会政策 応用研究 I	SOC809-83j00	2	藤村 正之		前期課程「ライフスタイルと社会政策 I」との合併科目
DHSC7050	春	ライフコース応用研究 I	SOC805-83j00	2	田渕 六郎		前期課程「ライフコース研究 I」との合併科目
DHSC7010	春	歴史社会学応用研究	SOC801-83j00	2	猿谷 弘江		前期課程「歴史社会学特講」との合併科目
DHSC7130	春	比較雇用関係論応用研究 I	SOC811-83j00	2	今井 順		前期課程「比較雇用関係論 I」との合併科目
DHSC7090	春	地域社会論応用研究 I	SOC807-83j00	2	植田 今日子		前期課程「地域社会論特講 I」との合併科目
DHSC7070	春	グローバル化と国際移動と人権 応用研究	SOC815-83j00	2	細木 一十稔 ラルフ		前期課程「グローバル化と国際移動と人権」との合併科目
DHSC7169	春	ADVANCED STUDIES IN SOCIAL CHANGE 1	SOC818-83e00	2	HOMMERICH, Carola	○	前期課程「SEMINAR ON SOCIAL CHANGE 1」との合併科目
DHSC7180	休講	ジェンダーと自己・社会構造 応用研究 I	SOC819-83j00	2			前期課程「ジェンダーと自己・社会構造 I」との合併科目
DHSC7040	秋	宗教社会学応用研究 II	SOC804-83j00	2	芳賀 学		前期課程「宗教社会学特講 II」との合併科目
DHSC7120	秋	ライフスタイルと社会政策 応用研究 II	SOC810-83j00	2	藤村 正之		前期課程「ライフスタイルと社会政策 II」との合併科目
DHSC7060	秋	ライフコース応用研究 II	SOC806-83j00	2	田渕 六郎		前期課程「ライフコース研究 II」との合併科目
DHSC7020	秋	ADVANCED STUDIES IN SOCIAL MOVEMENTS	SOC802-83e00	2	猿谷 弘江	○	前期課程「SEMINAR ON SOCIAL MOVEMENTS」との合併科目
DHSC7100	秋	地域社会論応用研究 II	SOC808-83j00	2	植田 今日子		前期課程「地域社会論特講 II」との合併科目
DHSC7140	秋	比較雇用関係論応用研究 II	SOC812-83j00	2	今井 順		前期課程「比較雇用関係論 II」との合併科目
DHSC7080	秋	ADVANCED STUDIES IN GLOBALIZATION, INTERNATIONAL MIGRATION AND HUMAN RIGHTS	SOC816-83e00	2	細木 一十稔 ラルフ	○	前期課程「SEMINAR ON GLOBALIZATION, INTERNATIONAL MIGRATION AND HUMAN RIGHTS」との合併科目
DHSC7170	秋	ADVANCED STUDIES IN SOCIAL CHANGE 2	SOC820-83e00	2	HOMMERICH, Carola	○	前期課程「SEMINAR ON SOCIAL CHANGE 2」との合併科目 「ADVANCED STUDIES IN SOCIAL CHANGE」と同一科目
DHSC7190	秋	ジェンダーと自己・社会構造 応用研究 II	SOC821-83j00	2	石井 由香理		前期課程「ジェンダーと自己・社会構造 II」との合併科目

5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
SOC899-83j00	植 田 今日子	
	芳 賀 学	
	藤 村 正 之	
	田 淵 六 郎	
	猿 谷 弘 江	
	今 井 順	
	HOMMERICH, Carola	

社会福祉学専攻 博士前期課程

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

【18年次生以降】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	30		
授業科目			
▶必修科目	4		
└社会福祉研究法基礎	4		
▶選択科目	26		
└自専攻科目			
└自研究科他専攻科目			
└委託聴講科目			10単位まで修了に必要な単位として認められる。
指導科目			
研究指導（必修）		4 (6)	単位なし, 在学中毎学期登録される。 4科目以上（長期履修学生は6科目以上）合格すること。
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に合格すること。修士論文の審査基準は別に定める。 (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること)

【17年次生】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	30		
授業科目			
▶必修科目	4		
└社会福祉研究法基礎演習	4		
▶選択科目	26		
└自専攻科目			
└自研究科他専攻科目			
└委託聴講科目			10単位まで修了に必要な単位として認められる。
指導科目			
研究指導（必修）		4 (6)	単位なし, 在学中毎学期登録される。 4科目以上（長期履修学生は6科目以上）合格すること。
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に合格すること。修士論文の審査基準は別に定める。 (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること)

【13～16年次生】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限，その他）
総単位数	30		
授業科目			
・必修科目	4		
└社会福祉研究法基礎演習	4		
・選択科目	26		
└自専攻科目			
└自研究科他専攻科目			
└委託聴講科目			10単位まで修了に必要な単位として認められる。
指導科目			
研究指導（必修）			単位なし，在学中毎学期登録される。
修士論文			必要な研究指導を受けた上，修士論文の審査および試験に合格すること。修士論文の審査基準は別に定める。 （修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること）

【12年次生】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限，その他）
総単位数	30		
授業科目			
・必修科目	2		
└社会福祉研究法基礎演習	2		
・選択科目	28		
└自専攻科目			
└自研究科他専攻科目			
└委託聴講科目			10単位まで修了に必要な単位として認められる。
指導科目			
研究指導（必修）			単位なし，在学中毎学期登録される。
修士論文			必要な研究指導を受けた上，修士論文の審査および試験に合格すること。修士論文の審査基準は別に定める。 （修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること）

【研究指導スケジュール】

4月に実施する専攻別ガイダンスで配布する「社会福祉学専攻 博士前期課程 研究指導計画」にて，詳細を確認すること。

【修士論文審査基準】

- 1) 研究テーマの設定が適切であり，社会福祉の理念・政策・実践との関連付けが明確であること。
- 2) 先行研究を的確に踏まえ，レビューが十分になされていること。
- 3) 研究目的に照らして研究方法が妥当であり，明確な結果が導き出されていること。
- 4) 論文構成が明快であり，論理の展開に一貫性があること。
- 5) 考察および結論に新たな知見が含まれていること。
- 6) 研究倫理上の問題がないこと。
- 7) 日本社会福祉学会誌執筆要領(注および文献の表示等)ないし社会政策学会誌執筆要領等に適合しており，学術論文としての体裁が整っていること。

2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
社会福祉研究法基礎演習 ※注1, 注2	4		
社会福祉研究法基礎	4		
福祉政策運営管理研究法基礎演習 ※注2			2
福祉政策運営管理研究法基礎			2
福祉臨床研究法基礎演習 ※注2			2
福祉臨床研究法基礎			2
ACADEMIC PRESENTATION AND WRITING SKILLS FOR GRADUATE STUDENTS IN SOCIAL WORK ※注3			2
QUALITATIVE SOCIAL WORK RESEARCH			1
SOCIAL WORK WITH SELF-HELP GROUPS			1
社会福祉政策学 ※注2			2
社会福祉政策学Ⅰ			1
社会福祉政策学Ⅱ			1
社会福祉運営計画論Ⅰ ※注4			2
社会福祉経営学			2
福祉サービス経営管理論 ※注2			2
福祉サービス経営管理論Ⅰ			1
福祉サービス経営管理論Ⅱ			1
社会保障特殊講義			2
社会政策とジェンダー			2
統計調査研究			2
ソーシャルワーク実践理論研究 ※注4			2
ソーシャルケースワーク研究			2
コミュニティーオーガニゼーション研究			2
当事者福祉研究			2
障害者福祉学 ※注3			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
知的障害者福祉学			2
児童福祉学			2
精神保健福祉研究			2
精神科ソーシャルワーク研究 ※注4			2
医療ソーシャルワーク研究 ※注2			2
医療ソーシャルワーク研究Ⅰ			1
医療ソーシャルワーク研究Ⅱ			1
司法福祉研究			2
ORGANIZATIONAL MANAGEMENT AND LEADERSHIP			1
権利擁護関係法制論			2
リスクマネジメント事例研究			2
生活構造論研究			2
SOCIAL WORK RESEARCH ※注4			2
SOCIAL WORK THEORIES ※注4			2
JAPAN'S SOCIAL SECURITY SYSTEM : INSURING THE WORLD'S OLDEST COUNTRY			1
社会福祉フィールドワークA			0
社会福祉フィールドワークB			2
援助事例分析A			0
援助事例分析B			2
地域事例分析A ※注2			0
地域事例分析B ※注2			2
社会政策・経営事例分析A			0
社会政策・経営事例分析B			2

※注1 12年次生以前は2単位

※注2 2017年度まで開講

※注3 2018年度まで開講

※注4 2019年度まで開講

3. 履修上の注意

- 4月の専攻別ガイダンスで配布する「社会福祉学専攻履修上の注意」に従って履修すること。
- 専任教員1名を指導教員として定め、その教員の研究指導計画のもとで研究計画を練り、研究の報告や修士論文の作成を行うこと。
- 当該年度に修士論文を提出する予定の者は、10月初旬の研究進捗報告会において研究内容を発表して指導を受けること。
- すべての科目は繰り返し履修することが可能であり、修了に必要な単位として認められる。
必修科目「社会福祉研究法基礎演習」及び「社会福祉研究法基礎」を重複して履修した場合の超過単位数は、選択科目に充当する。
- 前期課程において30単位以上を修得するとともに、「研究指導」（単位なし）を毎学期履修し、修士論文を提出すること。
- 「研究指導」は在学中毎学期登録される。なお、2017年次生以降の学生は、4科目以上（長期履修学生は6科目以上）合格すること。
- 1年間に複数教員の「社会福祉フィールドワーク」を受講することはできない。
- 「援助事例分析」と「社会政策・経営事例分析」は、合わせて1年間2教員まで履修することができる。また1年

間に、「援助事例分析」の中の2教員までの科目、「社会政策・経営事例分析」の中の2教員までの科目を履修することができる。

- 9) 「社会福祉フィールドワーク」、「援助事例分析」、「社会政策・経営事例分析」は、原則として春学期にA、秋学期にBを登録することとする。ただし、留学等やむを得ない事情がある場合は、事前に専攻主任に相談すること。また、各科目はA、Bとも同一の教員が開講しているものを登録しなければならない。
- 10) 「社会福祉フィールドワークA」、「援助事例分析A」、「社会政策・経営事例分析A」の評価には、P（合格）、X（不合格）を使用する。
- 11) 「社会福祉政策学Ⅰ・Ⅱ」、「福祉サービス経営管理論Ⅰ・Ⅱ」、「医療ソーシャルワーク研究Ⅰ・Ⅱ」は、原則としてⅠとⅡを両科目とも履修することが望ましい。

【カリキュラムの変更に伴う新旧科目の対応と履修単位の読み替え措置について】

新旧科目の対応と履修単位の読み替えは、以下の表により、対応する科目は同一科目とみなす。

変更前		変更後	
科目名	開講年度	科目名	開講年度
社会福祉フィールドワーク（2）	～2014	社会福祉フィールドワークA（0） 社会福祉フィールドワークB（2）	2015～
援助事例分析（2）	～2014	援助事例分析A（0） 援助事例分析B（2）	2015～
地域事例分析（2）	～2014	社会政策・経営事例分析A（0） 社会政策・経営事例分析B（2）	2018～
地域事例分析A（0） 地域事例分析B（2）	～2017		
社会福祉研究法基礎演習（4）	～2017	社会福祉研究法基礎（4）	2018～
福祉政策運営管理研究法基礎演習（2）	～2017	福祉政策運営管理研究法基礎（2）	2018～
福祉臨床研究法基礎演習（2）	～2017	福祉臨床研究法基礎（2）	2018～
社会福祉政策学（2）	～2017	社会福祉政策学Ⅰ（1）	2018～
		社会福祉政策学Ⅱ（1）	
医療ソーシャルワーク研究（2）	～2017	医療ソーシャルワーク研究Ⅰ（1）	2018～
		医療ソーシャルワーク研究Ⅱ（1）	
福祉サービス経営管理論（2）	～2017	福祉サービス経営管理論Ⅰ（1）	2018～
		福祉サービス経営管理論Ⅱ（1）	

（ ）は単位数

4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※ * : 非常勤教員	外国語	備考
MHSV1020	春	社会福祉研究法基礎	SSV501-84j00	4	岡 知 史 柄 本 一三郎 丸 山 桂		輪講, M1必修 後期課程科目「研究法特殊講義」との合併科目 2017年度以前開講「社会福祉研究法基礎演習」と同一科目
MHSV7070	春	社会福祉経営学	SSV604-84j00	2	藤 井 賢一郎		
MHSV7140	春	権利擁護関係法制論	SSV605-84j00	2	*佐藤 彰 一		
MHSV7250	1Q	ソーシャルケースワーク研究	SSV513-84j00	2	高 山 恵理子		
MHSV7510	春	知的障害者福祉学	SSV510-84j00	2	笠 原 千 絵		
MHSV7080	春	統計調査研究	SSV531-84j00	2	丸 山 桂		
MHSV7460	春	当事者福祉研究	SSV602-84j00	2	岡 知 史		隔年開講, 後期課程科目「質的研究法特殊研究」との合併科目
MHSV7520	2Q	ORGANIZATIONAL MANAGEMENT AND LEADERSHIP	SSV532-84e00	1	JAMES, Michael Mandiberg	○	
MHSV7020	秋	福祉政策運営管理研究法基礎	SSV502-84j00	2	柄 本 一三郎 藤 井 賢一郎 丸 山 桂		輪講 2017年度以前開講「福祉政策運営管理研究法基礎演習」と同一科目
MHSV7030	秋	福祉臨床研究法基礎	SSV503-84j00	2	コデ ^イ ネ ^タ 笠 原 千 絵 岡 知 史 *和 気 純 子		輪講 2017年度以前開講「福祉臨床研究法基礎演習」と同一科目
MHSV7040	3Q	社会福祉政策学 I	SSV610-84j00	1	柄 本 一三郎		後期課程科目「社会福祉政策学特殊研究 I」との合併科目
MHSV7060	4Q	社会福祉政策学 II	SSV611-84j00	1	柄 本 一三郎		後期課程科目「社会福祉政策学特殊研究 II」との合併科目
MHSV7160	秋	生活構造論研究	SSV606-84j00	2	*山 田 知 子		
MHSV7180	秋	精神保健福祉研究	SSV601-84j00	2	*藤 井 達 也		
MHSV7230	秋	司法福祉研究	SSV608-84j00	2	*伊 藤 富士江		
MHSV7240	3Q	医療ソーシャルワーク研究 I	SSV612-84j00	1	高 山 恵理子		
MHSV7260	3Q	医療ソーシャルワーク研究 II	SSV613-84j00	1	高 山 恵理子		
MHSV7170	秋	児童福祉学	SSV504-84j00	2	新 藤 こざえ		
MHSV7440	3Q	福祉サービス経営管理論 I	SSV614-84j00	1	藤 井 賢一郎		
MHSV7500	4Q	福祉サービス経営管理論 II	SSV615-84j00	1	藤 井 賢一郎		
MHSV7470	秋	社会保障特殊講義	SSV604-84j00	2	香 取 照 幸		
MHSV7090	秋	社会政策とジェンダー	SSV631-84j00	2	丸 山 桂		後期課程科目「社会政策学特殊研究」との合併科目
MHSV7100	3Q	JAPAN'S SOCIAL SECURITY SYSTEM : INSURING THE WORLD'S OLDEST COUNTRY	SSV532-84e00	1	香 取 照 幸	○	
MHSV7270	春	社会福祉フィールドワーク A	SSV514-84j00	0	丸 山 桂		
MHSV7280	春	社会福祉フィールドワーク A	SSV514-84j00	0	香 取 照 幸		
MHSV7290	春	社会福祉フィールドワーク A	SSV514-84j00	0	柄 本 一三郎		
MHSV7300	春	社会福祉フィールドワーク A	SSV514-84j00	0	岡 知 史		
MHSV7340	春	社会福祉フィールドワーク A	SSV514-84j00	0	高 山 恵理子		
MHSV7271	秋	社会福祉フィールドワーク B	SSV515-84j00	2	丸 山 桂		
MHSV7281	秋	社会福祉フィールドワーク B	SSV515-84j00	2	香 取 照 幸		
MHSV7291	秋	社会福祉フィールドワーク B	SSV515-84j00	2	柄 本 一三郎		
MHSV7301	秋	社会福祉フィールドワーク B	SSV515-84j00	2	岡 知 史		
MHSV7341	秋	社会福祉フィールドワーク B	SSV515-84j00	2	高 山 恵理子		

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※ * : 非常勤教員	外国語	備考
	春	社会福祉フィールドワーク B	SSV515-84j00	2	社会福祉学専攻各指導教員		留学等特別な事情のある場合のみ、 専攻の許可のもと履修可能
	秋	社会福祉フィールドワーク A	SSV514-84j00	0	社会福祉学専攻各指導教員		留学等特別な事情のある場合のみ、 専攻の許可のもと履修可能
MHSV7350	春	援助事例分析 A	SSV516-84j00	0	岡 知 史		
MHSV7380	春	援助事例分析 A	SSV516-84j00	0	高 山 恵理子		
MHSV7351	秋	援助事例分析 B	SSV517-84j00	2	岡 知 史		
MHSV7381	秋	援助事例分析 B	SSV517-84j00	2	高 山 恵理子		
	春	援助事例分析 B	SSV517-84j00	2	社会福祉学専攻各指導教員		留学等特別な事情のある場合のみ、 専攻の許可のもと履修可能
	秋	援助事例分析 A	SSV516-84j00	0	社会福祉学専攻各指導教員		留学等特別な事情のある場合のみ、 専攻の許可のもと履修可能
MHSV7410	春	社会政策・経営事例分析 A	SSV518-84j00	0	梶 本 一三郎		
MHSV7390	春	社会政策・経営事例分析 A	SSV518-84j00	0	丸 山 桂		
MHSV7420	春	社会政策・経営事例分析 A	SSV518-84j00	0	香 取 照 幸		
MHSV7411	秋	社会政策・経営事例分析 B	SSV519-84j00	2	梶 本 一三郎		
MHSV7391	秋	社会政策・経営事例分析 B	SSV519-84j00	2	丸 山 桂		
MHSV7421	秋	社会政策・経営事例分析 B	SSV519-84j00	2	香 取 照 幸		
	春	社会政策・経営事例分析 B	SSV519-84j00	2	社会福祉学専攻各指導教員		留学等特別な事情のある場合のみ、 専攻の許可のもと履修可能
	秋	社会政策・経営事例分析 A	SSV518-84j00	0	社会福祉学専攻各指導教員		留学等特別な事情のある場合のみ、 専攻の許可のもと履修可能
MHSV9530	春	修士論文	SSV699-84j00	0	社会福祉学専攻各指導教員		M2対象, 9月修了者対象
MHSV9520	秋	修士論文	SSV699-84j00	0	社会福祉学専攻各指導教員		M2対象
MHSV7150	休講	リスクマネジメント事例研究	SSV511-84j00	2			
MHSV7210	休講	コミュニティーオーガニゼーション研究	SSV505-84j00	2			隔年開講
MHSV7450	休講	QUALITATIVE SOCIAL WORK RESEARCH	SSV508-84e00	1		○	
MHSV7480	休講	SOCIAL WORK WITH SELF-HELP GROUPS	SSV509-84e00	1		○	
MHSV7430	休講	社会福祉フィールドワーク A	SSV514-84j00	0			
MHSV7431	休講	社会福祉フィールドワーク B	SSV515-84j00	2			

5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
SSV599-84j00	梶 本 一三郎	
	岡 知 史	
	丸 山 桂	
	香 取 照 幸	
	高 山 恵理子	

社会福祉学専攻 博士後期課程

1. 修了に要する科目，単位数，科目数などの要件

【17年次生以降】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限，その他）
総単位数	6		
授業科目			
▶選択科目	6		
指導科目			
研究指導(必修)		6	単位なし，在学中毎学期登録される。 6科目以上合格すること。
博士論文			必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査および試験に合格すること。博士論文の審査基準は別に定める。

【14～16年次生】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限，その他）
総単位数			
授業科目			
▶選択科目			
指導科目			
研究指導(必修)			単位なし，在学中毎学期登録される。
博士論文			必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査および試験に合格すること。博士論文の審査基準は別に定める。

【研究指導スケジュール】

4月に実施する専攻別ガイダンスで配布する「社会福祉学専攻 博士後期課程 研究指導計画」にて，詳細を確認すること。

【博士論文審査基準】

- 1) 研究テーマの設定が適切であり，社会福祉の理念・政策・実践との関連付けが明確であること。
- 2) 先行研究を的確に踏まえ，レビューが十分になされていること。
- 3) 研究目的に照らして研究方法が妥当であり，明確な研究成果が導き出されていること。
- 4) 論文構成が明快であり，論理の展開に一貫性があること。
- 5) 社会福祉学領域に新たな知見を提示し，当該領域の理論および実践の進展に寄与するものであること。
- 6) 自立した研究者としての資質と能力を証明するものであること。
- 7) 研究倫理上の問題がないこと。
- 8) 日本社会福祉学会誌執筆要領(注および文献の表示等)ないし社会政策学会誌執筆要領等に適合しており，学術論文としての体裁が整っていること。

なお，博士論文の提出については，社会福祉学専攻「博士学位論文の審査手続きに関する内規」を参照すること。

2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
研究法特殊講義			4
ソーシャルワーク理論特殊研究 ※注2			2
社会福祉政策学特殊研究 ※注1			2
社会福祉政策学特殊研究 I			1
社会福祉政策学特殊研究 II			1
質的研究法特殊研究			2
社会政策学特殊研究			2

※注1 2017年度まで開講

※注2 2019年度まで開講

3. 履修上の注意

- 1) 4月の専攻別ガイダンスで配布する「社会福祉学専攻履修上の注意」に従って履修すること。
- 2) 専任教員1名を指導教員として定め、その教員の研究指導計画のもとで研究計画を練り、研究の報告や博士論文の作成を行うこと。
- 3) 博士論文提出予定者は、本専攻の「学位請求論文の審査手順（概要）」に従って、指導教員の承諾を得て、博士論文計画書を定められた期日までに本専攻主任に提出する。提出予定者は研究業績として、学術雑誌に掲載または採択された、申請者を第一著者とする論文、またはそれと同等であると本専攻が認めた論文が2篇以上必要である。
- 4) 後期課程を修了するためには3年以上在学し、「研究指導」（単位なし）を毎学期履修すること（在学中毎学期登録する）。なお、2017年次生以降は、6科目合格すること。
- 5) 2017年次生以降は、博士論文の審査および試験に合格することに加え、後期課程選択科目（前期課程との合併科目）6単位の取得が修了要件である。

4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名	外国語	備考
DHSV7040	春	研究法特殊講義	SSV803-84j00	4	岡 知 史 栃 本 一三郎 丸 山 桂		輪講 前期課程科目「社会福祉研究法基礎」との合併科目
DHSV7050	3Q	社会福祉政策学特殊研究 I	SSV804-84j00	1	栃 本 一三郎		前期課程科目「社会福祉政策学 I」との合併科目
DHSV7060	4Q	社会福祉政策学特殊研究 II	SSV805-84j00	1	栃 本 一三郎		前期課程科目「社会福祉政策学 II」との合併科目
DHSV7030	春	質的研究法特殊研究	SSV802-84j00	2	岡 知 史		隔年開講, 前期課程科目「当事者福祉研究」との合併科目
DHSV7020	秋	社会政策学特殊研究	SSV806-84j00	2	丸 山 桂		前期課程科目「社会政策とジェンダー」との合併科目

5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
SSV899-84j00	福祉政策運営管理研究グループ (栃本・丸山・香取)	
	福祉臨床研究グループ (岡・高山)	

看護学専攻 修士課程

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	30		
授業科目			
▶必修科目	10		
└キリスト教と人間論特論	2		
└看護研究法 I A	2		
└看護研究法 I B	2		
└看護学特別研究演習 I	2		
└看護学特別研究演習 II	2		
▶選択科目	20		自専門分野指定科目を6単位以上履修すること。
└自専攻科目			
└自研究科他専攻科目			
└委託聴講科目			8単位まで修了に必要な単位として認められる。
研究指導（必修）		4	単位なし, 在学中毎学期登録される。4科目以上（長期履修学生は6科目以上）合格すること。
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に合格すること。修士論文の審査基準は別に定める。 （修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること）

【研究指導スケジュール】

4月に実施する専攻ガイダンスで配布する「看護学専攻（修士課程）論文審査スケジュール」にて, 詳細を確認すること。

【修士論文審査基準】

修士論文審査にあたっては, 以下の視点で評価報告を行う。

1. 表題の明確性と内容との一貫性
2. 研究の意義, 着眼点（文献レビューに基いているか）
3. 研究目的の明確性
4. 倫理的配慮を含む研究方法の適切性（目的との関連性）
5. データ収集・分析の適切性
6. 結果の提示の十分性
7. 考察の妥当性（結果をもとに考察し, 論理の矛盾や飛躍がないか）
8. 論旨の一貫性
9. 図表の不備・不足ないしは不要の有無
10. 文献の偏りおよび不備

2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
＜共通科目＞			
キリスト教と人間論特論	2		
看護研究法ⅠA	2		
看護研究法ⅠB	2		
看護研究法Ⅱ（質的研究）			2
看護研究法Ⅲ（量的研究）			2
看護理論			2
ケアリング特論			2
ヘルスケア哲学			2
倫理学特論			2
看護管理学特論			2
看護教育学特論			2
医療政策特講			2
国際比較文化論			2
生涯発達学特論			2
家族社会学			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
＜専門（領域）科目＞			
専門看護学特論			2
専門看護学ゼミ			2
専門看護学演習			2
フィールドワーク			2
看護学特別研究演習Ⅰ	2		
看護学特別研究演習Ⅱ	2		

3. 履修上の注意

- 1) 看護学専攻の修了要件は 30 単位以上を履修し、自専門分野指導教員のもと修士論文を作成・提出することとする。
なお、学生の研究関心分野に応じて、関連した他専門分野の教員からも研究指導を適宜受けることができる。
- 2) 「研究指導」（必修）は、在学中毎学期登録される。4 科目以上（長期履修学生は 6 科目以上）合格すること。
- 3) 学生は本専攻入学時に、それぞれの分野に対応する「専門看護学特論」（2 単位）、「専門看護学ゼミ」（2 単位）及び「専門看護学演習」（2 単位）を履修すること。詳細については、ガイダンスで説明する。
- 4) 本専攻では、教育・実践力ならびに研究に必要なセンスを磨くための教育方法として、「フィールドワーク」（2 年次選択科目）を重視している。内容については、ガイダンスで説明する。
- 5) 長期履修のモデルについては、ガイダンスで配布し説明を行うが、履修登録前に自専門分野指導教員と相談すること。
- 6) 論文の作成については、ガイダンス資料にあるスケジュール・提出物・提出先を参照して進める。M1 の 4Q にて研究計画の発表、M2 の 4Q にて修士論文の発表を行う。

4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	外国語	備考
MHNU7370	春	専門看護学特論	NRS516-85m00	2	吉野 八重	○	
MHNU7300	春	専門看護学特論	NRS516-85m00	2	塚本 尚子 船木 由香		輪講
MHNU7310	春	専門看護学特論	NRS516-85m00	2	石川 ふみよ		
MHNU7320	春	専門看護学特論	NRS516-85m00	2	小長谷 百絵		
MHNU7330	春	専門看護学特論	NRS516-85m00	2	島田 真理恵 礒山 あけみ		輪講
MHNU7340	春	専門看護学特論	NRS516-85m00	2	草柳 浩子		
MHNU7350	春	専門看護学特論	NRS516-85m00	2	小高 恵実		
MHNU7360	春	専門看護学特論	NRS516-85m00	2	岡本 菜穂子 山口 淑恵 申 于定		輪講
MHNU7010	春	フィールドワーク	NRS603-85j00	2	石川 ふみよ		M2 対象

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	外国語	備考
MHNU2031	春	看護学特別研究演習 I	NRS601-85j00	2	石川 ふみよ		M2 対象
MHNU2071	春	看護学特別研究演習 I	NRS601-85j00	2	小長谷 百 絵		M2 対象
MHNU2041	春	看護学特別研究演習 I	NRS601-85j00	2	島田 真理恵		M2 対象
MHNU2021	春	看護学特別研究演習 I	NRS601-85j00	2	塚本 尚子		M2 対象
MHNU2011	春	看護学特別研究演習 I	NRS601-85j00	2	草柳 浩子		M2 対象
MHNU2051	休講	看護学特別研究演習 I	NRS601-85j00	2			M2 対象
MHNU1010	春	キリスト教と人間論特論	NRS501-85j00	2	(他)瀬本 正之		
MHNU1020	1Q	看護研究法 I A	NRS502-85j00	2	小長谷 百 絵 草柳 浩子 申 于 定		輪講
MHNU1030	2Q	看護研究法 I B	NRS503-85j00	2	島田 真理恵 石川 ふみよ 塚本 尚子		輪講
MHNU7240	春	看護理論	NRS512-85j00	2	草柳 浩子 小長谷 百 絵 小高 恵実 舩木 由香		輪講, 隔年開講
MHNU7120	秋	ヘルスケア哲学	NRS505-85j00	2	*丹木 博一		
MHNU7110	春	倫理学特論	NRS504-85j00	2	(他)寺田 俊郎 *有江 文栄		輪講
MHNU7210	休講	医療政策特講	NRS509-85j00	2			輪講, 隔年開講
MHNU7130	休講	生涯発達学特論	NRS506-85j00	2			隔年開講
MHNU7160	春	ケアリング特論	NRS508-85j00	2	(他)大橋 容一郎		
MHNU7400	秋	専門看護学ゼミ	NRS517-85j00	2	塚本 尚子 舩木 由香		輪講
MHNU7410	秋	専門看護学ゼミ	NRS517-85j00	2	石川 ふみよ		
MHNU7420	秋	専門看護学ゼミ	NRS517-85j00	2	小長谷 百 絵		
MHNU7430	秋	専門看護学ゼミ	NRS517-85j00	2	島田 真理恵 磯山 あけみ		輪講
MHNU7440	秋	専門看護学ゼミ	NRS517-85j00	2	草柳 浩子		
MHNU7450	秋	専門看護学ゼミ	NRS517-85j00	2	岡本 菜穂子 山口 淑恵 申 于 定		輪講
MHNU7500	秋	専門看護学演習	NRS518-85j00	2	塚本 尚子 舩木 由香		輪講
MHNU7510	秋	専門看護学演習	NRS518-85j00	2	石川 ふみよ		
MHNU7520	秋	専門看護学演習	NRS518-85j00	2	小長谷 百 絵		
MHNU7530	秋	専門看護学演習	NRS518-85j00	2	島田 真理恵 磯山 あけみ		輪講
MHNU7540	秋	専門看護学演習	NRS518-85j00	2	草柳 浩子		
MHNU7550	秋	専門看護学演習	NRS518-85j00	2	岡本 菜穂子 山口 淑恵 申 于 定		輪講
MHNU2032	秋	看護学特別研究演習 II	NRS602-85j00	2	石川 ふみよ		M2 対象
MHNU2072	秋	看護学特別研究演習 II	NRS602-85j00	2	小長谷 百 絵		M2 対象
MHNU2042	秋	看護学特別研究演習 II	NRS602-85j00	2	島田 真理恵		M2 対象
MHNU2022	秋	看護学特別研究演習 II	NRS602-85j00	2	塚本 尚子		M2 対象
MHNU2012	秋	看護学特別研究演習 II	NRS602-85j00	2	草柳 浩子		M2 対象
MHNU2052	休講	看護学特別研究演習 II	NRS602-85j00	2			M2 対象

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	外国語	備考
MHNU7220	秋	看護研究法Ⅱ（質的研究）	NRS510-85j00	2	*森岡 崇		
MHNU7230	集中	看護研究法Ⅲ（量的研究）	NRS511-85j00	2	*猫田 泰敏		2Q集中
MHNU7250	秋	看護管理学特論	NRS513-85j00	2	*照沼 則子 *渡邊 真理		輪講，隔年開講
MHNU7260	休講	看護教育学特論	NRS514-85j00	2			隔年開講
MHNU7140	秋	国際比較文化論	NRS507-85j00	2	*土居 由美		隔年開講
MHNU7270	春	家族社会学	NRS515-85j00	2	(他)田 渕 六郎		隔年開講
MHNU9010	秋	修士論文	NRS699-85j00	0	看護学専攻教員		

5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
NRS599-85j00	石川 ふみよ	
	小長谷 百絵	
	島田 真理恵	
	塚本 尚子	
	草柳 浩子	
	西山 悦子	